

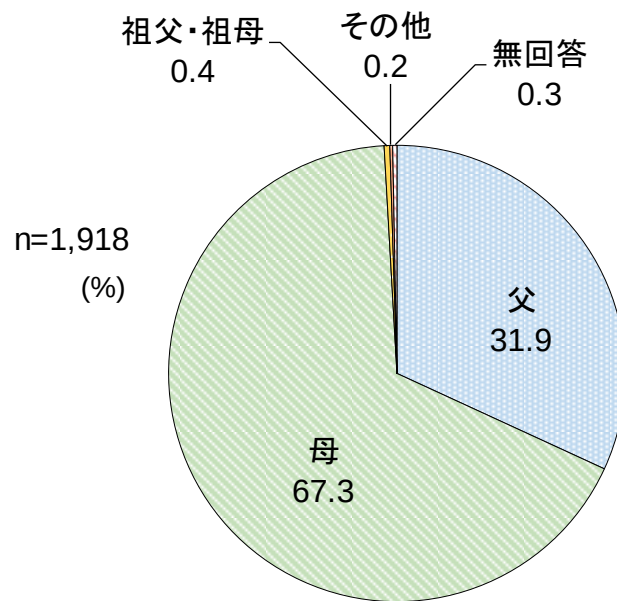
第3章 調査結果の詳細

1 回答者

(1) 回答者属性

Q 1 アンケートにご回答いただいている方を、お子様から見た関係からお選びください。(単数回答)

図表 3－1 回答者属性

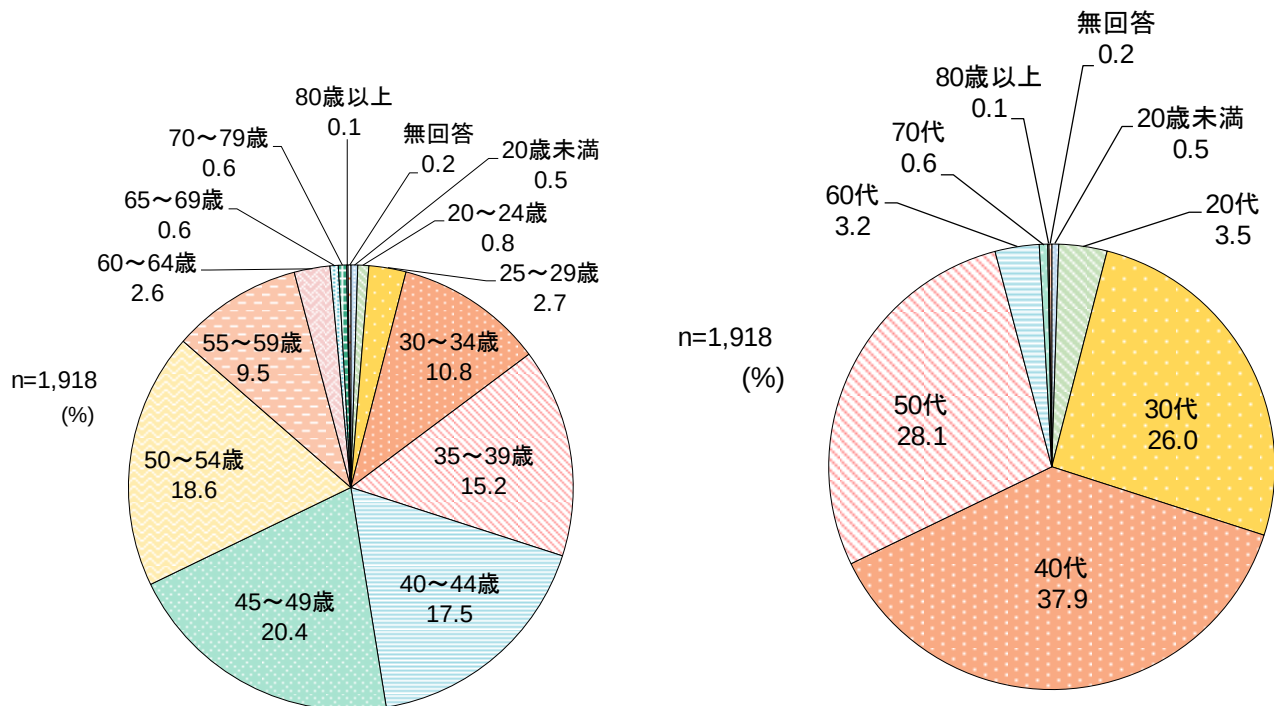


(2) 回答者年齢

Q 2 あなたの年齢をお選びください。(単数回答)

回答者年齢は、「40代」が最も高く37.9%、次いで「50代」が28.1%、「30代」が26.0%となっている。

図表3-2 回答者年齢

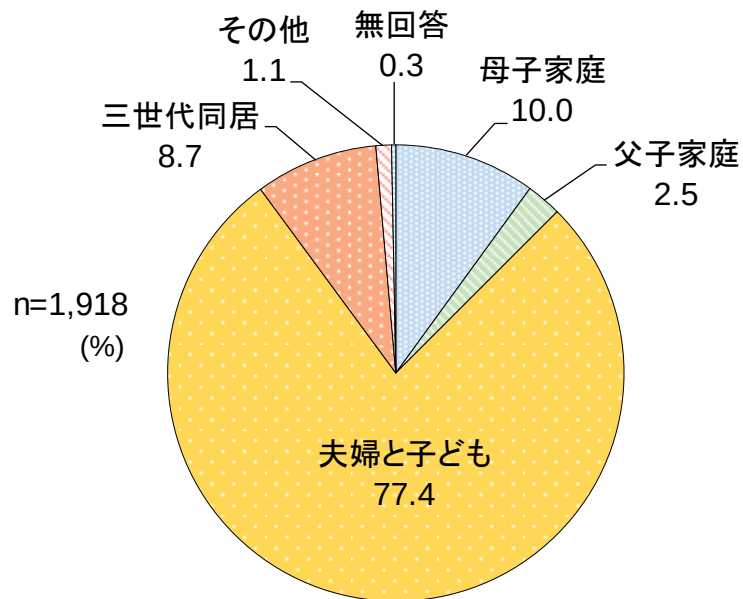


(3) 家族構成

Q 3 お子様以外に一緒に暮らしている家族についてあてはまるものを、お子様から見た関係からお選びください。(単数回答)

家族構成は、「夫婦と子ども」が77.4%と最も高く、次いで「母子家庭」が10.0%、「三世代同居」が8.7%、「父子家庭」が2.5%となっている。

図表 3－3 家族構成

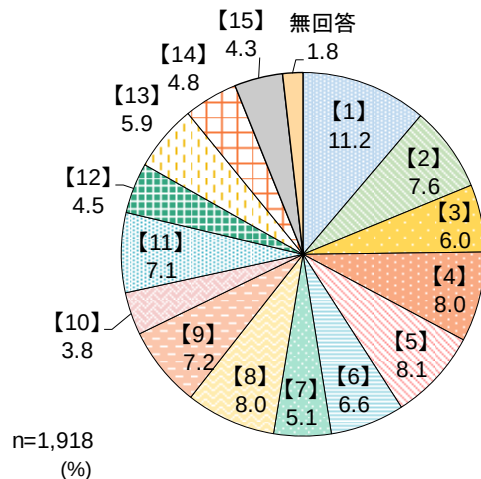


2 世帯の状況

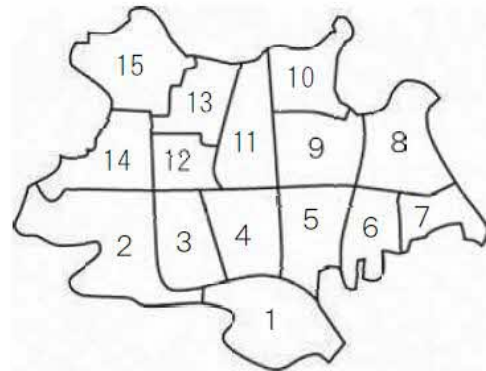
(1) 居住地域

Q20 あなたのお住まいの地域を含む番号をお選びください。(単数回答)

図表3-4 居住地域



【地域区分図】



番号	地区町丁目名目
1	千住関屋町、千住曙町、千住東一丁目～二丁目、千住旭町、柳原一丁目～二丁目、日ノ出町、千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住緑町一丁目～三丁目、千住宮元町、千住中居町、千住龍田町、千住桜木一丁目～二丁目、千住一丁目～五丁目、千住大川町、千住寿町、千住元町、千住柳町
2	小台一丁目～二丁目、宮城一丁目～二丁目、新田一丁目～三丁目、鹿浜一丁目、堀之内一丁目～二丁目、椿一丁目、江北一丁目～五丁目、扇二丁目
3	西新井本町一丁目～五丁目、扇一丁目、扇三丁目、興野一丁目～二丁目、本木一丁目～二丁目、本木東町、本木西町、本木南町、本木北町
4	西新井栄町一丁目～三丁目、関原一丁目～三丁目、梅田一丁目～八丁目、梅島一丁目～三丁目
5	足立一丁目～四丁目、西綾瀬一丁目～四丁目、中央本町一丁目～五丁目、弘道一丁目～二丁目、青井一丁目～六丁目
6	加平一丁目、綾瀬一丁目～七丁目、東綾瀬一丁目～三丁目、谷中一丁目～二丁目
7	東和一丁目～五丁目、中川一丁目～五丁目
8	大谷田一丁目～五丁目、佐野一丁目～二丁目、辰沼一丁目～二丁目、六木一丁目～四丁目、神明一丁目～三丁目、神明南一丁目～二丁目、北加平町、加平二丁目～三丁目、谷中三丁目～五丁目
9	西加平一丁目～二丁目、六町一丁目～四丁目、一ツ家一丁目～四丁目、保塚町、東六月町、平野一丁目～三丁目、保木間一丁目～二丁目、南花畑一丁目～三丁目、東保木間一丁目～二丁目
10	花畑一丁目～八丁目、南花畑四丁目～五丁目、保木間三丁目～五丁目
11	西保木間一丁目～四丁目、竹の塚一丁目～七丁目、六月一丁目～三丁目、島根一丁目～四丁目、栗原一丁目～二丁目
12	西新井一丁目～七丁目、栗原三丁目～四丁目
13	西伊興町、西伊興一丁目～四丁目、伊興一丁目～五丁目、西竹の塚一丁目～二丁目、東伊興一丁目～四丁目、伊興本町一丁目～二丁目
14	谷在家一丁目～三丁目、鹿浜二丁目～八丁目、椿二丁目、江北六丁目～七丁目、加賀一丁目～二丁目、皿沼一丁目～三丁目
15	舎人一丁目～六丁目、入谷一丁目～九丁目、古千谷一丁目～二丁目、古千谷本町一丁目～四丁目、入谷町、舎人町、舎人公園

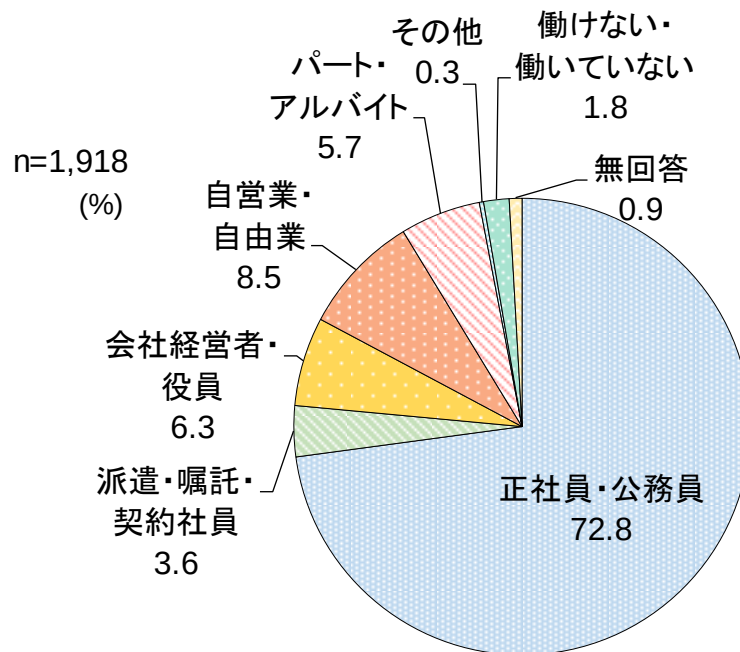
(2) 主たる生計者の就業状況

Q21 あなたの世帯の主たる生計者（主な収入を得ている方）の就業状況をお選びください。（単数回答）

ア 主たる生計者の就業状況

主たる生計者の就業状況は、「正社員・公務員」が72.8%と最も高く、次いで「自営業・自由業」が8.5%、「会社経営者・役員」が6.3%となっている。

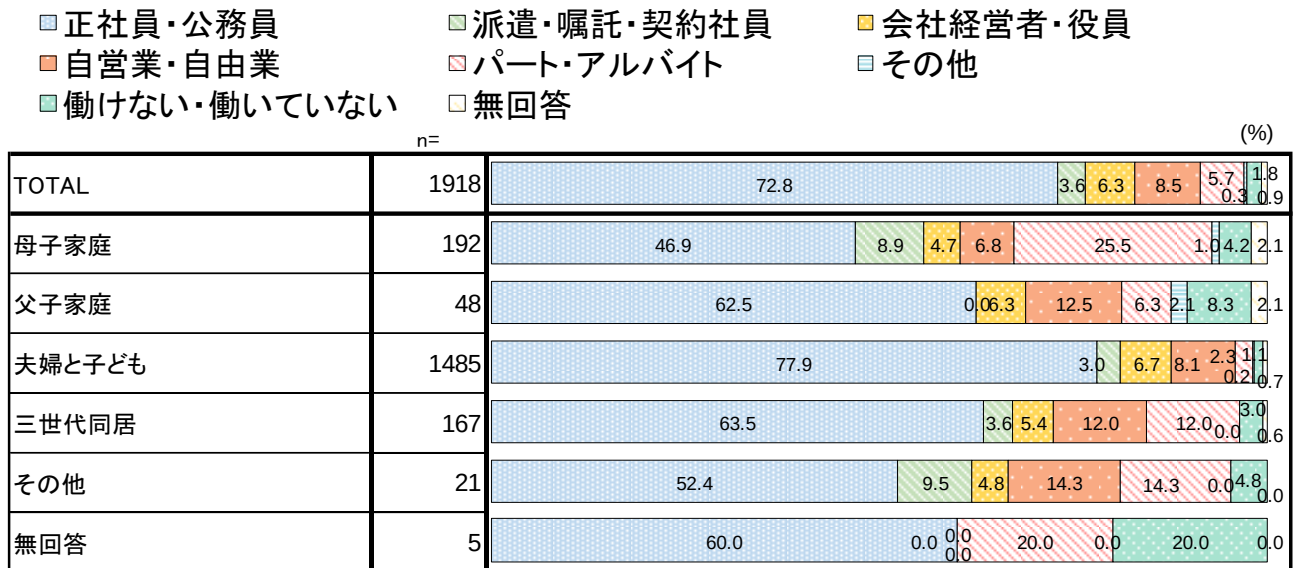
図表3-5 主たる生計者の就業状況



イ 主たる生計者の就業状況【家族構成別】

- (ア)「母子家庭」では、「正社員・公務員」が46.9%と半数を切っており、「パート・アルバイト」が25.5%と他の家族構成に比べて高い。
- (イ)「父子家庭」では、「正社員・公務員」が62.5%、次いで「自営業・自由業」が12.5%となっている。
- (ウ)「夫婦と子ども」の世帯では、「正社員・公務員」が77.9%となっている。

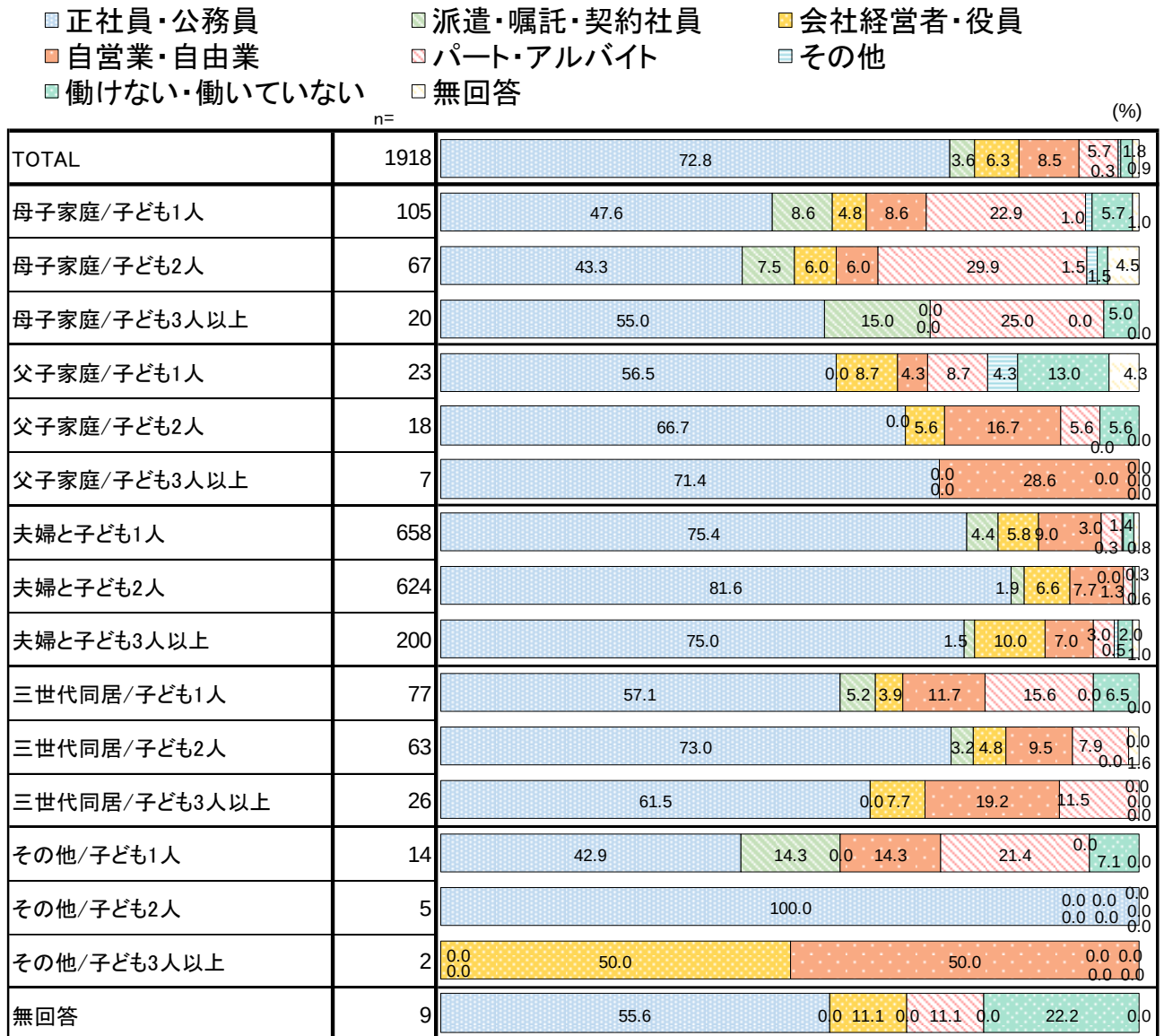
図表3-6 主たる生計者の就業状況【家族構成別：クロス集計】



ウ 主たる生計者の就業状況【家族構成/子どもの人数別】

「母子家庭」のうち、非正規雇用（「派遣・嘱託・契約社員」と「パート・アルバイト」）の割合が「子ども1人」の世帯では約3割であるが、「子ども2人」の世帯では4割弱、「子ども3人以上」の世帯では4割と他の家族構成に比べて高い。

図表3-7 主たる生計者の就業状況【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】



(3) 世帯年収（賞与を含めた手取り額）

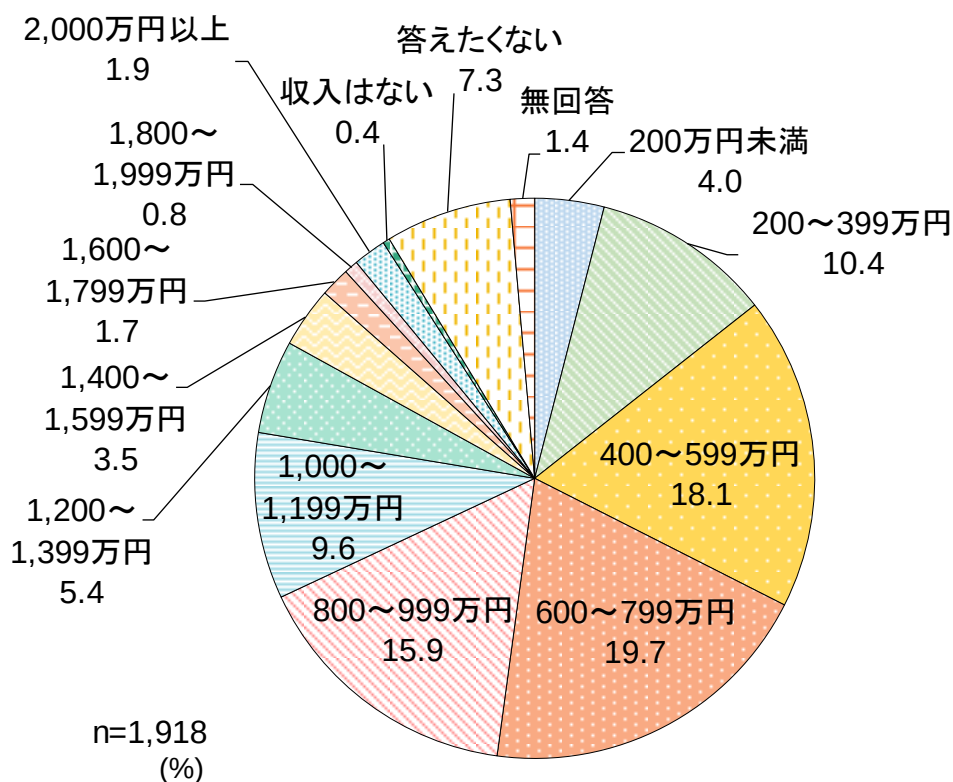
Q23 世帯全体の年収（賞与を含めた手取り額）をお選びください。（単数回答）

※ 1万円未満は四捨五入してご回答ください。

ア 世帯年収

世帯年収は、「600～799万円」が19.7%と最も高く、次いで「400～599万円」が18.1%、「800～999万円」が15.9%となっている。

図表3-8 世帯年収



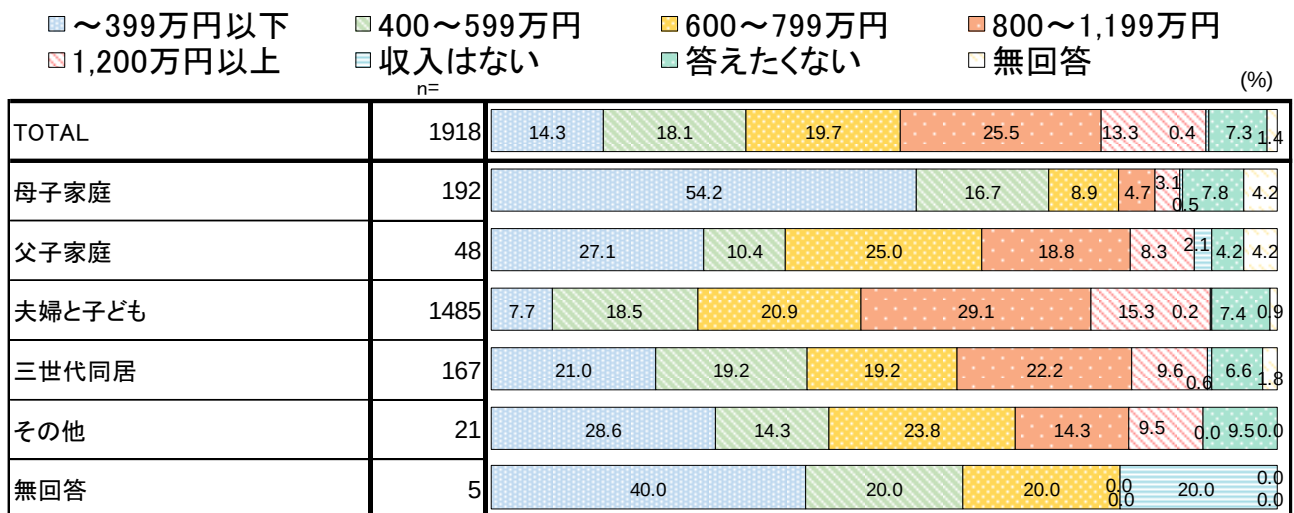
イ 世帯年収【家族構成別】

(ア)「母子家庭」では、年収「～399万円以下」が54.2%と最も高く、他の家族構成に比べて倍以上となっている。

(イ)「父子家庭」では、年収「～399万円以下」が27.1%と最も高く、次いで「600～799万円」が25.0%となっている。

(ウ)「夫婦と子ども」の世帯では、年収「800～1,199万円」が29.1%と最も高く、次いで「600～799万円」が20.9%となっている。

図表3-9 世帯年収【家族構成別：クロス集計】



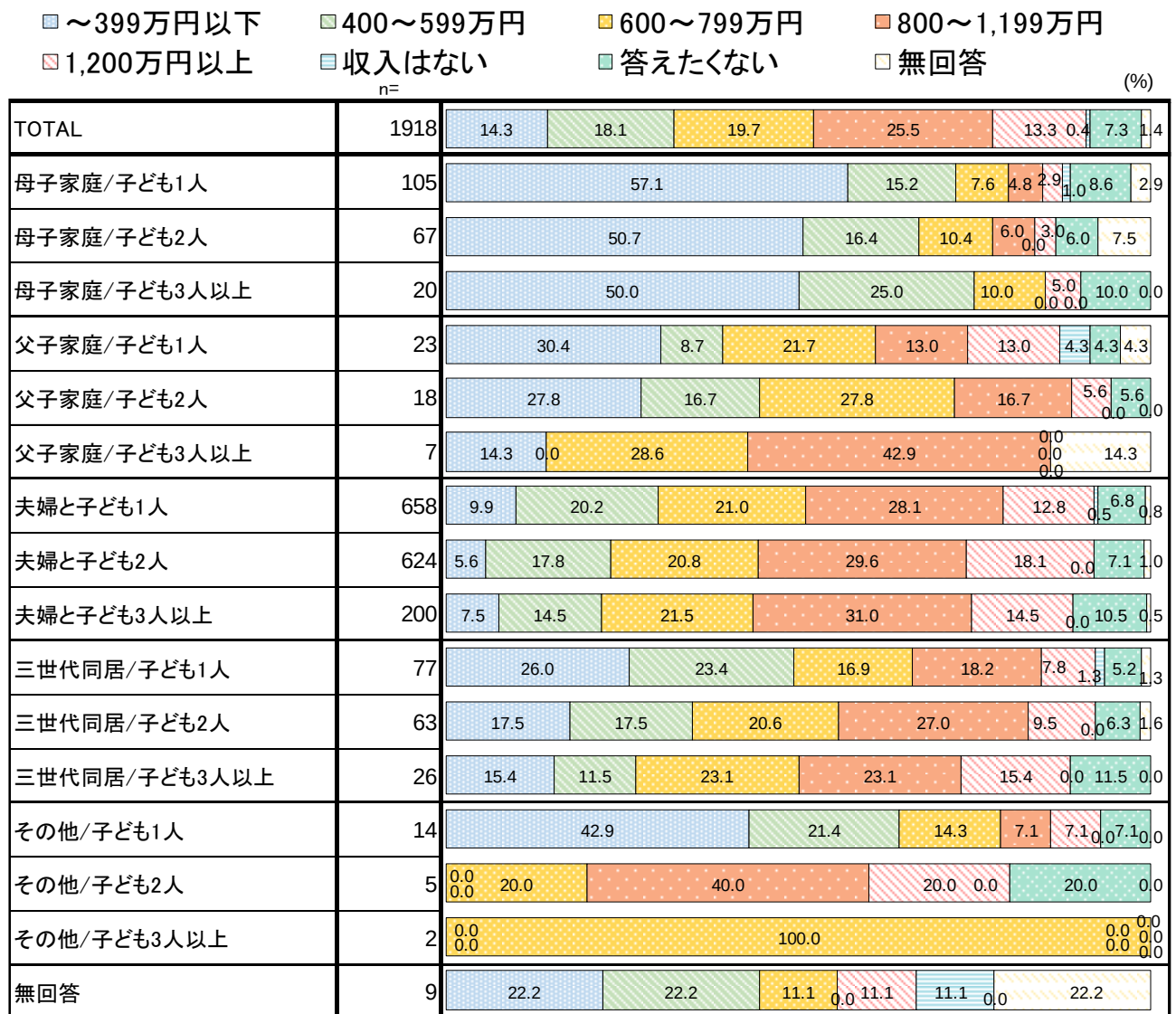
ウ 世帯年収【家族構成/子どもの人数別】

(ア)「母子家庭」では、子どもの人数にかかわらず、年収「～399万円以下」が5割以上となっている。

(イ)「父子家庭」では、「子ども1人」「子ども2人」の世帯で年収「～399万円以下」が約3割となっている。

(エ)「夫婦と子ども」の世帯では、子どもの人数にかかわらず、年収「800～1,199万円」が約3割を占めている。

図表3-10 世帯年収【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

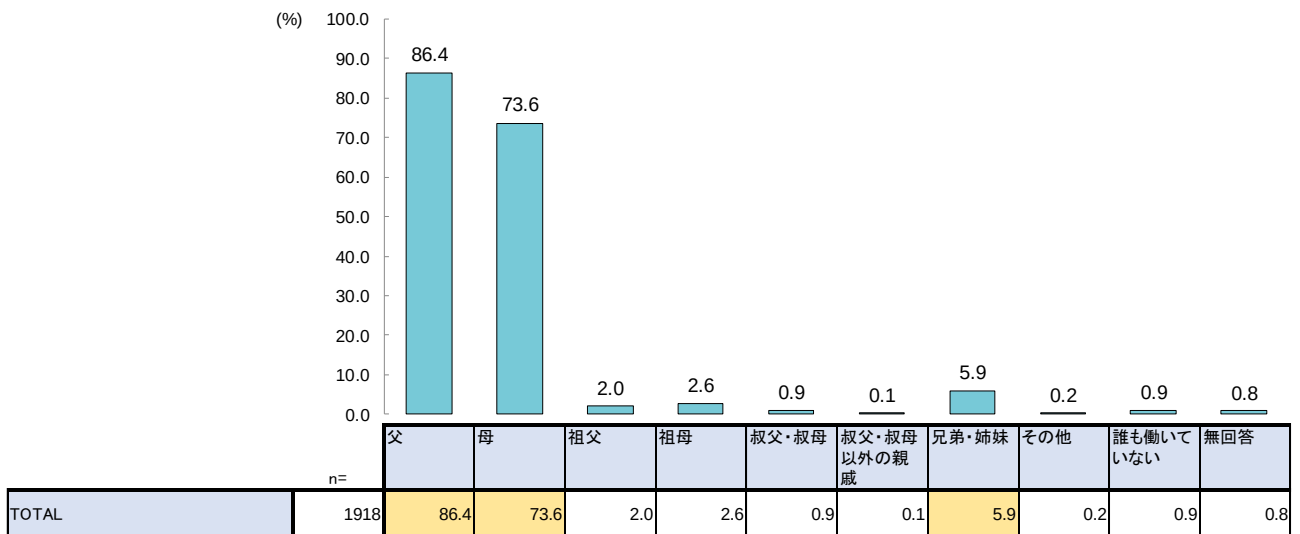


(4) 世帯の就労者

Q22 あなたの世帯で就労している方を、お子様から見た関係からお選びください。
(複数回答)

世帯の就労者は、「父」が86.4%と最も高く、次いで「母」が73.6%、「兄弟・姉妹」が5.9%となっている。

図表3-11 世帯の就労者

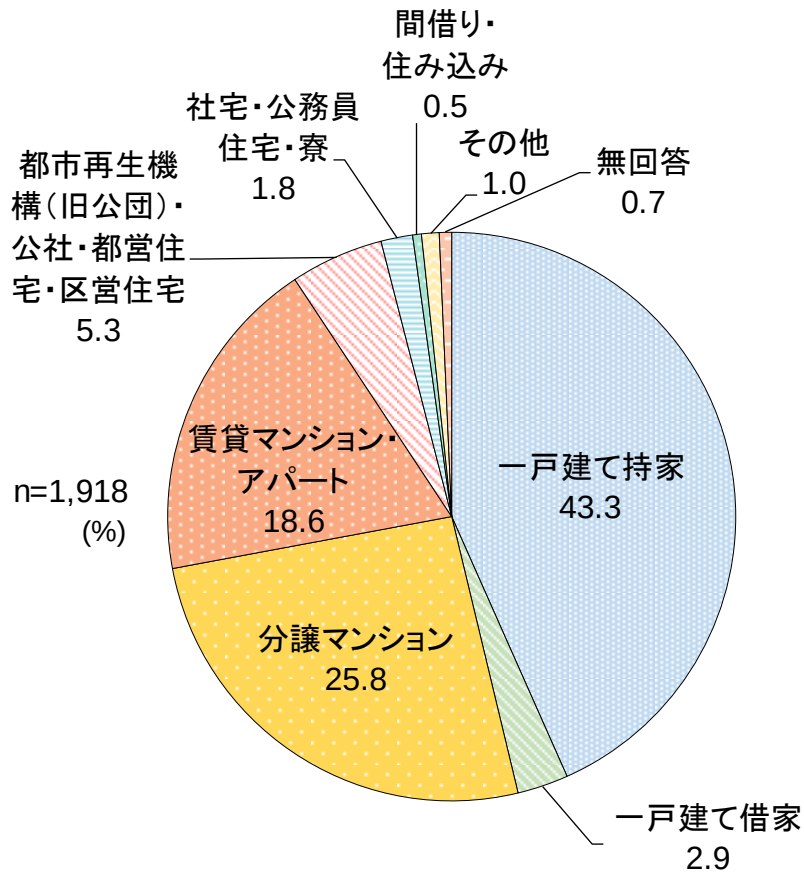


(5) 住居形態

Q24 あなたのお住まい（住居）についてあてはまるものをお選びください。（単数回答）

住居形態は、「一戸建て持家」が43.3%と最も高く、次いで「分譲マンション」が25.8%、「賃貸マンション・アパート」が18.6%となっている。

図表3-12 住居形態

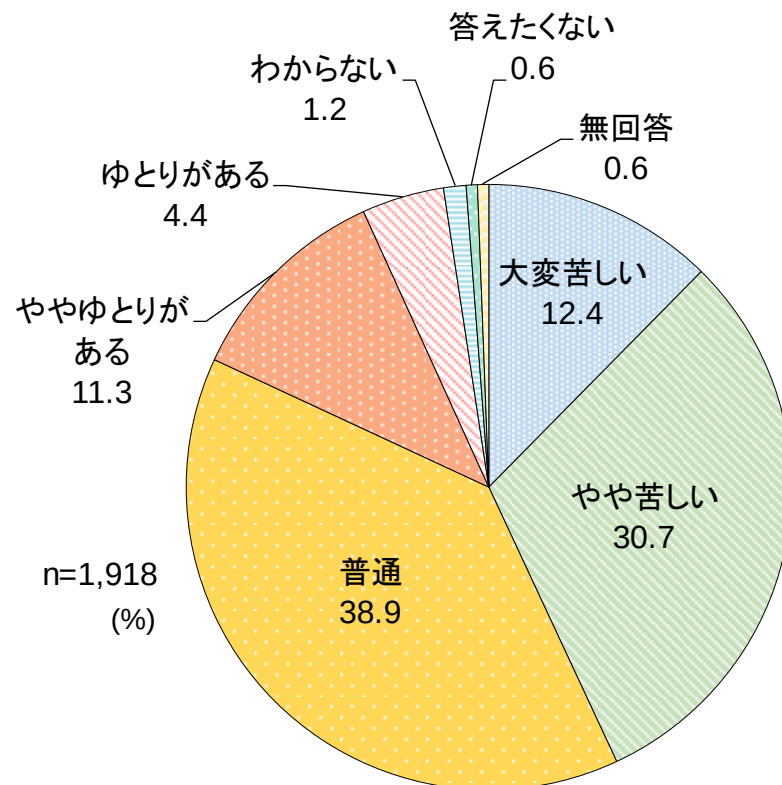


(6) 世帯の家計の状況

Q 4 あなたの世帯の家計の状況について、あてはまるものをお選びください。(単数回答)

世帯の家計の状況は、「普通」が38.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」が30.7%、「大変苦しい」が12.4%となっている。

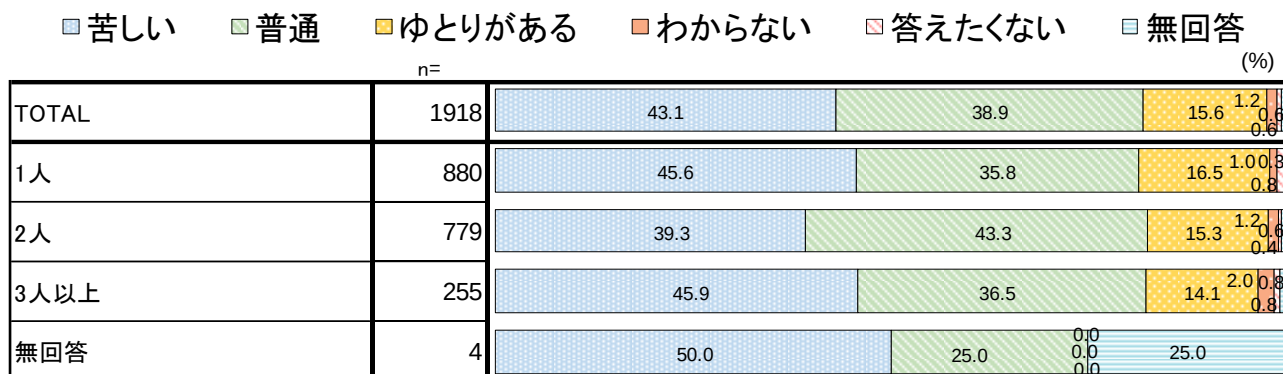
図表 3－13 世帯の家計の状況



ア 家計の状況【子どもの人数別】

家計の状況が「苦しい」と回答した割合が、「子ども1人」と「子ども3人以上」の世帯で4割台半ば、「子ども2人」の世帯で約4割にのぼる。

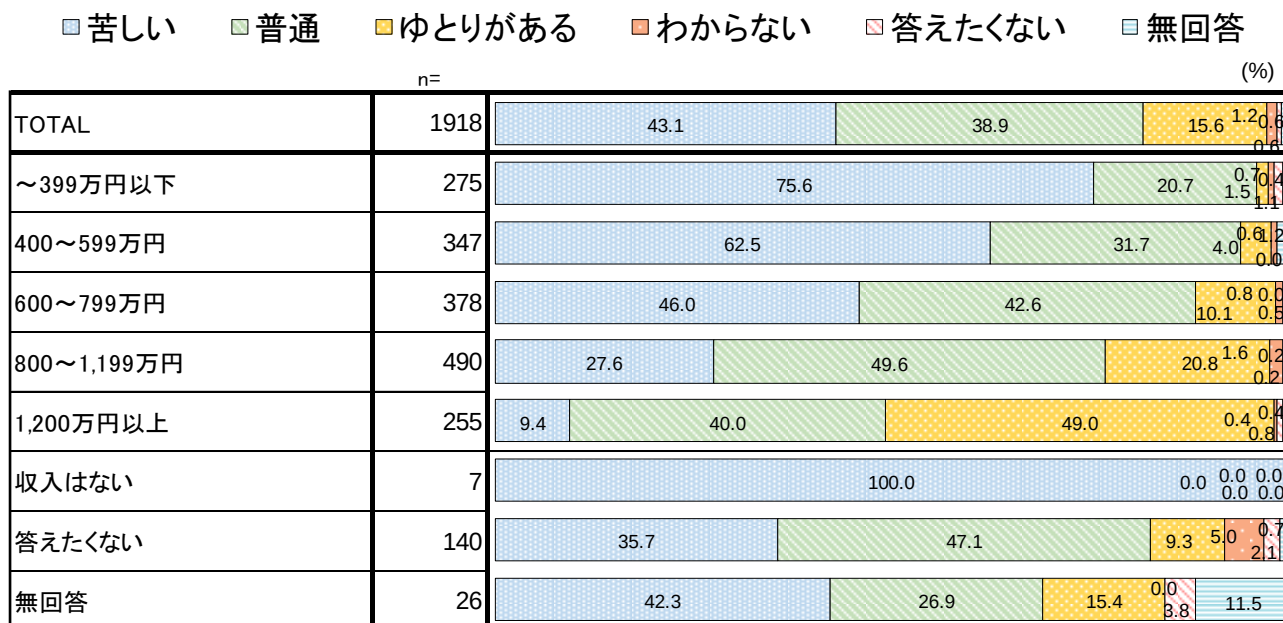
図表3-14 家計の状況【子どもの人数別：クロス集計】



イ 家計の状況【世帯年収別】

世帯年収別にみると、家計の状況が「苦しい」と回答した世帯は、「～399万円以下」で75.6%と高く、年収が上がるにつれて減少しているものの、「800～1,199万円」でも27.6%と、約3割の世帯が「苦しい」と感じている。

図表3-15 家計の状況【世帯年収別：クロス集計】

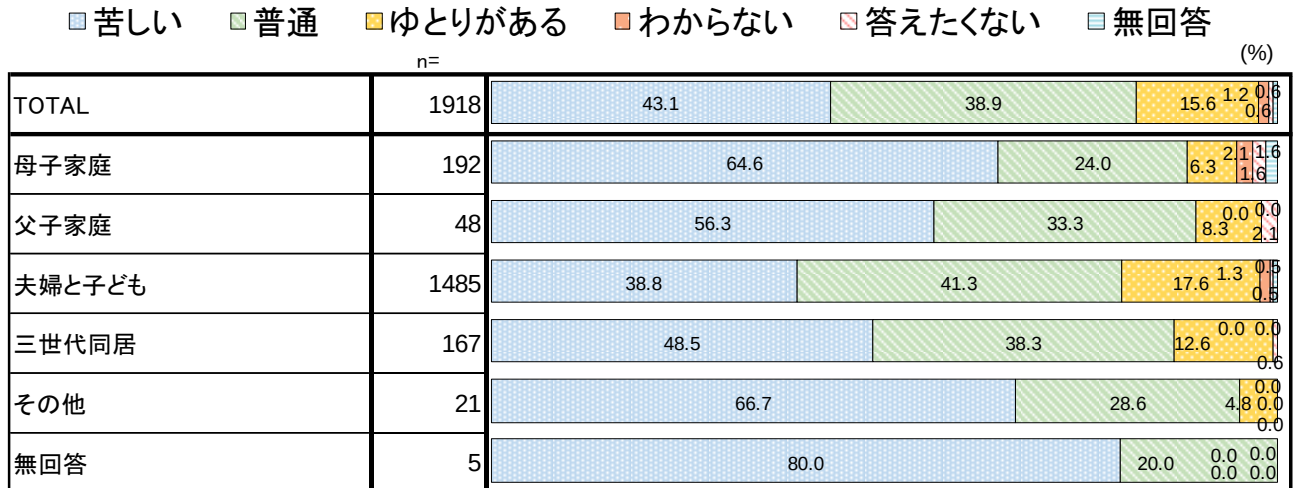


ウ 家計の状況【家族構成別】

(ア) 家計の状況が「苦しい」と回答した割合が、「母子家庭」では64.6%、「父子家庭」では56.3%と半数を超えている。

(イ)「夫婦と子ども」の世帯では、家計の状況が「普通」との回答が41.3%と高い。

図表3-16 家計の状況【家族構成別：クロス集計】

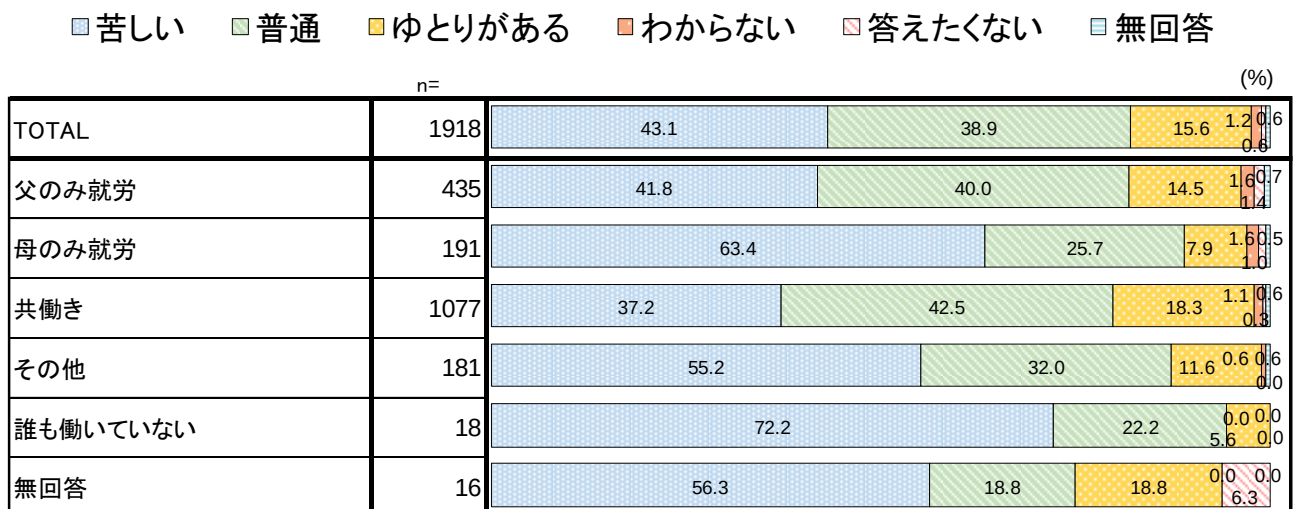


エ 家計の状況【世帯の就労状況別】

(ア) 世帯の就労状況別にみると、家計の状況が「苦しい」と回答した割合は、「母のみ就労」の世帯で63.4%と高い。

(イ)「共働き」の世帯は、家計の状況が「普通」との回答が42.5%と高いが、「苦しい」との回答も4割近くとなっている。

図表3-17 家計の状況【世帯の就労状況別：クロス集計】



オ 家計の状況【家族構成/子どもの人数別】

(ア)「母子家庭」では、子どもの人数にかかわらず、約6割以上が家計の状況を「苦しい」と感じている。

(イ)「夫婦と子ども」の世帯のうち、「子ども2人」の世帯では、家計の状況は「普通」との回答が45.4%と半数近くいるものの、「苦しい」との回答も36.1%と高い。また、「子ども3人以上」の世帯では、44.5%が家計の状況を「苦しい」と感じている。

図表3-18 家計の状況【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

■ 苦しい ■ 普通 ■ ゆとりがある ■ わからない ■ 答えたくない ■ 無回答

	n=						(%)
TOTAL	1918	43.1	38.9	15.6	1.2	0.6	0.6
母子家庭/子ども1人	105	67.6	22.9	6.7	0.0	1.9	0.9
母子家庭/子ども2人	67	59.7	25.4	6.0	6.0	1.5	1.5
母子家庭/子ども3人以上	20	65.0	25.0	5.0	0.0	0.0	5.0
父子家庭/子ども1人	23	65.2	26.1	8.7	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども2人	18	50.0	44.4	5.6	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども3人以上	7	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
夫婦と子ども1人	658	39.5	38.4	19.8	1.4	0.2	0.8
夫婦と子ども2人	624	36.1	45.4	16.8	0.8	0.6	0.8
夫婦と子ども3人以上	200	44.5	38.5	13.5	2.5	1.0	0.0
三世帯同居/子ども1人	77	53.2	37.7	7.8	0.0	0.0	1.8
三世帯同居/子ども2人	63	46.0	41.3	12.7	0.0	0.0	0.0
三世帯同居/子ども3人以上	26	42.3	30.8	26.9	0.0	0.0	0.0
その他/子ども1人	14	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども2人	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	66.7	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0

カ 家計の状況【世帯年収/子どもの人数別】

(ア) 年収「～399万円以下」の世帯では、子どもの人数にかかわらず、7割以上が家計の状況を「苦しい」と感じている。

(イ) 年収「800～1,199万円」「1,200万円以上」で、「子ども3人以上」の世帯では、家計の状況を「苦しい」と感じている割合がそれぞれ40.8%、20.6%となっており、年収が上がっても子どもの人数が多いと、家計の状況を「苦しい」と感じている世帯がいることがわかる。

図表3-19 家計の状況【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

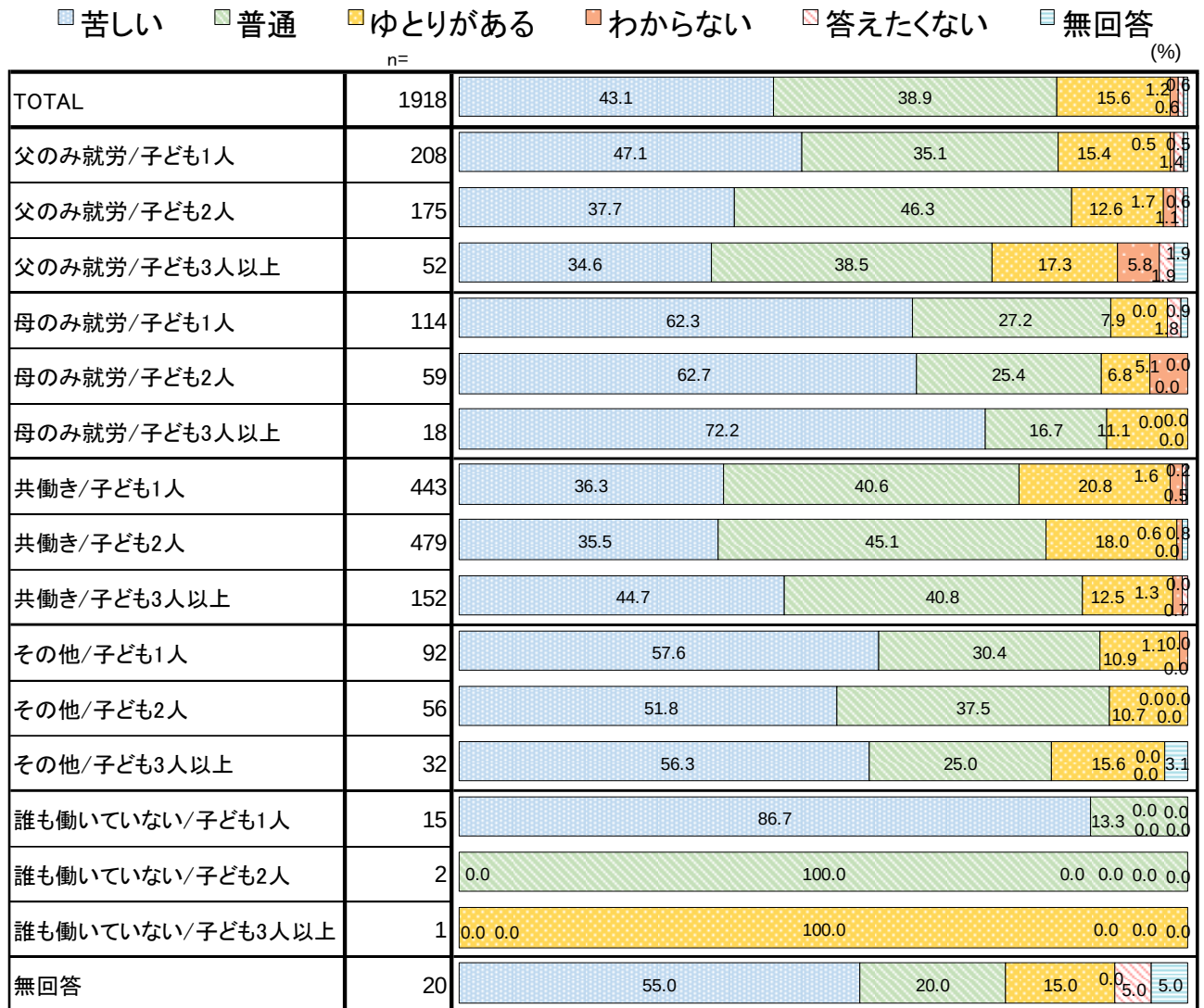
■ 苦しい ■ 普通 ■ ゆとりがある ■ わからない ■ 答えたくない ■ 無回答

	n=	(%)				
TOTAL	1918	43.1	38.9	15.6	1.2	0.6
～399万円以下/子ども1人	159	74.2	22.6	0.0	0.0	0.6
～399万円以下/子ども2人	86	79.1	16.3	3.5	1.2	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	30	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0
400～599万円/子ども1人	173	64.7	29.5	5.2	0.0	0.6
400～599万円/子ども2人	136	58.1	36.0	2.9	1.5	0.0
400～599万円/子ども3人以上	37	70.3	27.0	2.7	0.0	0.0
600～799万円/子ども1人	166	44.0	40.4	14.5	0.6	0.0
600～799万円/子ども2人	157	47.8	44.6	7.0	0.0	0.0
600～799万円/子ども3人以上	55	47.3	43.6	5.5	3.6	0.0
800～1,199万円/子ども1人	208	26.0	48.1	24.0	1.9	0.0
800～1,199万円/子ども2人	211	24.6	53.1	19.9	1.9	0.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	40.8	43.7	14.1	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	6.2	35.1	56.7	1.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	8.1	48.8	42.3	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	20.6	23.5	52.9	0.0	2.9
収入はない/子ども1人	7	100.0				0.0
収入はない/子ども2人	0					
収入はない/子ども3人以上	0					
答えたくない/子ども1人	60	45.0	41.7	6.7	3.3	0.0
答えたくない/子ども2人	54	31.5	53.7	11.1	3.7	0.0
答えたくない/子ども3人以上	26	23.1	46.2	11.5	11.5	3.8
無回答	28	42.9	25.0	14.3	0.0	14.3

キ 家計の状況【世帯の就労状況/子どもの人数別】

「共働き」で「子ども1人」「子ども2人」の世帯では、家計の状況を「普通」と感じている割合がそれぞれ40.6%、45.1%と高いが、「子ども3人以上」の世帯では、44.7%が家計の状況を「苦しい」と感じている。

図表3-20 家計の状況【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】



ク 家計の状況【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「一番下の子どもが小学校1～3年生」以下で、「子ども1人」「子ども3人以上」の世帯では、家計の状況が「苦しい」との回答が4割前後。「子ども2人」の世帯では、家計の状況を「普通」と感じている割合が高い。

(イ)「一番下の子どもが中学校」の世帯では、子どもの人数にかかわらず、約5割が家計の状況を「苦しい」と感じている。

図表3-21 家計の状況

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

		n=					(%)	
		苦しい	普通	ゆとりがある	わからない	答えたくない	無回答	
TOTAL	1918	43.1	38.9	15.6	1.2	0.6	0.0	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	38.4	36.0	23.2	0.8	0.0	0.6	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	30.1	55.4	13.3	1.2	0.0	0.0	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	48.3	27.6	17.2	3.4	0.0	3.4	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	46.4	31.7	19.7	1.6	0.0	0.6	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	32.6	49.4	16.9	0.0	0.0	0.6	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	45.7	37.1	15.7	1.4	0.0	0.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	46.4	31.0	20.2	1.2	1.2	0.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	33.7	48.0	17.3	0.0	0.0	1.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	42.1	36.8	18.4	0.0	0.0	4.6	
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	41.4	47.1	10.3	0.0	0.0	1.1	
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	37.3	43.6	15.5	2.7	0.0	0.9	
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	38.5	38.5	15.4	5.1	2.6	0.0	
一番下が中学校/子ども1人	88	50.0	39.8	8.0	1.1	1.1	0.0	
一番下が中学校/子ども2人	107	49.5	32.7	14.0	1.9	0.9	0.9	
一番下が中学校/子ども3人以上	36	50.0	33.3	11.1	2.8	0.0	2.8	
一番下が高校/子ども1人	104	50.0	29.8	17.3	1.9	0.0	1.0	
一番下が高校/子ども2人	121	49.6	33.9	13.2	1.7	0.8	0.8	
一番下が高校/子ども3人以上	29	41.4	48.3	10.3	0.0	0.0	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	70.8	25.0	0.0	0.0	4.2	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	38.1	41.8	18.7	0.7	0.0	0.7	
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	35.7	44.6	17.9	1.8	0.0	0.0	
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども1人	47	55.3	36.2	8.5	0.0	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども2人	18	61.1	22.2	16.7	0.0	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	14	50.0	35.7	0.0	0.0	14.3	0.0	

3 子どもの状況

(1) 子どもの人数

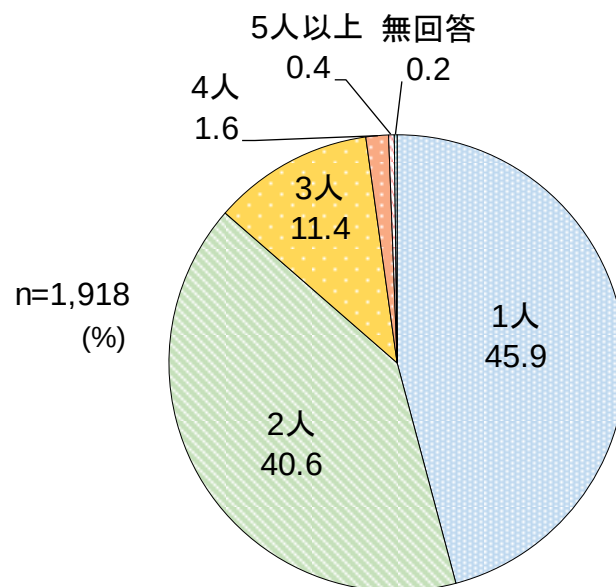
Q 6 同居・別居を問わず、お子様の人数をお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。（単数回答）

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

ア 子どもの人数

「1人」45.9%、「2人」40.6%、「3人」11.4%、「4人」1.6%、「5人以上」0.4%となっている。

図表3-22 子どもの人数

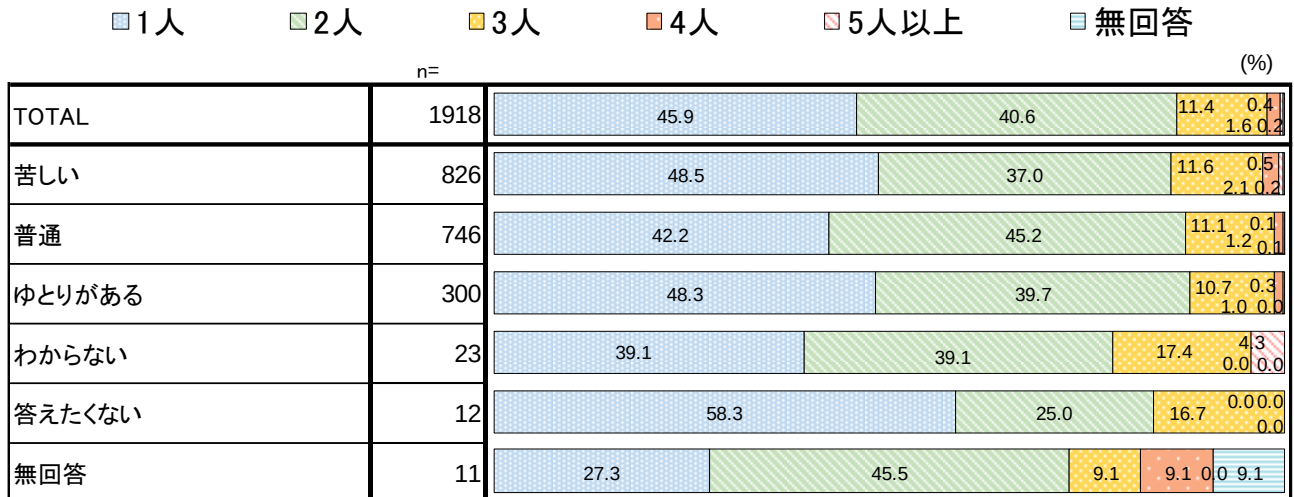


イ 子どもの人数【家計の状況別】

(ア) 家計の状況別にみると、「苦しい」と「ゆとりがある」世帯では、「子ども1人」の割合が48.5%、48.3%となっている。

(イ) 家計の状況が「普通」の世帯では、「子ども2人」の割合が45.2%となっている。

図表3-23 子どもの人数【家計の状況別：クロス集計】

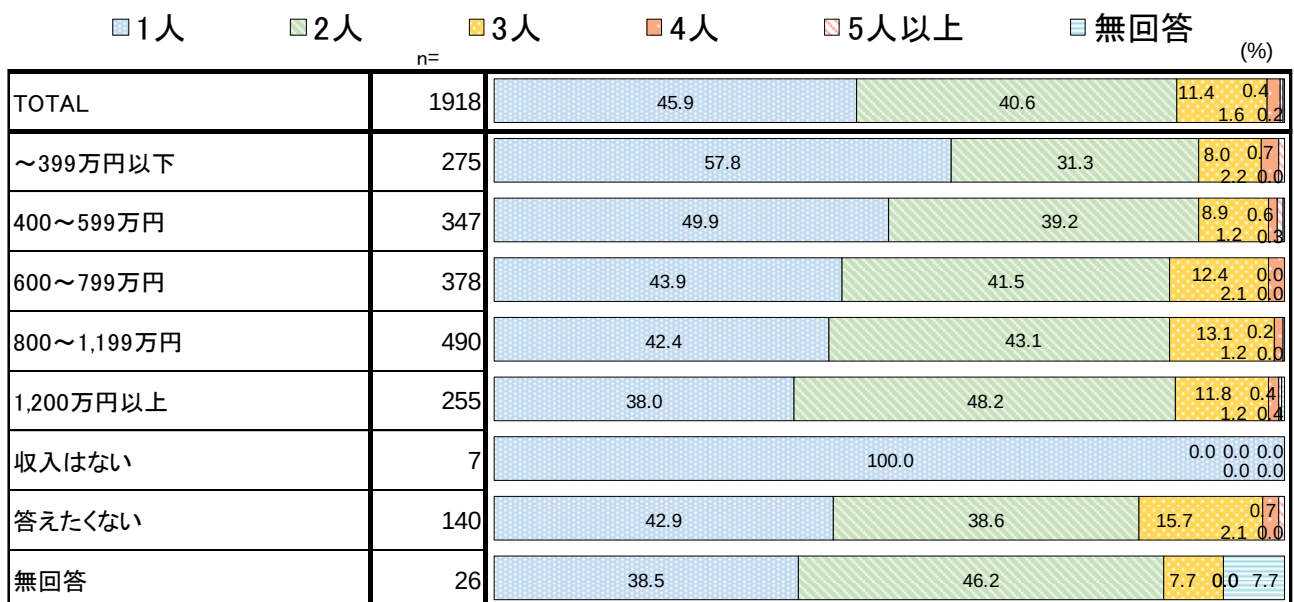


ウ 子どもの人数【世帯年収別】

(ア) 年収「～399万円以下」の世帯では、「子ども1人」が57.8%と高く、「1,200万円以上」の世帯では、「子ども2人」が48.2%と高くなっている。

(イ) 年収「600～799万円」以上の世帯では、「子ども1人」より「2人」以上いる割合が高くなる。

図表3-24 子どもの人数【世帯年収別：クロス集計】



(2) 子どもの年齢

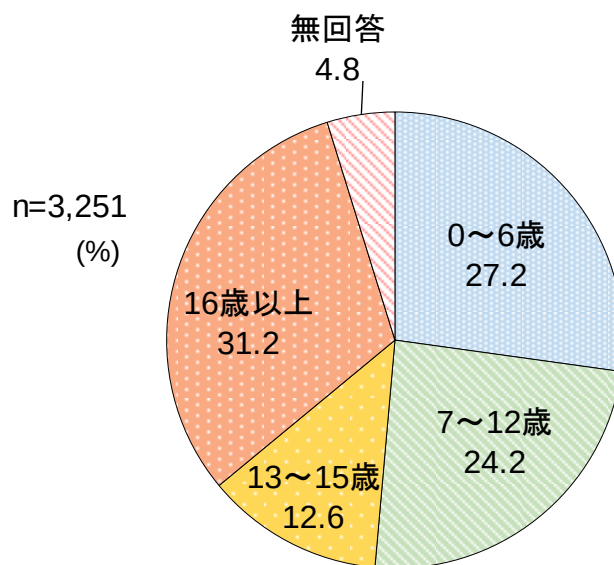
Q 7_1 1 番下のお子様から若い順に5人目までの年齢を回答欄にご記入ください。
(数値回答)

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

ア 「0～6歳」「7～12歳」「13～15歳」「16歳以上」の4区分

子どもの年齢は、「0～6歳」27.2%、「7～12歳」24.2%、「13～15歳」12.6%、「16歳以上」31.2%となっている。

図表3－25 「0～6歳」「7～12歳」「13～15歳」「16歳以上」の4区分



(3) 子どもの通園・通学状況

Q 7_2 通園・通学の状況について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

(単数回答)

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

ア 1番下から5番目の状況（専門学校と短期大学を合算）

(ア) 1番下の子どもは、未就学児（「通園していない（6歳以下）」（12.4%）、「保育園・幼稚園・認定こども園」（22.3%））が3割台半ばと多い。

(イ) 下から2番目の子どもは、小学生（「小学校1～3年生」（13.1%）、「小学校4～6年生」（13.2%））が1/4を占めている。

(ウ) 下から3番目の子どもは、中高生（「中学生」（17.3%）、「高校生」（18.4%））が3割台半ばと多い。

図表3-26 1番下から5番目の回答状況（専門学校と短期大学を合算）



	n=	(%)									
Q7_2(1) 1番下のお子様	1918	12.4	22.3	11.5	12.3	12.0	13.2	1.7	10.2	3.8	0.6
Q7_2(2) 下から2番目のお子様	1034	1.7	15.1	13.1	13.2	15.0	13.2	2.0	15.8	7.6	3.3
Q7_2(3) 下から3番目のお子様	255	0.4	5.9	12.2	12.2	17.3	18.4	3.1	14.1	12.2	4.3
Q7_2(4) 下から4番目のお子様	37	2.7	8.1	13.5	18.9	8.1	10.8	5.4	10.8	13.5	8.1
Q7_2(5) 下から5番目のお子様	7	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	

4 「お金がかかっている」費目と「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

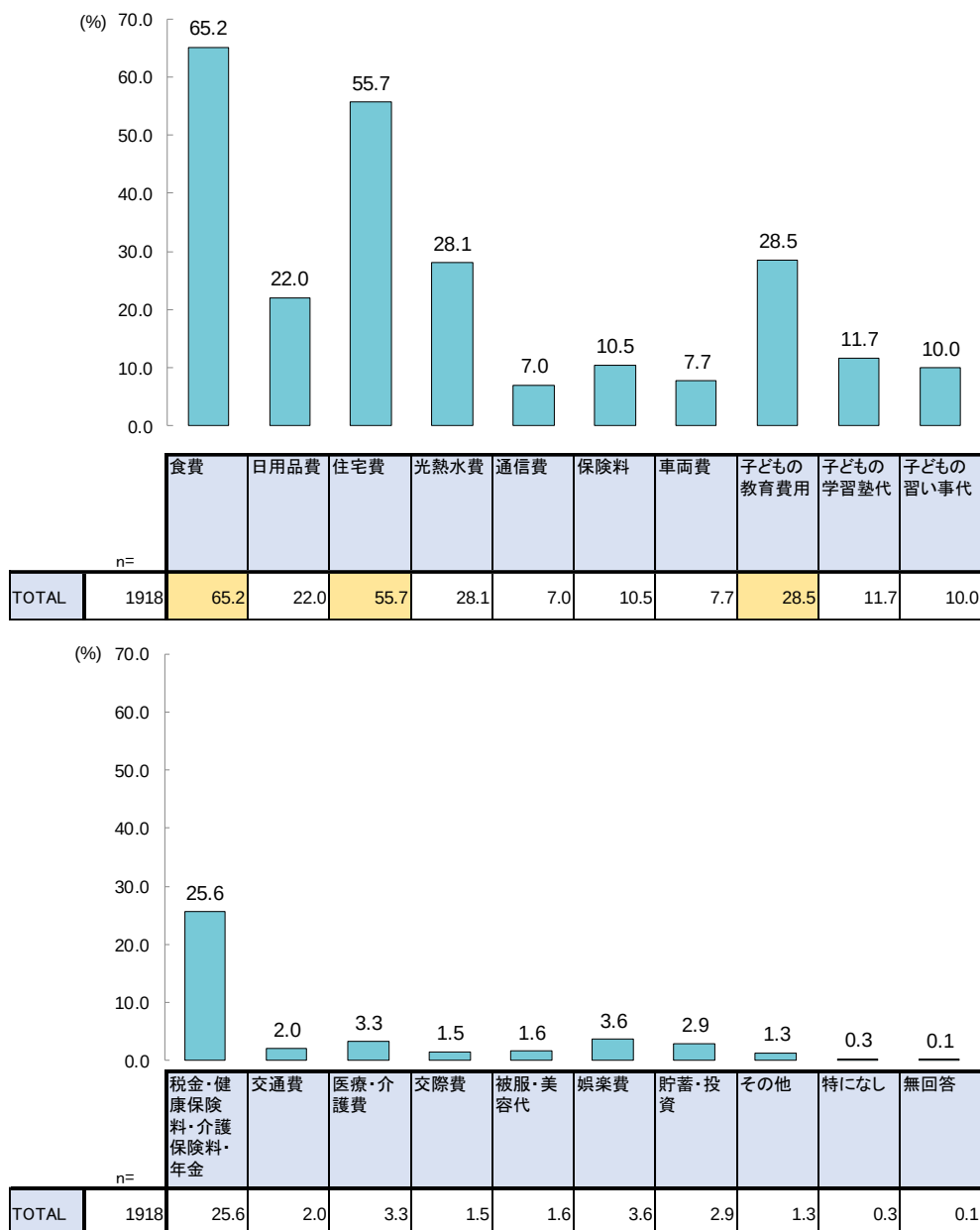
Q5 あなたの世帯の家計の中で、「お金がかかっている」費目と「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目をそれぞれ最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

(1) 「お金がかかっている」費目

ア 「お金がかかっている」費目

「お金がかかっている費目」は、「食費」が65.2%と最も高く、次いで「住宅費」が55.7%、「子どもの教育費用」が28.5%となっている。

図表3-27 「お金がかかっている」費目



※ グラフ・数表では、次の選択肢の（ ）内を省略して表示。

住宅費（住宅購入・ローン、家賃、管理費など）
 通信費（固定・携帯電話代、インターネット接続料など）
 保険料（生命保険、医療保険、学資保険など）
 車両費（自動車・バイクなどの購入費やローン、駐車・駐輪場代、車検代など）
 子どもの教育費用（保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校など）
 子どもの学習塾代（家庭教師・通信教育費含む）
 子どもの習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）
 交通費（通勤・通学の定期代など）
 医療・介護費（通院・入院代、医薬品代、介護保険サービス代など）
 交際費（食事会・飲み会、ご祝儀など）
 被服・美容代（洋服、化粧品、美容院など）
 娯楽費（書籍・映画などの趣味、レジャー、旅行など）

イ 「お金がかかっている」費目【子どもの人数別】

- (ア) 子どもの人数別にみると、「食費」は、子どもの人数が増えるほど割合が高くなり、「子ども3人以上」の世帯では72.9%となっている。
- (イ) 全体の上位3項目以外では、「子ども1人」の世帯で、「光熱水費」が31.9%と他の子どもの人数と比べると高い。
- (ウ) 「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯では、「子どもの学習塾代」「子どもの習い事代」が「子ども1人」の世帯に比べるとそれぞれ約6ポイント高い。

図表3-28 「お金がかかっている」費目【子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
1人	880	62.4	23.1	57.7	31.9	7.7	10.5	9.2	25.8	8.2	6.9
2人	779	65.7	19.5	56.0	23.6	6.2	11.6	7.3	31.3	14.8	12.5
3人以上	255	72.9	25.5	47.1	29.0	7.5	7.1	3.5	29.4	14.9	12.9
無回答	4	75.0	50.0	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
1人	880	28.0	2.2	4.0	1.9	1.7	2.8	2.6	1.8	0.3	0.0
2人	779	24.8	1.4	2.2	1.4	1.4	4.4	3.9	0.8	0.4	0.1
3人以上	255	20.4	3.1	4.7	0.4	2.0	3.9	1.2	0.8	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ウ 「お金がかかっている」費目【家計の状況別】

- (ア)「食費」では、家計の状況が「苦しい」世帯が68.5%と、他の状況と比べても高い。
- (イ) 全体の上位3項目以外では、家計の状況が「苦しい」と「普通」の世帯で、「光熱水費」(32.8%、27.3%)、「ゆとりがある」世帯で、「税金・健康保険料・介護保険料・年金」(28.3%)が高い。
- (ウ)「子どもの学習塾代」「子どもの習い事代」では、家計の状況に「ゆとりがある」世帯が16.3%、15.0%と、「苦しい」「普通」の世帯と比べるとそれぞれ5ポイント以上高い。

図表3-29 「お金がかかっている」費目【家計の状況別：クロス集計】

n=		食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
苦しい	826	68.5	27.4	55.8	32.8	8.5	9.6	7.0	28.3	9.7	8.4
普通	746	64.1	19.4	57.9	27.3	6.7	11.4	7.9	27.6	11.3	9.9
ゆとりがある	300	60.3	14.7	49.7	18.0	4.3	10.7	9.3	29.7	16.3	15.0
わからない	23	65.2	13.0	47.8	13.0	0.0	13.0	0.0	43.5	34.8	4.3
答えたくない	12	41.7	8.3	58.3	33.3	16.7	8.3	8.3	25.0	25.0	8.3
無回答	11	45.5	27.3	72.7	27.3	0.0	9.1	9.1	45.5	9.1	9.1

n=		税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
苦しい	826	25.3	2.3	4.5	1.1	1.3	1.1	0.7	1.8	0.0	0.0
普通	746	24.5	2.0	2.0	1.2	1.3	4.2	3.6	0.7	0.7	0.1
ゆとりがある	300	28.3	1.0	3.3	3.3	3.3	9.0	6.7	1.3	0.3	0.0
わからない	23	30.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0
答えたくない	12	41.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
無回答	11	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エ 「お金がかかっている」費目【家族構成別】

(ア)「住宅費」は、「母子家庭」「夫婦と子ども」の世帯で5割を超えている。

(イ)「母子家庭」では、全体の上位3項目以外では、「日用品費」(27.1%)、「光熱水費」(33.3%)、「通信費」(15.6%)が高い。

(ウ)「父子家庭」では、他の家族構成に比べ、「車両費」(12.5%)、「税金・健康保険料・介護保険料・年金」(31.3%)が高い。

図表3-30 「お金がかかっている」費目【家族構成別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
母子家庭	192	68.8	27.1	50.5	33.3	15.6	9.4	4.2	29.7	12.0	6.3
父子家庭	48	52.1	18.8	43.8	31.3	8.3	10.4	12.5	45.8	8.3	2.1
夫婦と子ども	1485	64.8	20.9	58.7	26.5	5.9	10.3	7.9	27.7	12.1	11.2
三世帯同居	167	67.1	28.1	39.5	34.7	7.2	14.4	8.4	27.5	9.6	6.6
その他	21	71.4	9.5	47.6	38.1	4.8	4.8	4.8	47.6	4.8	0.0
無回答	5	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
母子家庭	192	17.7	4.7	3.6	1.6	3.1	1.6	0.5	2.6	0.5	0.0
父子家庭	48	31.3	2.1	4.2	6.3	0.0	2.1	4.2	0.0	2.1	0.0
夫婦と子ども	1485	26.3	1.4	2.8	1.3	1.3	4.0	3.4	1.1	0.3	0.1
三世帯同居	167	25.1	3.0	7.8	1.2	3.6	3.6	1.2	1.2	0.0	0.0
その他	21	33.3	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
無回答	5	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

オ 「お金がかかっている」費目【世帯年収別】

(ア) 世帯年収別にみると、「食費」は、年収「～399万円以下」の世帯では73.5%と高いが、年収が上がるにつれて、「食費」を挙げる割合は減少している。

(イ) 全体の上位3項目を除くと、年収「600～799万円」以下の世帯では「光熱水費」、「800～1,199万円」以上の世帯では「税金・健康保険料・介護保険料・年金」が高い。

(ウ) 「子どもの学習塾代」「子どもの習い事代」は、年収が上がるにつれて割合が増加し、「1,200万円以上」の世帯では20.0%、15.7%となっており、全体と比べると、「子どもの学習塾代」では8.3ポイント、「子どもの習い事代」では、5.7ポイント高い。

図表3-3-1 「お金がかかっている」費目【世帯年収別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
～399万円以下	275	73.5	34.5	45.8	39.3	12.7	10.9	5.1	20.4	8.4	5.5
400～599万円	347	71.2	24.2	62.8	31.1	7.2	11.5	8.1	24.5	6.9	7.2
600～799万円	378	66.1	18.3	56.3	28.0	6.3	11.6	6.9	29.9	11.9	7.7
800～1,199万円	490	62.4	19.6	59.2	24.1	5.3	11.0	8.8	32.4	11.2	12.9
1,200万円以上	255	54.5	14.9	54.5	18.0	3.9	7.1	8.2	33.7	20.0	15.7
収入はない	7	71.4	42.9	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
答えたくない	140	62.9	20.7	47.1	29.3	7.9	7.9	8.6	26.4	17.9	12.1
無回答	26	50.0	30.8	57.7	34.6	7.7	11.5	7.7	38.5	7.7	7.7

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
～399万円以下	275	22.2	2.9	3.3	0.4	2.5	0.7	0.7	1.8	0.7	0.0
400～599万円	347	25.1	0.6	2.0	2.6	0.6	1.7	1.2	1.4	0.3	0.0
600～799万円	378	25.9	2.9	3.4	1.9	1.3	3.7	3.2	1.3	0.3	0.0
800～1,199万円	490	26.9	1.2	3.7	1.0	1.4	4.5	3.7	0.8	0.0	0.2
1,200万円以上	255	28.2	1.6	2.0	2.0	3.1	7.5	6.7	1.2	0.4	0.0
収入はない	7	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	140	27.1	2.1	7.9	0.7	1.4	4.3	2.1	0.7	0.7	0.0
無回答	26	3.8	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0

カ 「お金がかかっている」費目【世帯の就労状況別】

- (ア) 全体の上位3項目では、世帯の就労状況別による大きな差はみられない。
- (イ) 全体の上位3項目を除くと、「光熱水費」は「父のみ就労」「母のみ就労」の世帯で3割を超えている。
- (ウ) 「母のみ就労」の世帯では、「日用品費」(27.2%)、「通信費」(14.1%)が高い。
- (エ) 「共働き」の世帯では、「子どもの習い事代」が12.0%となっている。

図表3-32 「お金がかかっている」費目【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
父のみ就労	435	65.5	21.1	56.1	30.1	4.8	9.9	8.0	29.0	12.2	9.4
母のみ就労	191	64.9	27.2	52.4	30.9	14.1	9.9	4.2	28.8	9.9	6.8
共働き	1077	65.3	20.4	57.6	25.5	6.1	11.1	7.7	27.6	12.8	12.0
その他	181	64.1	23.8	49.7	34.3	9.9	8.3	11.0	32.6	6.1	3.9
誰も働いていない	18	83.3	61.1	38.9	38.9	11.1	0.0	5.6	16.7	11.1	5.6
無回答	16	43.8	25.0	43.8	31.3	6.3	25.0	0.0	43.8	12.5	0.0

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
父のみ就労	435	26.2	1.8	4.1	2.5	1.6	3.0	2.5	0.5	0.7	0.2
母のみ就労	191	23.6	4.2	3.1	1.0	2.6	2.1	1.6	1.6	0.5	0.0
共働き	1077	25.6	1.4	2.7	1.3	1.3	4.3	3.7	1.3	0.2	0.0
その他	181	28.7	2.8	6.1	0.6	1.7	2.8	1.1	1.7	0.0	0.0
誰も働いていない	18	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
無回答	16	12.5	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0

キ 「お金がかかっている」費目【一番下の子どもの通園・通学状況別】

- (ア)「食費」は、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)」「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯で7割以上となっている。
- (イ)「子どもの教育費用」は、「一番下の子どもが中学校」の世帯では44.2%だが、「一番下の子どもが高校」「一番下の子どもが専門学校/短期大学」の世帯では5割を超え、「一番下の子どもが大学・大学院」の世帯では77.6%と高くなる。
- (ウ)「子どもの学習塾代」では、「一番下の子どもが小学校4～6年生」「一番下の子どもが中学校」の世帯で2割を超えている。
- (エ)「子どもの習い事代」では、「一番下の子どもが小学校1～3年生」「一番下の子どもが小学校4～6年生」の世帯で2割を超えている。

図表3-33 「お金がかかっている」費目
【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
一番下が通園していない(6歳以下)	237	72.6	36.7	64.1	34.2	1.3	10.5	10.1	3.4	1.3	4.6
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	77.3	30.0	59.0	30.9	4.4	11.5	7.5	8.2	4.7	10.1
一番下が小学校1～3年生	220	61.8	25.5	56.8	26.4	5.9	11.4	9.5	10.9	18.6	21.8
一番下が小学校4～6年生	236	68.2	17.4	51.3	21.6	8.5	11.4	7.2	20.3	26.3	21.2
一番下が中学校	231	61.5	16.5	52.4	22.9	9.5	9.1	4.3	44.2	24.7	11.3
一番下が高校	254	58.7	14.6	49.6	25.6	7.1	10.2	6.7	57.5	14.6	3.5
一番下が専門学校/短期大学	33	39.4	12.1	51.5	39.4	18.2	12.1	18.2	54.5	3.0	0.0
一番下が大学・大学院	196	44.4	7.1	55.6	27.6	11.7	8.2	6.6	77.6	1.0	0.5
一番下が通学していない	72	69.4	18.1	55.6	38.9	13.9	9.7	8.3	13.9	2.8	1.4
無回答	12	83.3	33.3	41.7	33.3	8.3	8.3	8.3	33.3	0.0	16.7

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
一番下が通園していない(6歳以下)	237	36.7	0.4	1.7	2.5	0.8	3.0	4.6	1.3	0.4	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	26.5	0.7	1.4	2.6	1.6	6.6	4.0	1.6	0.2	0.0
一番下が小学校1～3年生	220	21.4	1.4	2.3	0.5	2.3	5.5	3.2	0.9	0.0	0.5
一番下が小学校4～6年生	236	19.1	2.1	1.7	0.4	3.0	4.2	2.5	0.4	1.3	0.0
一番下が中学校	231	19.0	1.3	3.5	0.0	1.7	0.4	3.5	0.9	0.0	0.0
一番下が高校	254	24.0	4.3	3.5	2.0	2.4	2.4	1.2	1.2	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学	33	30.3	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0
一番下が大学・大学院	196	29.1	4.1	9.2	1.0	0.0	2.0	0.5	1.0	0.5	0.0
一番下が通学していない	72	34.7	4.2	9.7	4.2	0.0	1.4	4.2	2.8	0.0	0.0
無回答	12	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ク 「お金がかかっている」費目【家族構成/子どもの人数別】

(ア)「食費」は、子どもが増えるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「母子家庭/子ども3人以上」の世帯では8割にのぼる。

(イ)全体の上位3項目を除くと、「母子家庭/子ども1人」の世帯では、「光熱水費」が39.0%と高い。

図表3-34 「お金がかかっている」費目

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
母子家庭/子ども1人	105	65.7	22.9	52.4	39.0	15.2	9.5	2.9	22.9	10.5	5.7
母子家庭/子ども2人	67	70.1	26.9	49.3	28.4	16.4	11.9	7.5	40.3	13.4	7.5
母子家庭/子ども3人以上	20	80.0	50.0	45.0	20.0	15.0	0.0	0.0	30.0	15.0	5.0
父子家庭/子ども1人	23	56.5	17.4	39.1	47.8	13.0	8.7	21.7	30.4	8.7	0.0
父子家庭/子ども2人	18	44.4	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	5.6	55.6	11.1	5.6
父子家庭/子ども3人以上	7	57.1	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0
夫婦と子ども1人	658	61.7	22.9	61.4	29.5	6.4	10.8	9.6	25.5	8.2	7.6
夫婦と子ども2人	624	65.2	17.5	59.0	22.4	5.3	10.6	7.4	29.5	15.2	13.5
夫婦と子ども3人以上	200	74.0	24.0	48.5	29.5	6.5	7.5	4.5	29.5	15.5	16.0
三世帯同居/子ども1人	77	62.3	28.6	41.6	39.0	7.8	10.4	13.0	26.0	5.2	5.2
三世帯同居/子ども2人	63	73.0	31.7	34.9	31.7	6.3	20.6	6.3	33.3	12.7	11.1
三世帯同居/子ども3人以上	26	65.4	19.2	42.3	30.8	7.7	11.5	0.0	19.2	15.4	0.0
その他/子ども1人	14	78.6	0.0	50.0	35.7	7.1	7.1	0.0	57.1	0.0	0.0
その他/子ども2人	5	60.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	66.7	44.4	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介 護保険料・ 年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
母子家庭/子ども1人	105	20.0	4.8	5.7	1.9	2.9	2.9	0.0	4.8	1.0	0.0
母子家庭/子ども2人	67	14.9	4.5	0.0	1.5	3.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
母子家庭/子ども3人以上	20	15.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども1人	23	21.7	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
父子家庭/子ども2人	18	38.9	0.0	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども3人以上	7	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と子ども1人	658	29.2	1.5	3.2	1.7	1.5	3.0	3.2	1.5	0.2	0.0
夫婦と子ども2人	624	26.0	1.0	2.1	1.3	1.1	4.8	4.2	1.0	0.5	0.2
夫婦と子ども3人以上	200	18.5	2.5	4.0	0.5	1.0	4.5	1.5	0.5	0.0	0.0
三世代同居/子ども1人	77	27.3	3.9	10.4	2.6	2.6	2.6	2.6	1.3	0.0	0.0
三世代同居/子ども2人	63	19.0	1.6	4.8	0.0	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
三世代同居/子ども3人以上	26	34.6	3.8	7.7	0.0	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0
その他/子ども1人	14	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども2人	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ケ 「お金がかかっている」費目【世帯年収/子どもの人数別】

- (ア)「食費」は、「400～599万円」の世帯を除き、いずれの年収帯においても、子どもが「2人」以上いる世帯の割合が「1人」よりも高くなっている。
- (イ)「子どもの教育費用」は、年収「～399万円以下」では、「子ども1人」の世帯は17.0%、「子ども2人」の世帯は24.4%、「子ども3人以上」の世帯は26.7%と、子どもが増えるにつれて割合が高くなっている。年収「1,200万円以上」では、「子ども2人」の世帯が全体と比べると13ポイント高くなっている。
- (ウ)「子どもの学習塾代」は、同じ年収帯の中で比べると、「400～599万円」と「800～1,199万円」の「子ども2人」の世帯で、それ以外の年収では「子ども3人以上」の世帯で高くなっている。

図表3-35 「お金がかかっている」費目

【世帯年収/子どもの人数3別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
～399万円以下/子ども1人	159	70.4	33.3	47.2	42.8	13.8	8.2	6.3	17.0	6.9	5.7
～399万円以下/子ども2人	86	74.4	34.9	45.3	32.6	10.5	18.6	4.7	24.4	9.3	5.8
～399万円以下/子ども3人以上	30	86.7	40.0	40.0	40.0	13.3	3.3	0.0	26.7	13.3	3.3
400～599万円/子ども1人	173	72.3	25.4	59.5	32.4	8.7	11.6	8.1	20.8	5.2	5.8
400～599万円/子ども2人	136	69.9	20.6	67.6	30.1	7.4	11.8	7.4	28.7	10.3	9.6
400～599万円/子ども3人以上	37	73.0	32.4	59.5	29.7	0.0	8.1	10.8	24.3	2.7	5.4
600～799万円/子ども1人	166	64.5	17.5	60.2	27.7	6.0	9.6	8.4	30.7	10.2	7.2
600～799万円/子ども2人	157	68.2	20.4	57.3	26.8	4.5	14.0	6.4	29.3	12.7	8.3
600～799万円/子ども3人以上	55	65.5	14.5	41.8	32.7	12.7	10.9	3.6	29.1	14.5	7.3
800～1,199万円/子ども1人	208	54.8	19.2	64.9	27.4	5.3	13.0	10.6	31.7	8.2	7.2
800～1,199万円/子ども2人	211	64.9	16.6	58.3	17.1	5.2	11.4	8.5	32.7	14.2	17.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	77.5	29.6	45.1	35.2	5.6	4.2	4.2	33.8	11.3	15.5
1,200万円以上/子ども1人	97	48.5	16.5	68.0	22.7	3.1	9.3	12.4	26.8	10.3	12.4
1,200万円以上/子ども2人	123	55.3	9.8	46.3	16.3	4.1	5.7	7.3	41.5	25.2	15.4
1,200万円以上/子ども3人以上	34	67.6	26.5	44.1	11.8	5.9	5.9	0.0	26.5	29.4	26.5
収入はない/子ども1人	7	71.4	42.9	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	56.7	25.0	41.7	40.0	8.3	5.0	10.0	28.3	11.7	3.3
答えたくない/子ども2人	54	64.8	20.4	50.0	24.1	9.3	9.3	11.1	22.2	20.4	16.7
答えたくない/子ども3人以上	26	73.1	11.5	53.8	15.4	3.8	11.5	0.0	30.8	26.9	23.1
無回答	28	50.0	32.1	60.7	32.1	7.1	14.3	7.1	39.3	7.1	7.1

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
～399万円以下/子ども1人	159	20.8	3.8	3.1	0.6	2.5	0.6	0.6	3.1	1.3	0.0
～399万円以下/子ども2人	86	25.6	1.2	3.5	0.0	3.5	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	30	20.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
400～599万円/子ども1人	173	30.1	1.2	1.7	3.5	0.0	1.7	1.2	1.2	0.0	0.0
400～599万円/子ども2人	136	19.1	0.0	2.2	2.2	0.0	1.5	0.7	1.5	0.7	0.0
400～599万円/子ども3人以上	37	24.3	0.0	2.7	0.0	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0
600～799万円/子ども1人	166	26.5	1.8	4.2	1.8	0.6	4.8	3.6	1.2	0.6	0.0
600～799万円/子ども2人	157	27.4	2.5	1.3	2.5	1.9	3.2	3.2	1.3	0.0	0.0
600～799万円/子ども3人以上	55	20.0	7.3	7.3	0.0	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0
800～1,199万円/子ども1人	208	28.4	1.4	4.3	1.4	2.9	3.8	4.8	1.9	0.0	0.0
800～1,199万円/子ども2人	211	27.5	0.5	2.4	0.9	0.5	5.2	3.8	0.0	0.0	0.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	21.1	2.8	5.6	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	36.1	1.0	2.1	2.1	4.1	3.1	4.1	2.1	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	24.4	2.4	2.4	1.6	3.3	10.6	10.6	0.8	0.8	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	20.6	0.0	0.0	2.9	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども1人	7	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	35.0	3.3	13.3	1.7	0.0	3.3	0.0	1.7	0.0	0.0
答えたくない/子ども2人	54	24.1	1.9	1.9	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	1.9	0.0
答えたくない/子ども3人以上	26	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0
無回答	28	3.6	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0

コ 「お金がかかっている」費目【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「食費」は、世帯の就労状況にかかわらず、「子ども3人以上」の世帯で7割を超えている。

(イ)「子どもの教育費用」は、「父のみ就労」「母のみ就労」「共働き」の「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯で3割以上となっており、「母のみ就労/子ども2人」の世帯では40.7%となっている。

(ウ)「子どもの学習塾代」「子どもの習い事代」は、「父のみ就労」「共働き」の「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯が、同じ就労帯の中の「子ども1人」の世帯と比べると5ポイント以上高い。

図表3-36 「お金がかかっている」費目

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
父のみ就労/子ども1人	208	65.4	20.7	55.3	34.1	6.3	10.1	11.5	26.9	9.1	5.8
父のみ就労/子ども2人	175	64.0	21.1	59.4	25.1	2.9	12.0	4.0	30.9	14.3	12.0
父のみ就労/子ども3人以上	52	71.2	23.1	48.1	30.8	5.8	1.9	7.7	30.8	17.3	15.4
母のみ就労/子ども1人	114	62.3	25.4	57.9	35.1	13.2	10.5	2.6	21.9	8.8	7.9
母のみ就労/子ども2人	59	67.8	25.4	45.8	22.0	15.3	11.9	8.5	40.7	13.6	6.8
母のみ就労/子ども3人以上	18	72.2	44.4	38.9	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	5.6	0.0
共働き/子ども1人	443	61.6	22.1	62.5	29.3	6.8	11.3	9.5	23.3	8.1	7.9
共働き/子ども2人	479	66.4	17.1	56.4	21.7	5.6	11.1	8.1	30.3	16.3	14.8
共働き/子ども3人以上	152	72.4	25.0	46.1	27.0	5.9	10.5	1.3	31.6	15.8	15.1
その他/子ども1人	92	57.6	23.9	46.7	33.7	8.7	5.4	12.0	42.4	5.4	4.3
その他/子ども2人	56	64.3	25.0	51.8	35.7	10.7	16.1	10.7	28.6	5.4	1.8
その他/子ども3人以上	32	81.3	21.9	53.1	34.4	12.5	3.1	9.4	12.5	9.4	6.3
誰も働いていない/子ども1人	15	86.7	60.0	26.7	46.7	13.3	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7
誰も働いていない/子ども2人	2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
無回答	20	50.0	30.0	55.0	25.0	5.0	25.0	0.0	40.0	10.0	0.0

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介 護保険料・ 年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
父のみ就労/子ども1人	208	29.8	2.9	3.4	3.8	1.4	1.4	2.9	0.5	0.5	0.0
父のみ就労/子ども2人	175	24.6	0.6	4.6	1.7	1.7	5.1	2.9	0.6	1.1	0.6
父のみ就労/子ども3人以上	52	17.3	1.9	5.8	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
母のみ就労/子ども1人	114	24.6	4.4	2.6	0.9	0.9	2.6	0.9	2.6	0.9	0.0
母のみ就労/子ども2人	59	22.0	3.4	3.4	1.7	5.1	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
母のみ就労/子ども3人以上	18	22.2	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き/子ども1人	443	28.4	0.9	4.3	1.6	1.6	3.8	3.4	1.8	0.2	0.0
共働き/子ども2人	479	25.1	1.3	1.0	1.5	1.0	4.6	4.6	0.8	0.2	0.0
共働き/子ども3人以上	152	19.7	3.3	3.3	0.0	1.3	4.6	2.0	1.3	0.0	0.0
その他/子ども1人	92	28.3	3.3	6.5	0.0	2.2	1.1	1.1	3.3	0.0	0.0
その他/子ども2人	56	30.4	1.8	3.6	0.0	0.0	5.4	1.8	0.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	32	28.1	3.1	9.4	3.1	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども1人	15	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども2人	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	20	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0

サ 「お金がかかっている」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「食費」は、特に「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人」の世帯が81.4%と高くなっている。

(イ)「子どもの教育費用」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生」の世帯では、「子ども1人」(8.0%)と比べて、「子ども2人」が25.5%、「子ども3人以上」が33.3%と、いずれも17ポイント以上高い。「一番下の子どもが中学校」の世帯では、「子ども1人」(28.4%)と比べて、「子ども2人」が51.4%、「子ども3人以上」が61.1%と、いずれも23ポイント以上高くなっている。

図表3-37 「お金がかかっている」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	65.2	22.0	55.7	28.1	7.0	10.5	7.7	28.5	11.7	10.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	68.8	40.0	64.0	33.6	1.6	12.0	12.0	0.8	0.0	0.8
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	75.9	34.9	65.1	30.1	1.2	9.6	9.6	7.2	2.4	8.4
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	79.3	27.6	62.1	48.3	0.0	6.9	3.4	3.4	3.4	10.3
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	73.8	32.8	58.5	33.9	4.9	10.4	9.8	10.4	0.5	4.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	81.4	27.9	61.6	26.2	4.1	12.2	6.4	2.9	8.1	12.2
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	77.1	27.1	52.9	35.7	4.3	11.4	4.3	14.3	7.1	20.0
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	65.5	23.8	58.3	29.8	3.6	11.9	10.7	6.0	14.3	21.4
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	54.1	21.4	59.2	22.4	5.1	14.3	11.2	14.3	19.4	25.5
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	73.7	39.5	47.4	28.9	13.2	2.6	2.6	13.2	26.3	13.2
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	63.2	19.5	63.2	31.0	11.5	12.6	6.9	8.0	16.1	21.8
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	68.2	11.8	45.5	18.2	5.5	12.7	9.1	25.5	31.8	22.7
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	79.5	28.2	41.0	10.3	10.3	5.1	2.6	33.3	33.3	15.4
一番下が中学校/子ども1人	88	55.7	22.7	51.1	33.0	10.2	11.4	2.3	28.4	23.9	10.2
一番下が中学校/子ども2人	107	64.5	11.2	58.9	15.9	8.4	8.4	6.5	51.4	25.2	12.1
一番下が中学校/子ども3人以上	36	66.7	16.7	36.1	19.4	11.1	5.6	2.8	61.1	25.0	11.1
一番下が高校/子ども1人	104	62.5	15.4	51.0	26.9	6.7	10.6	6.7	46.2	20.2	4.8
一番下が高校/子ども2人	121	54.5	13.2	51.2	23.1	7.4	10.7	6.6	66.9	13.2	2.5
一番下が高校/子ども3人以上	29	62.1	17.2	37.9	31.0	6.9	6.9	6.9	58.6	0.0	3.4
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	45.8	12.5	50.0	41.7	20.8	8.3	25.0	58.3	4.2	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	25.0	12.5	62.5	37.5	12.5	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	40.3	6.0	58.2	29.1	11.2	7.5	9.0	76.9	0.7	0.7
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	55.4	8.9	48.2	26.8	14.3	10.7	1.8	78.6	1.8	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	33.3	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	76.6	17.0	59.6	36.2	14.9	8.5	10.6	8.5	2.1	0.0
一番下が通学していない/子ども2人	18	44.4	27.8	50.0	38.9	11.1	11.1	5.6	22.2	5.6	5.6
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	85.7	0.0	42.9	57.1	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
無回答	14	78.6	35.7	50.0	28.6	7.1	14.3	7.1	35.7	0.0	14.3

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介 護保険料・ 年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	25.6	2.0	3.3	1.5	1.6	3.6	2.9	1.3	0.3	0.1
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども1人	125	40.0	0.0	3.2	4.0	0.8	1.6	3.2	1.6	0.8	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども2人	83	32.5	1.2	0.0	1.2	1.2	4.8	8.4	1.2	0.0	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども3人以上	29	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども1人	183	30.1	1.6	1.6	3.3	3.3	4.4	3.8	2.2	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども2人	172	25.6	0.0	1.2	2.9	0.6	8.1	4.7	1.7	0.6	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども3人以上	70	20.0	0.0	1.4	0.0	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	26.2	0.0	3.6	0.0	1.2	6.0	3.6	2.4	0.0	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	21.4	0.0	0.0	1.0	2.0	6.1	4.1	0.0	0.0	1.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人 以上	38	10.5	7.9	5.3	0.0	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	18.4	3.4	2.3	1.1	3.4	3.4	3.4	1.1	1.1	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	20.9	1.8	0.0	0.0	1.8	5.5	2.7	0.0	1.8	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども3人 以上	39	15.4	0.0	5.1	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども1人	88	23.9	1.1	3.4	0.0	2.3	0.0	2.3	1.1	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども2人	107	15.0	0.0	2.8	0.0	1.9	0.9	5.6	0.0	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども3人以上	36	19.4	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0
一番下が高校/子ども1人	104	23.1	1.9	2.9	1.9	1.9	1.9	1.0	1.0	0.0	0.0
一番下が高校/子ども2人	121	24.0	5.8	4.1	1.7	2.5	2.5	0.8	1.7	0.0	0.0
一番下が高校/子ども3人以上	29	27.6	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども1 人	24	20.8	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2 人	8	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3 人以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	26.1	6.0	7.5	1.5	0.0	3.0	0.7	1.5	0.7	0.0
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	37.5	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	36.2	2.1	10.6	2.1	0.0	2.1	4.3	4.3	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども2人	18	38.9	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以 上	7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	14	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

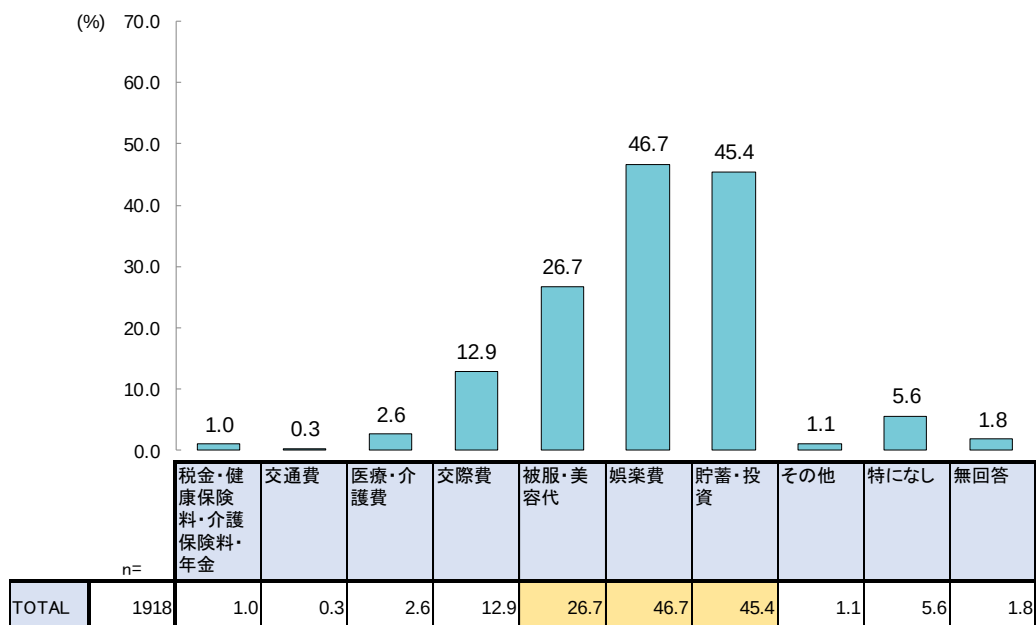
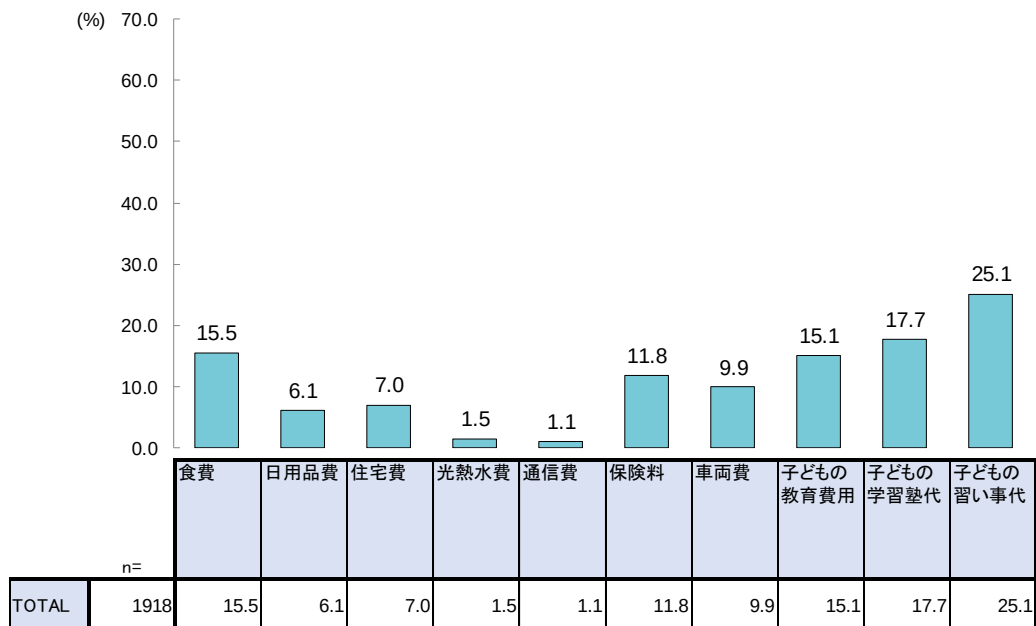
(2) 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

ア 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

(ア) 「娯楽費」が最も高く46.7%、次いで「貯蓄・投資」が45.4%、「被服・美容代」が26.7%となっている。

(イ) 子どもの教育費用関係では、「子どもの教育費用」が15.1%、「子どもの学習塾代」が17.7%、「子どもの習い事代」が25.1%となっている。

図表3-38 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目



イ 「お金がかかっている費目」と「本当はお金をかけたいが、かけられていない費目」の比較

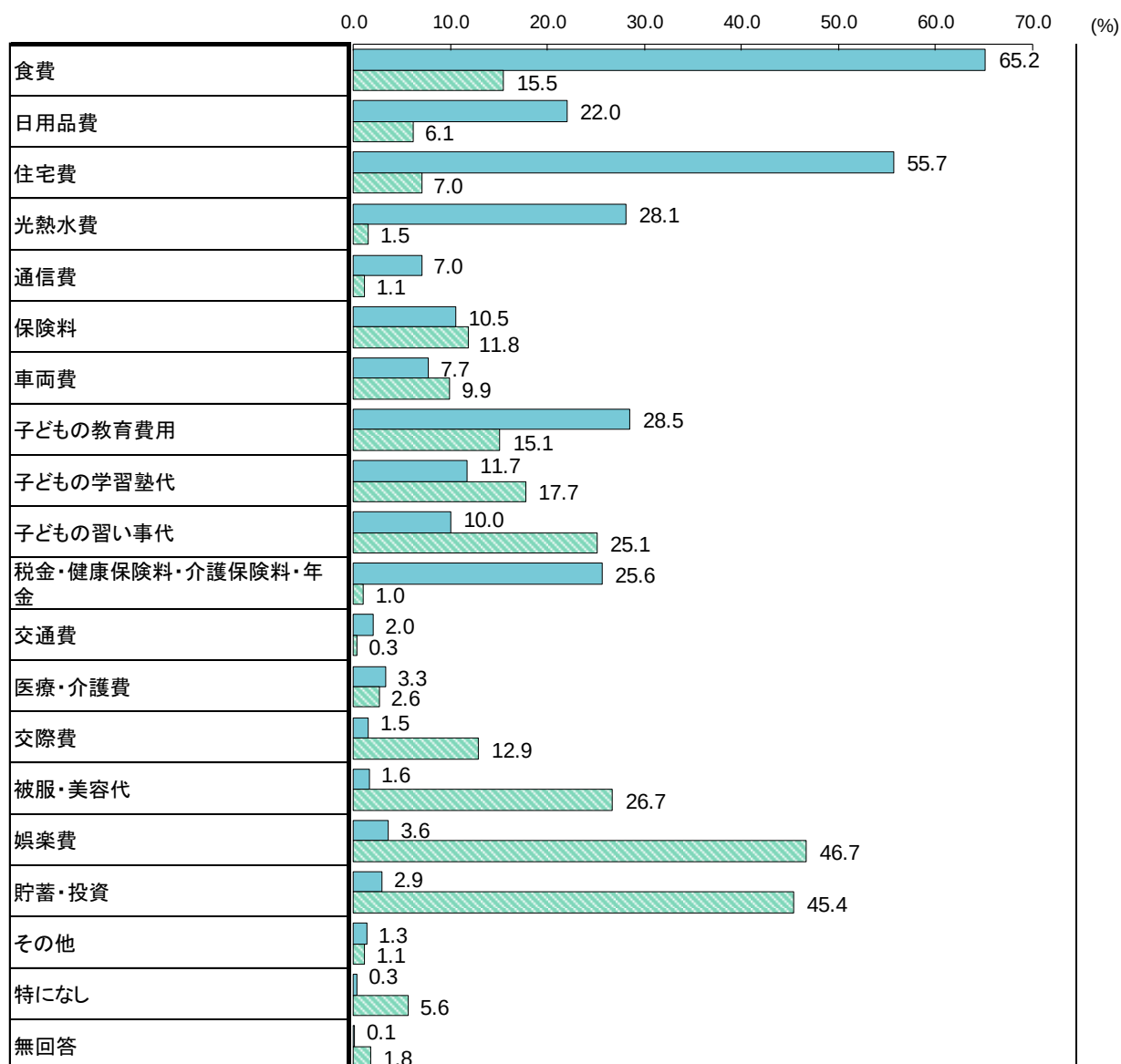
(ア)「お金がかかっている費目」と「本当はお金をかけたいが、かけられていない費目」のギャップが大きいものは、「娯楽費」43.1ポイント、「貯蓄・投資」42.5ポイント、「被服・美容代」が25.1ポイントで、「本当はお金をかけたいが、かけられていない費目」が高い。

(イ) 子どもの教育費用関係のギャップをみると、「子どもの習い事代」が15.1ポイント、「子どもの学習塾代」が6ポイントで、「本当はお金をかけたいが、かけられていない費目」が高い。

図表3-39 「お金がかかっている費目」と「本当はお金をかけたいが、かけられていない費目」の比較

■ Q5(1)「お金がかかっている」費目(n=1918)

■ Q5(2)「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目(n=1918)



ウ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、全体の上位3項目を除くと、「子ども1人」の世帯では「食費」が15.9%、「子ども2人」の世帯では「子どもの習い事代」が27.3%、「子ども3人以上」の世帯では「子どもの習い事代」が31.0%、「子どもの学習塾代」が27.1%と高くなっている。

図表3-40 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目
【子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
1人	880	15.9	7.5	7.2	1.6	0.9	13.8	8.9	15.3	13.2	21.4
2人	779	15.0	5.3	7.2	1.5	1.2	9.4	10.9	14.2	19.9	27.3
3人以上	255	15.3	3.9	6.3	1.2	1.6	12.9	10.2	16.5	27.1	31.0
無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
1人	880	1.4	0.6	3.5	14.2	28.1	44.3	46.7	1.4	5.9	1.8
2人	779	0.4	0.0	1.8	13.0	27.1	49.3	43.8	0.8	6.2	1.7
3人以上	255	2.0	0.4	2.0	7.8	21.2	46.7	45.9	1.2	3.1	2.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0

エ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【家計の状況別】

- (ア) 家計の状況別にみると、全体の上位3項目を除くと、家計の状況が「苦しい」と「普通」の世帯では、「子どもの習い事代」(32.7%、21.6%)、「子どもの学習塾代」(22.9%、15.5%)が高い。
- (イ) 家計の状況が「苦しい」世帯では、「食費」が21.5%と他の状況と比べると高くなっている。
- (ウ) 家計の状況に「ゆとりがある」世帯では、「特になし」の割合が19.0%と高くなっている。

図表3-41 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【家計の状況別：クロス集計】

n=		食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
苦しい	826	21.5	8.4	7.4	2.4	1.0	17.1	9.7	21.3	22.9	32.7
普通	746	11.9	4.7	6.7	0.8	1.6	8.8	10.3	11.1	15.5	21.6
ゆとりがある	300	8.0	3.7	6.7	0.7	0.3	6.0	9.7	9.3	9.0	12.7
わからない	23	8.7	4.3	8.7	4.3	0.0	4.3	4.3	8.7	17.4	34.8
答えたくない	12	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0
無回答	11	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	36.4

n=		税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
苦しい	826	1.8	0.5	3.5	10.9	26.0	47.0	46.2	1.2	0.4	1.0
普通	746	0.5	0.1	2.4	14.9	28.0	49.7	47.9	0.9	5.6	2.5
ゆとりがある	300	0.3	0.0	1.0	13.3	25.3	37.7	37.3	1.7	19.0	2.0
わからない	23	0.0	4.3	0.0	4.3	21.7	39.1	30.4	0.0	21.7	0.0
答えたくない	12	0.0	0.0	0.0	33.3	41.7	41.7	50.0	0.0	8.3	8.3
無回答	11	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	81.8	63.6	0.0	0.0	0.0

オ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【家族構成別】

(ア) 家族構成別にみると、全体の上位3項目を除くと、「母子家庭」「夫婦と子ども」「三世代同居」の世帯では、「子どもの習い事代」が2割台半ばと高い。

(イ) 「母子家庭」「父子家庭」では、「食費」がそれぞれ20.8%、22.9%と高くなっている。

(ウ) 「父子家庭」では、「日用品費」の割合が16.7%と、他の家族構成と比べて高くなっている。

図表3-42 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目
【家族構成別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
母子家庭	192	20.8	6.3	7.8	2.6	0.5	15.6	4.7	13.5	18.8	27.1
父子家庭	48	22.9	16.7	12.5	0.0	0.0	20.8	10.4	10.4	18.8	18.8
夫婦と子ども	1485	14.7	5.9	6.9	1.2	1.3	10.8	10.6	15.5	17.8	24.9
三世代同居	167	13.8	4.8	4.8	2.4	0.0	14.4	9.6	12.0	16.2	25.1
その他	21	19.0	4.8	14.3	4.8	4.8	9.5	9.5	38.1	19.0	28.6
無回答	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
母子家庭	192	1.0	0.5	3.6	15.1	32.3	47.9	41.1	1.0	3.1	3.1
父子家庭	48	0.0	4.2	0.0	10.4	22.9	39.6	35.4	2.1	6.3	4.2
夫婦と子ども	1485	0.8	0.1	2.2	12.5	26.3	47.5	45.6	0.9	6.2	1.5
三世代同居	167	1.8	0.0	5.4	13.8	26.9	43.1	53.9	2.4	3.6	1.8
その他	21	14.3	4.8	9.5	14.3	14.3	28.6	23.8	4.8	4.8	4.8
無回答	5	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0

カ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【世帯年収別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、年収にかかわらず、「子どもの習い事代」「子どもの学習塾代」が高い。

(イ) それ以外では、年収「～399万円以下」と「400～599万円」の世帯で「食費」(20.7%、19.6%)、「600～799万円」と「800～1,199万円」の世帯で「子どもの教育費用」(16.4%、15.3%)が続く。

図表3-43 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯年収別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
～399万円以下	275	20.7	7.3	5.8	2.2	1.1	17.5	5.1	18.2	24.0	34.2
400～599万円	347	19.6	6.9	7.8	1.7	0.3	15.9	10.1	15.9	17.6	28.5
600～799万円	378	14.6	8.2	7.4	0.5	1.3	10.8	10.3	16.4	18.3	28.3
800～1,199万円	490	12.2	4.1	7.8	1.2	1.8	11.2	11.6	15.3	16.9	22.9
1,200万円以上	255	8.2	4.7	5.9	0.8	0.8	4.3	13.3	9.8	11.0	14.1
収入はない	7	57.1	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
答えたくない	140	19.3	3.6	7.1	2.9	0.7	7.9	4.3	13.6	20.7	21.4
無回答	26	19.2	7.7	3.8	7.7	0.0	19.2	19.2	11.5	15.4	7.7

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
～399万円以下	275	2.2	1.1	4.7	10.9	28.0	40.7	40.4	0.4	2.9	2.5
400～599万円	347	1.4	0.3	2.3	14.1	25.9	50.7	47.8	1.2	2.0	0.6
600～799万円	378	1.3	0.0	3.4	13.5	29.1	50.0	42.9	1.3	4.0	0.8
800～1,199万円	490	0.6	0.0	1.6	13.7	25.5	45.9	50.0	0.8	6.3	1.6
1,200万円以上	255	0.4	0.0	0.8	13.3	23.5	45.1	48.2	1.6	13.7	1.6
収入はない	7	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
答えたくない	140	0.0	0.7	2.9	10.7	27.9	43.6	37.1	2.1	8.6	6.4
無回答	26	0.0	0.0	3.8	3.8	38.5	53.8	34.6	3.8	0.0	3.8

キ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目【世帯の就労状況別】

- (ア) 全体の上位3項目を除くと、世帯の就労状況にかかわらず、「子どもの習い事代」「子どもの学習塾代」が高い。
- (イ) 「母のみ就労」の世帯では、「食費」「交際費」が2割弱となっている。

図表3-44 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目
【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
父のみ就労	435	16.6	8.0	7.1	1.8	1.4	11.7	8.7	16.8	18.2	26.2
母のみ就労	191	19.4	6.8	7.9	3.1	0.5	15.2	8.4	12.0	17.8	27.2
共働き	1077	14.1	4.9	6.5	0.8	1.2	10.8	10.4	14.9	18.5	26.0
その他	181	13.8	6.1	8.8	2.2	0.6	14.4	9.4	15.5	13.3	17.1
誰も働いていない	18	38.9	22.2	11.1	5.6	0.0	11.1	16.7	5.6	11.1	16.7
無回答	16	25.0	6.3	6.3	6.3	0.0	18.8	25.0	25.0	12.5	6.3

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
父のみ就労	435	0.9	0.5	3.4	12.0	26.2	42.5	42.1	0.9	7.1	2.3
母のみ就労	191	3.1	1.0	4.2	19.9	30.4	46.1	37.2	1.6	3.1	3.1
共働き	1077	0.5	0.2	1.5	12.0	26.5	48.4	46.9	1.0	6.1	1.1
その他	181	2.8	0.0	5.5	13.8	23.8	48.1	54.1	2.2	2.8	3.3
誰も働いていない	18	0.0	0.0	0.0	5.6	38.9	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0
無回答	16	0.0	0.0	6.3	12.5	37.5	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0

ク 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、「子どもの学習塾代」は「一番下の子どもが小学校1～3年生」「一番下の子どもが小学校4～6年生」「一番下の子どもが中学校」の世帯で3割前後である。

(イ) 「子どもの習い事代」は、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)」から「一番下の子どもが4～6年生」の世帯で約3～4割となっている。

図表3-45 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
一番下が通園していない(6歳以下)	237	13.9	6.3	11.8	0.8	0.0	14.3	11.4	21.1	8.9	30.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	10.8	4.9	7.0	0.7	1.6	12.4	8.0	15.2	16.4	40.3
一番下が小学校1～3年生	220	12.7	1.8	6.4	0.9	0.5	9.5	10.5	14.5	30.9	34.1
一番下が小学校4～6年生	236	16.5	5.9	3.8	1.7	1.3	10.2	8.9	16.1	31.4	29.2
一番下が中学校	231	16.0	6.9	5.2	0.9	0.9	10.8	10.4	15.6	27.7	19.5
一番下が高校	254	20.1	7.9	6.3	2.8	2.0	13.4	7.9	13.4	13.8	13.8
一番下が専門学校/短期大学	33	30.3	6.1	9.1	3.0	0.0	15.2	18.2	18.2	3.0	0.0
一番下が大学・大学院	196	18.9	9.2	8.7	2.6	1.0	9.2	13.8	10.7	1.0	2.6
一番下が通学していない	72	19.4	6.9	8.3	1.4	0.0	16.7	9.7	8.3	5.6	8.3
無回答	12	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
一番下が通園していない(6歳以下)	237	0.8	0.0	2.1	13.9	31.6	42.6	45.6	2.1	4.6	0.8
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	0.9	0.2	0.9	10.8	24.4	42.9	45.9	0.2	5.9	1.4
一番下が小学校1～3年生	220	0.5	0.0	1.4	9.1	22.7	43.6	44.5	0.5	5.5	2.7
一番下が小学校4～6年生	236	0.4	0.0	2.5	9.7	20.3	46.2	36.4	0.4	6.8	2.1
一番下が中学校	231	1.3	0.0	1.3	13.4	29.0	51.5	42.0	0.4	6.5	0.4
一番下が高校	254	0.8	0.4	3.9	15.7	29.9	48.8	49.6	2.4	4.3	1.6
一番下が専門学校/短期大学	33	0.0	9.1	3.0	6.1	33.3	45.5	45.5	0.0	3.0	6.1
一番下が大学・大学院	196	1.5	0.5	6.6	18.4	27.6	54.6	54.1	0.5	8.2	3.1
一番下が通学していない	72	5.6	0.0	6.9	20.8	34.7	45.8	48.6	6.9	1.4	2.8
無回答	12	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	66.7	33.3	8.3	0.0	0.0

ケ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【家族構成/子どもの人数別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、「子どもの学習塾代」「子どもの習い事代」については、「母子家庭」と「夫婦と子ども」の世帯で、子どもの人数が増えるにつれて割合が高くなっている。

(イ) 「食費」は、「母子家庭/子ども2人」の世帯で25.4%となっている。

図表3-46 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
母子家庭/子ども1人	105	18.1	6.7	7.6	3.8	1.0	13.3	3.8	12.4	14.3	22.9
母子家庭/子ども2人	67	25.4	7.5	7.5	1.5	0.0	14.9	3.0	13.4	23.9	28.4
母子家庭/子ども3人以上	20	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	15.0	20.0	25.0	45.0
父子家庭/子ども1人	23	26.1	21.7	17.4	0.0	0.0	21.7	8.7	17.4	8.7	4.3
父子家庭/子ども2人	18	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0	22.2	11.1	5.6	27.8	33.3
父子家庭/子ども3人以上	7	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6
夫婦と子ども1人	658	14.9	7.1	7.1	0.9	0.9	13.4	9.7	16.1	13.8	21.0
夫婦と子ども2人	624	14.4	5.1	7.5	1.4	1.4	8.3	12.2	14.4	18.4	26.8
夫婦と子ども3人以上	200	14.5	4.0	4.5	1.5	2.0	10.0	8.5	16.5	29.0	32.0
三世代同居/子ども1人	77	15.6	6.5	3.9	3.9	0.0	15.6	9.1	7.8	9.1	28.6
三世代同居/子ども2人	63	11.1	4.8	3.2	1.6	0.0	11.1	6.3	15.9	25.4	25.4
三世代同居/子ども3人以上	26	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	19.2	19.2	15.4	15.4	15.4
その他/子ども1人	14	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	42.9	7.1	21.4
その他/子ども2人	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	60.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
無回答	9	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	33.3

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介 護保険料・ 年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
母子家庭/子ども1人	105	1.9	1.0	2.9	15.2	35.2	51.4	43.8	1.9	4.8	3.8
母子家庭/子ども2人	67	0.0	0.0	6.0	17.9	32.8	41.8	38.8	0.0	1.5	3.0
母子家庭/子ども3人以上	20	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	50.0	35.0	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども1人	23	0.0	8.7	0.0	13.0	21.7	34.8	39.1	4.3	4.3	4.3
父子家庭/子ども2人	18	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0
父子家庭/子ども3人以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3
夫婦と子ども1人	658	0.9	0.2	3.2	13.8	28.1	43.9	47.1	0.9	6.7	1.4
夫婦と子ども2人	624	0.5	0.0	1.3	12.3	25.6	50.6	44.1	0.8	6.7	1.4
夫婦と子ども3人以上	200	1.5	0.5	1.5	8.0	22.5	49.5	45.5	1.0	3.0	2.0
三世代同居/子ども1人	77	2.6	0.0	6.5	15.6	22.1	42.9	55.8	3.9	1.3	1.3
三世代同居/子ども2人	63	0.0	0.0	3.2	12.7	38.1	49.2	49.2	0.0	4.8	3.2
三世代同居/子ども3人以上	26	3.8	0.0	7.7	11.5	15.4	26.9	57.7	3.8	7.7	0.0
その他/子ども1人	14	14.3	7.1	14.3	14.3	14.3	35.7	14.3	0.0	7.1	7.1
その他/子ども2人	5	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0

コ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯年収/子どもの人数別】

「子どもの習い事代」「子どもの学習塾代」について、年収「600～799万円」以外では、同じ年収帯の中でみると、「子ども1人」よりも「2人」、「2人」よりも「3人以上」の世帯で割合が高い。

図表3-47 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
～399万円以下/子ども1人	159	19.5	8.2	5.0	2.5	1.9	17.0	3.8	21.4	19.5	32.1
～399万円以下/子ども2人	86	24.4	7.0	8.1	2.3	0.0	15.1	5.8	12.8	24.4	34.9
～399万円以下/子ども3人以上	30	16.7	3.3	3.3	0.0	0.0	26.7	10.0	16.7	46.7	43.3
400～599万円/子ども1人	173	20.8	8.1	7.5	2.3	0.0	15.6	11.6	13.9	15.6	26.6
400～599万円/子ども2人	136	19.1	6.6	8.1	1.5	0.7	16.2	8.8	16.9	19.1	28.7
400～599万円/子ども3人以上	37	16.2	2.7	8.1	0.0	0.0	16.2	8.1	21.6	21.6	37.8
600～799万円/子ども1人	166	15.1	9.0	10.2	0.6	0.6	12.7	11.4	16.3	13.3	20.5
600～799万円/子ども2人	157	13.4	8.9	4.5	0.6	1.9	7.6	9.6	16.6	23.6	36.9
600～799万円/子ども3人以上	55	16.4	3.6	7.3	0.0	1.8	14.5	9.1	16.4	18.2	27.3
800～1,199万円/子ども1人	208	11.1	4.8	6.7	0.0	1.4	13.5	8.7	13.9	11.5	19.2
800～1,199万円/子ども2人	211	12.3	3.3	9.0	1.9	1.9	9.0	14.2	14.2	17.1	25.1
800～1,199万円/子ども3人以上	71	15.5	4.2	7.0	2.8	2.8	11.3	12.7	22.5	32.4	26.8
1,200万円以上/子ども1人	97	10.3	8.2	8.2	2.1	1.0	7.2	11.3	10.3	1.0	6.2
1,200万円以上/子ども2人	123	6.5	1.6	4.1	0.0	0.8	1.6	15.4	8.9	15.4	16.3
1,200万円以上/子ども3人以上	34	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	8.8	23.5	26.5
収入はない/子ども1人	7	57.1	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	15.0	3.3	5.0	1.7	0.0	13.3	1.7	16.7	16.7	16.7
答えたくない/子ども2人	54	22.2	3.7	11.1	3.7	0.0	3.7	5.6	16.7	25.9	20.4
答えたくない/子ども3人以上	26	23.1	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	7.7	0.0	19.2	34.6
無回答	28	21.4	7.1	3.6	7.1	0.0	17.9	17.9	14.3	14.3	10.7

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康保険料・介護保険料・年金	交通費	医療・介護費	交際費	被服・美容代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
～399万円以下/子ども1人	159	1.9	1.9	5.0	11.3	31.4	42.8	40.3	0.6	2.5	2.5
～399万円以下/子ども2人	86	1.2	0.0	5.8	11.6	23.3	40.7	41.9	0.0	4.7	2.3
～399万円以下/子ども3人以上	30	6.7	0.0	0.0	6.7	23.3	30.0	36.7	0.0	0.0	3.3
400～599万円/子ども1人	173	1.2	0.6	2.9	15.6	28.3	47.4	48.6	1.7	1.7	0.0
400～599万円/子ども2人	136	0.7	0.0	2.2	12.5	24.3	52.2	47.1	0.7	2.9	1.5
400～599万円/子ども3人以上	37	5.4	0.0	0.0	10.8	18.9	59.5	48.6	0.0	0.0	0.0
600～799万円/子ども1人	166	1.8	0.0	3.6	15.7	28.9	44.6	45.2	0.6	4.2	1.2
600～799万円/子ども2人	157	0.6	0.0	1.9	12.7	29.9	55.4	41.4	0.6	3.2	0.0
600～799万円/子ども3人以上	55	1.8	0.0	7.3	9.1	27.3	50.9	40.0	5.5	5.5	1.8
800～1,199万円/子ども1人	208	1.4	0.0	3.8	15.9	24.5	43.3	54.8	1.0	8.7	1.9
800～1,199万円/子ども2人	211	0.0	0.0	0.0	14.2	30.3	49.3	44.5	0.9	5.2	1.4
800～1,199万円/子ども3人以上	71	0.0	0.0	0.0	5.6	14.1	43.7	52.1	0.0	2.8	1.4
1,200万円以上/子ども1人	97	1.0	0.0	1.0	15.5	24.7	41.2	47.4	4.1	15.5	2.1
1,200万円以上/子ども2人	123	0.0	0.0	0.8	13.0	22.0	44.7	48.0	0.0	16.3	1.6
1,200万円以上/子ども3人以上	34	0.0	0.0	0.0	8.8	26.5	58.8	52.9	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども1人	7	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	0.0	0.0	3.3	10.0	30.0	46.7	36.7	1.7	8.3	6.7
答えたくない/子ども2人	54	0.0	0.0	1.9	13.0	27.8	46.3	35.2	3.7	7.4	7.4
答えたくない/子ども3人以上	26	0.0	3.8	3.8	7.7	23.1	30.8	42.3	0.0	11.5	3.8
無回答	28	0.0	0.0	3.6	7.1	39.3	53.6	32.1	3.6	0.0	3.6

サ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、「子どもの学習塾代」では、「父のみ就労/子ども2人」の世帯が24.0%、「母のみ就労/子ども3人以上」の世帯が27.8%、「共働き/子ども3人以上」の世帯が31.6%と高い。

(イ) 「子どもの習い事代」は、いずれの世帯の就労状況でも、「子ども3人以上」の世帯が3割以上となっている。

図表3-48 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
父のみ就労/子ども1人	208	17.8	9.6	9.1	1.9	1.0	13.9	8.7	15.9	14.9	23.6
父のみ就労/子ども2人	175	14.3	5.7	6.9	1.7	1.1	9.7	9.7	19.4	24.0	27.4
父のみ就労/子ども3人以上	52	19.2	9.6	0.0	1.9	3.8	9.6	5.8	11.5	11.5	32.7
母のみ就労/子ども1人	114	15.8	6.1	8.8	2.6	0.9	14.0	7.9	13.2	14.0	22.8
母のみ就労/子ども2人	59	25.4	10.2	6.8	5.1	0.0	13.6	8.5	6.8	22.0	32.2
母のみ就労/子ども3人以上	18	22.2	0.0	5.6	0.0	0.0	27.8	11.1	22.2	27.8	38.9
共働き/子ども1人	443	14.2	6.1	6.1	0.9	0.9	13.1	8.6	15.3	13.5	21.4
共働き/子ども2人	479	14.0	4.4	6.3	0.6	1.5	8.6	11.7	13.6	19.0	28.0
共働き/子ども3人以上	152	13.8	3.3	8.6	1.3	1.3	11.2	11.2	17.1	31.6	32.9
その他/子ども1人	92	16.3	9.8	6.5	2.2	1.1	16.3	7.6	16.3	7.6	18.5
その他/子ども2人	56	10.7	3.6	14.3	3.6	0.0	8.9	10.7	12.5	14.3	17.9
その他/子ども3人以上	32	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8	12.5	18.8	28.1	12.5
誰も働いていない/子ども1人	15	33.3	20.0	6.7	6.7	0.0	13.3	20.0	6.7	6.7	6.7
誰も働いていない/子ども2人	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
無回答	20	25.0	5.0	5.0	5.0	0.0	15.0	25.0	25.0	10.0	10.0

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介 護保険料・ 年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
父のみ就労/子ども1人	208	1.0	1.0	4.8	12.5	29.3	37.5	43.8	1.4	6.3	1.9
父のみ就労/子ども2人	175	0.6	0.0	2.3	13.7	26.3	47.4	40.6	0.6	7.4	2.3
父のみ就労/子ども3人以上	52	1.9	0.0	1.9	3.8	13.5	46.2	40.4	0.0	9.6	3.8
母のみ就労/子ども1人	114	4.4	1.8	4.4	21.9	31.6	45.6	38.6	1.8	4.4	4.4
母のみ就労/子ども2人	59	1.7	0.0	5.1	18.6	32.2	45.8	37.3	1.7	1.7	1.7
母のみ就労/子ども3人以上	18	0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	50.0	27.8	0.0	0.0	0.0
共働き/子ども1人	443	0.7	0.2	2.3	13.8	27.5	47.6	48.3	0.9	7.0	0.9
共働き/子ども2人	479	0.2	0.0	1.3	11.3	26.1	50.1	45.1	0.8	6.9	1.3
共働き/子ども3人以上	152	0.7	0.7	0.0	8.6	24.3	45.4	48.7	1.3	1.3	1.3
その他/子ども1人	92	2.2	0.0	5.4	12.0	20.7	43.5	54.3	3.3	3.3	3.3
その他/子ども2人	56	0.0	0.0	1.8	19.6	30.4	51.8	53.6	0.0	1.8	3.6
その他/子ども3人以上	32	9.4	0.0	12.5	9.4	21.9	53.1	53.1	3.1	3.1	3.1
誰も働いていない/子ども1人	15	0.0	0.0	0.0	6.7	46.7	46.7	53.3	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども2人	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	20	0.0	0.0	5.0	15.0	35.0	40.0	40.0	5.0	0.0	0.0

シ 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、「子どもの習い事代」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生」までのほぼすべての「通園・通学状況/子どもの人数」で2割を超える。

(イ) 「子どもの学習塾代」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生」から「中学校」のほぼすべての「通園・通学状況/子どもの人数」で2割台半ばを超える。

(ウ) 「食費」は、「一番下の子どもが中学校」では、「子ども1人」と比べると、「子ども2人」「子ども3人以上」で5ポイント以上高くなっている。

(エ) 「一番下の子どもが高校/3人以上」で、「子どもの教育費用」が27.6%と高い。

図表3-49 「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	食費	日用品費	住宅費	光熱水費	通信費	保険料	車両費	子どもの教育費用	子どもの学習塾代	子どもの習い事代
TOTAL	1918	15.5	6.1	7.0	1.5	1.1	11.8	9.9	15.1	17.7	25.1
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	17.6	8.0	10.4	0.8	0.0	14.4	9.6	27.2	3.2	19.2
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	10.8	3.6	16.9	1.2	0.0	10.8	13.3	16.9	14.5	43.4
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0	24.1	13.8	6.9	17.2	41.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	11.5	6.0	8.7	0.0	1.6	16.9	7.1	15.8	8.2	36.1
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	10.5	5.8	6.4	1.2	1.2	8.7	9.3	15.1	20.9	41.3
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	8.6	0.0	4.3	1.4	2.9	10.0	7.1	12.9	27.1	48.6
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	8.3	3.6	7.1	1.2	0.0	13.1	7.1	13.1	29.8	34.5
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	14.3	1.0	7.1	0.0	1.0	5.1	12.2	14.3	26.5	33.7
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	18.4	0.0	2.6	2.6	0.0	13.2	13.2	18.4	44.7	34.2
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	14.9	6.9	4.6	0.0	3.4	11.5	12.6	11.5	28.7	28.7
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	17.3	4.5	2.7	2.7	0.0	9.1	4.5	18.2	32.7	30.9
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	17.9	7.7	5.1	2.6	0.0	10.3	12.8	20.5	33.3	25.6
一番下が中学校/子ども1人	88	12.5	8.0	4.5	1.1	0.0	10.2	4.5	18.2	28.4	23.9
一番下が中学校/子ども2人	107	17.8	5.6	5.6	0.9	0.9	10.3	15.9	14.0	27.1	16.8
一番下が中学校/子ども3人以上	36	19.4	8.3	5.6	0.0	2.8	13.9	8.3	13.9	27.8	16.7
一番下が高校/子ども1人	104	22.1	9.6	3.8	4.8	1.0	11.5	5.8	13.5	17.3	14.4
一番下が高校/子ども2人	121	19.8	6.6	6.6	1.7	2.5	14.9	9.1	9.9	11.6	15.7
一番下が高校/子ども3人以上	29	13.8	6.9	13.8	0.0	3.4	13.8	10.3	27.6	10.3	3.4
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	29.2	8.3	0.0	4.2	0.0	20.8	12.5	16.7	4.2	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	20.1	9.0	7.5	2.2	0.7	11.2	13.4	10.4	0.7	3.0
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	12.5	10.7	8.9	3.6	1.8	3.6	16.1	10.7	1.8	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
一番下が通学していない/子ども1人	47	17.0	6.4	12.8	2.1	0.0	19.1	10.6	6.4	4.3	8.5
一番下が通学していない/子ども2人	18	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
無回答	14	21.4	14.3	0.0	14.3	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	税金・健康 保険料・介護 保険料・年金	交通費	医療・介護 費	交際費	被服・美容 代	娯楽費	貯蓄・投資	その他	特になし	無回答
TOTAL	1918	1.0	0.3	2.6	12.9	26.7	46.7	45.4	1.1	5.6	1.8
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども1人	125	0.0	0.0	3.2	16.0	35.2	37.6	48.8	2.4	5.6	0.8
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども2人	83	1.2	0.0	1.2	12.0	30.1	48.2	41.0	2.4	4.8	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども3人以上	29	3.4	0.0	0.0	10.3	20.7	48.3	44.8	0.0	0.0	3.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども1人	183	1.6	0.0	0.5	16.9	25.1	42.6	48.6	0.5	3.8	1.1
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども2人	172	0.0	0.0	1.7	6.4	22.7	41.3	44.8	0.0	9.3	1.7
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども3人以上	70	1.4	1.4	0.0	4.3	25.7	47.1	42.9	0.0	2.9	1.4
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	0.0	0.0	2.4	8.3	21.4	44.0	45.2	0.0	4.8	1.2
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	1.0	0.0	0.0	11.2	25.5	41.8	42.9	1.0	7.1	5.1
一番下が小学校1～3年生/子ども3人 以上	38	0.0	0.0	2.6	5.3	18.4	47.4	47.4	0.0	2.6	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	0.0	0.0	3.4	8.0	25.3	39.1	44.8	1.1	6.9	2.3
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	0.9	0.0	0.9	11.8	19.1	54.5	31.8	0.0	5.5	1.8
一番下が小学校4～6年生/子ども3人 以上	39	0.0	0.0	5.1	7.7	12.8	38.5	30.8	0.0	10.3	2.6
一番下が中学校/子ども1人	88	2.3	0.0	2.3	14.8	26.1	50.0	33.0	0.0	11.4	1.1
一番下が中学校/子ども2人	107	0.0	0.0	0.0	13.1	32.7	52.3	46.7	0.0	3.7	0.0
一番下が中学校/子ども3人以上	36	2.8	0.0	2.8	11.1	25.0	52.8	50.0	2.8	2.8	0.0
一番下が高校/子ども1人	104	1.9	1.0	5.8	10.6	26.0	41.3	44.2	2.9	6.7	1.9
一番下が高校/子ども2人	121	0.0	0.0	3.3	19.8	35.5	54.5	49.6	1.7	3.3	0.0
一番下が高校/子ども3人以上	29	0.0	0.0	0.0	17.2	20.7	51.7	69.0	3.4	0.0	6.9
一番下が専門学校/短期大学/子ども1 人	24	0.0	12.5	4.2	8.3	41.7	50.0	41.7	0.0	0.0	8.3
一番下が専門学校/短期大学/子ども2 人	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	62.5	0.0	12.5	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3 人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	2.2	0.7	6.7	17.9	28.4	53.7	53.7	0.0	8.2	3.0
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	0.0	0.0	7.1	21.4	26.8	57.1	53.6	1.8	8.9	3.6
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	4.3	0.0	6.4	19.1	36.2	44.7	55.3	8.5	0.0	2.1
一番下が通学していない/子ども2人	18	0.0	0.0	5.6	33.3	33.3	55.6	38.9	0.0	5.6	5.6
一番下が通学していない/子ども3人 以上	7	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0
無回答	14	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0

5 教育費用の負担が大きい費目

(1) 教育費用の負担が大きい費目

Q 8_1 子どもの教育費用のうち、費用負担が大きいと感じている費目を上から順番に最大3個まで選択肢から選び、該当する番号をご記入ください。

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

第1位から第3位までの回答全体を合わせてどの項目が多く選択されたかを整理すると下表のとおりである（無回答および「負担に感じる費用はない」を除く）。

図表3-50 教育費用の負担が大きい費目

通園・通学状況	件数	1番多かったもの	2番目	3番目
通園していない (6歳以下)	257	習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く) 15.2%	学習塾・家庭教師・通信教育代 9.3%	その他 8.2%
保育園・幼稚園・認定こども園	601	保育料・延長保育料 31.6%	習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く) 28.0%	学習塾・家庭教師・通信教育代 10.8%
小学校 1～3年生	391	習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く) 57.0%	学習塾・家庭教師・通信教育代 29.4%	体育用品(体操服・靴・帽子・水着など) 19.2%
小学校 4～6年生	411	習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く) 50.9%	学習塾・家庭教師・通信教育代 45.3%	体育用品(体操服・靴・帽子・水着など) 16.1%
中学校	434	学習塾・家庭教師・通信教育代 47.0%	制服・靴代(上履き含む) 37.1%	修学旅行費 26.3%
高校	444	授業料 37.4%	通学費(定期代・駐輪代など) 34.5%	学習塾・家庭教師・通信教育代 27.5%
専門学校・短期大学	64	授業料 92.2%	通学費(定期代・駐輪代など) 46.0%	入学料 34.5%
大学・大学院	400	授業料 90.0%	通学費(定期代・駐輪代など) 46.0%	入学料 34.5%
通学していない	188	その他 9.6%	習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く) 5.3%	学習塾・家庭教師・通信教育代 4.8%

(2) 教育費目ごとの金額

Q 8_2 その費目に実際にどれくらいのお金がかかっているか、「月額」「単発（入園料や入学料のような一時的な費用）」を選択のうえ、およその金額もご記入ください。（単数回答および数値回答）

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

実際にどのくらいのお金がかかっているかを通園・通学状況別にみるにあたっては、子どもごとに「通園・通学状況」「負担に感じる費用」「月額か単発か」「金額」が全て記載されているもののみで集計を行い、負担が大きい1番目と2番目の金額の分布を整理した。

※ 「専門学校」「短期大学」は、サンプル数が少ないため、合算して掲載する。

※ サンプル数が30件に満たないものは参考値とされたい。

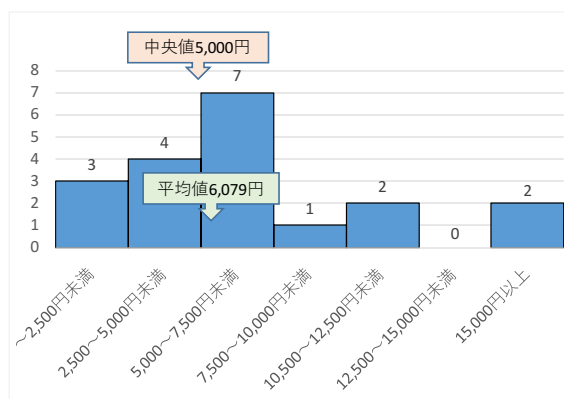
※ ヒストグラムを作成するにあたり、金額にばらつきがあるもの、件数が少ないものはテキストにて金額を記載する。

ア 通園していない（6歳以下）

① 学習塾・家庭教師・通信教育

【月額 19件】

【単発 4件】

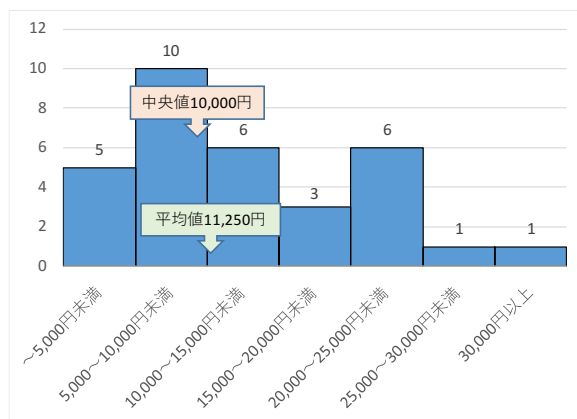


金額：
5,000円、10,000円、
800,000円、1,080,000円

② 習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）

【月額 32件】

【単発 5件】

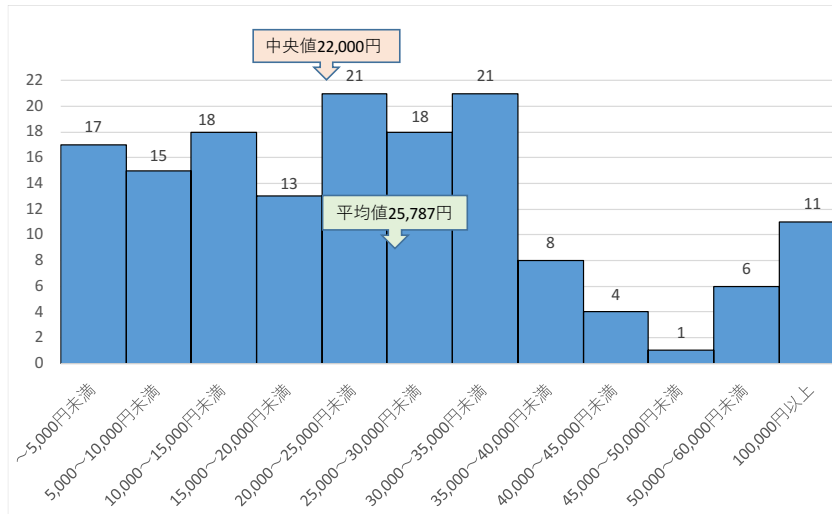


金額：
10,000円×4件、20,000円

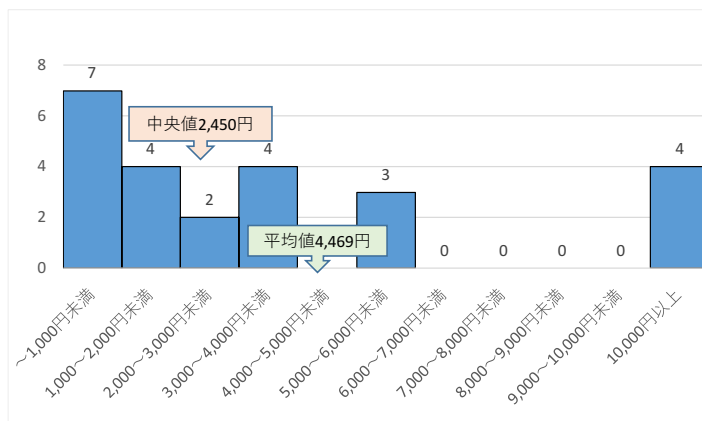
イ 保育園・幼稚園・認定こども園

① 保育料・延長保育料

【月額 153件】



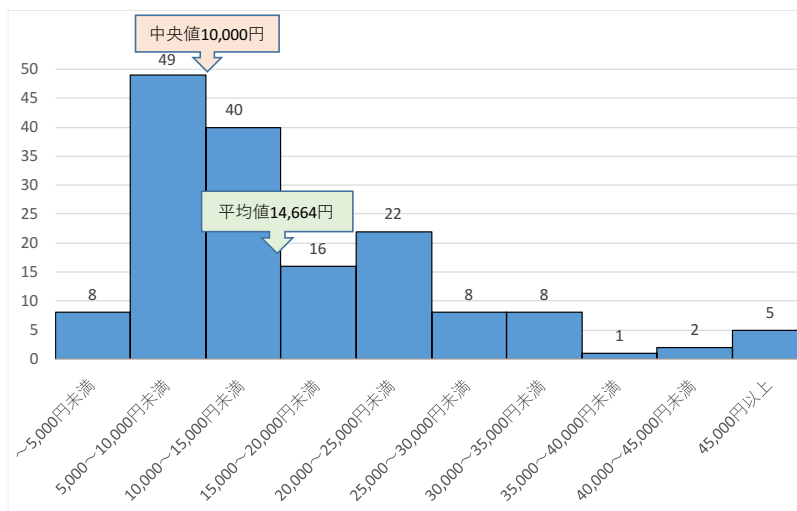
【単発 24件】



② 習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）

【月額 159件】

【単発 2件】



金額：5,000円×2件

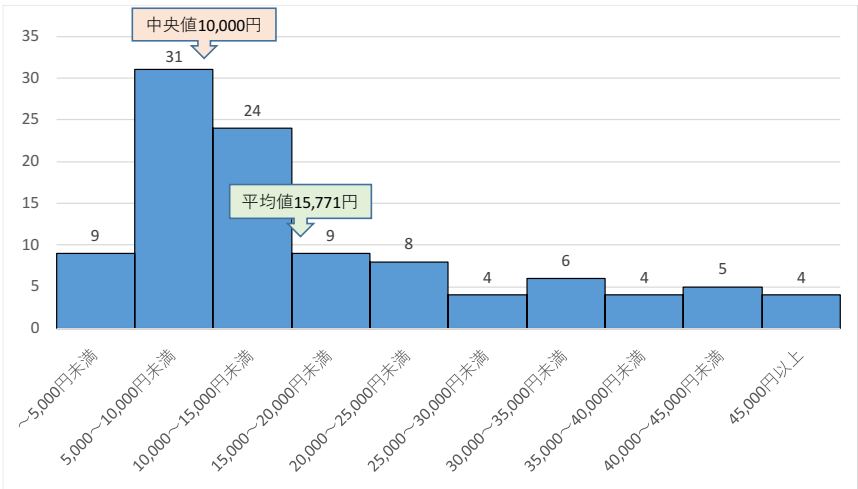
ウ 小学校1～3年生

① 学習塾・家庭教師・通信教育

【月額 104件】

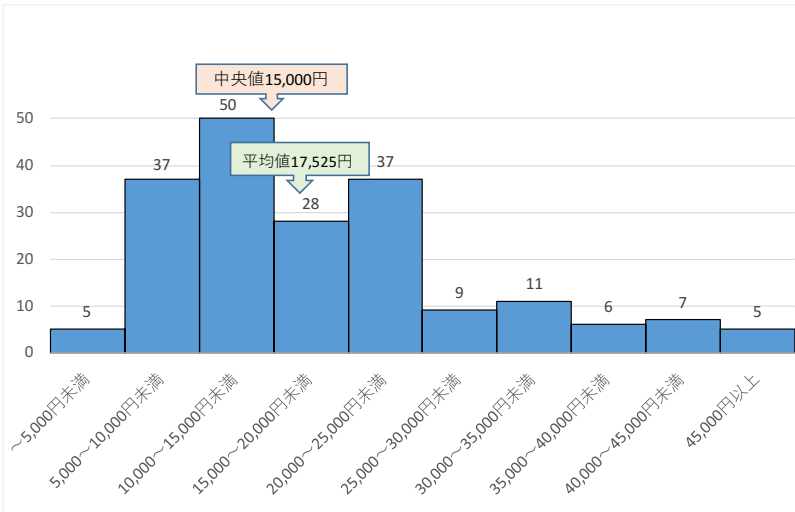
【単発 2件】

金額：
30,000円、40,000円

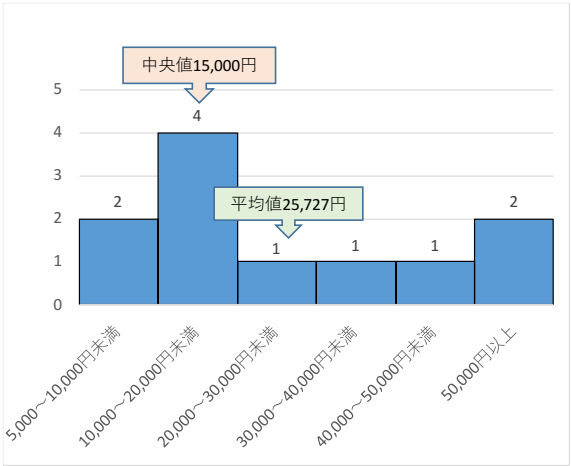


② 習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）

【月額 195件】



【単発 11件】

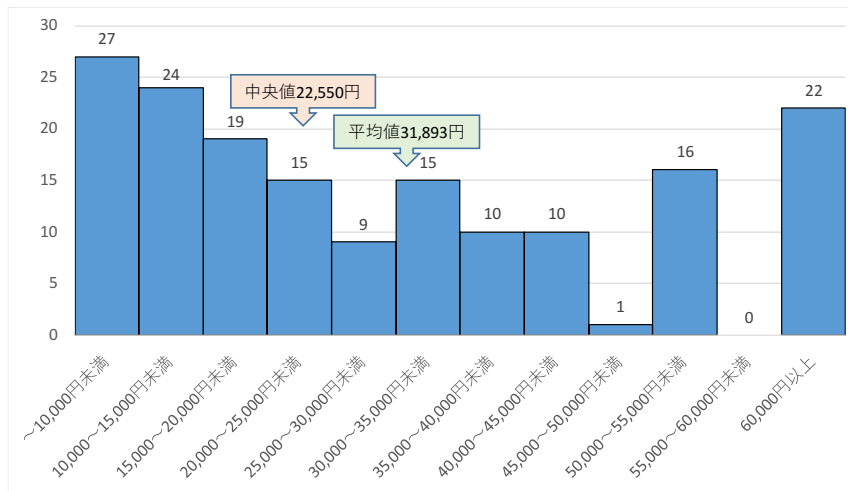


エ 小学校4～6年生

① 学習塾・家庭教師・通信教育

【月額 168件】

【単発 7件】

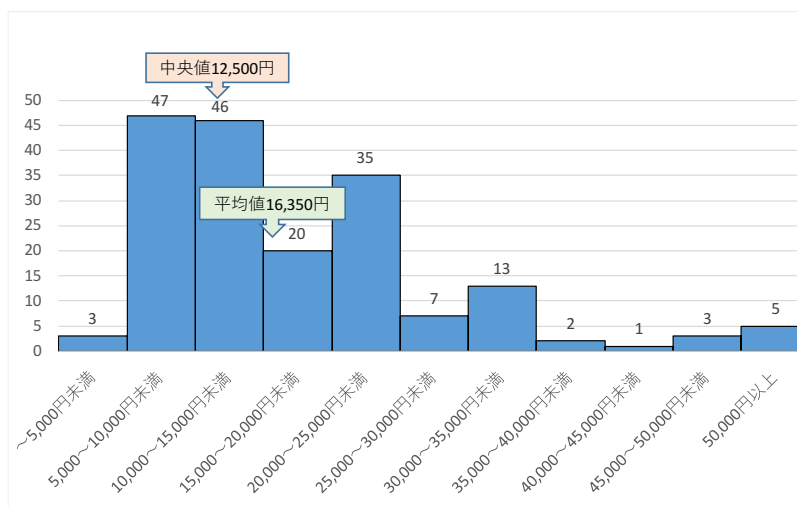


金額：

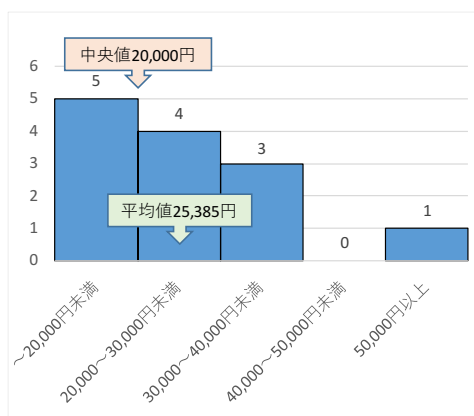
10,000 円、20,000 円、
40,000 円、69,000 円、
100,000 円、
200,000 円、
240,000 円

② 習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）

【月額 182件】



【単発 13件】



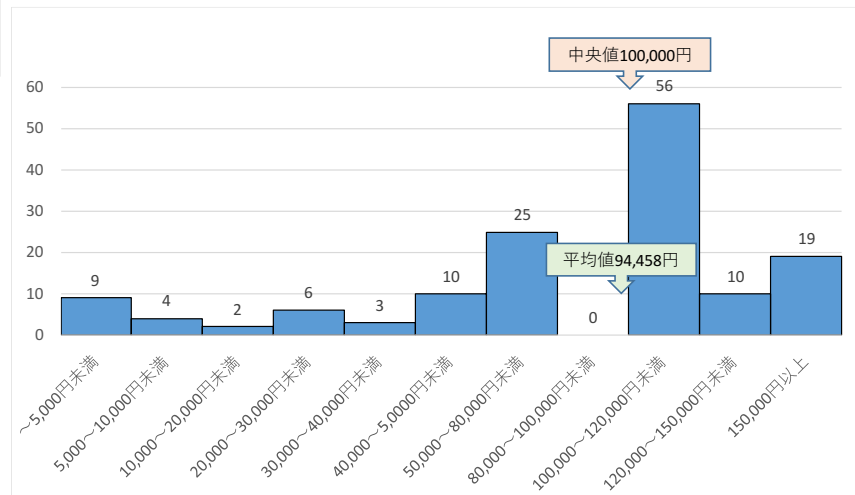
オ 中学校

① 制服・靴代（上履き含む）

【月額 1件】

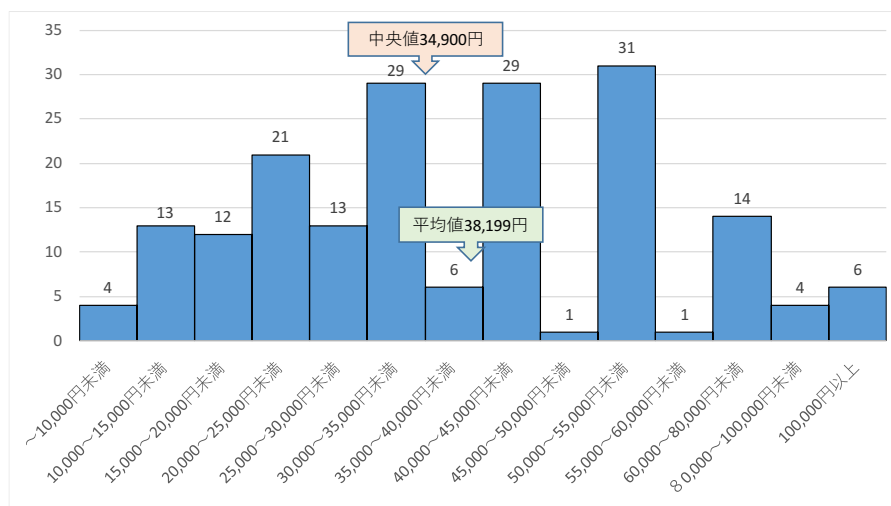
【単発 144件】

金額：3,000円

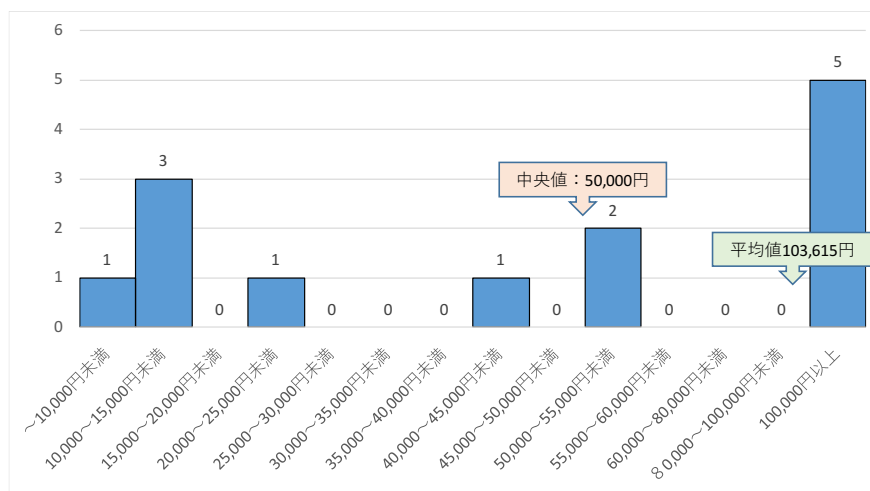


② 学習塾・家庭教師・通信教育

【月額 184件】



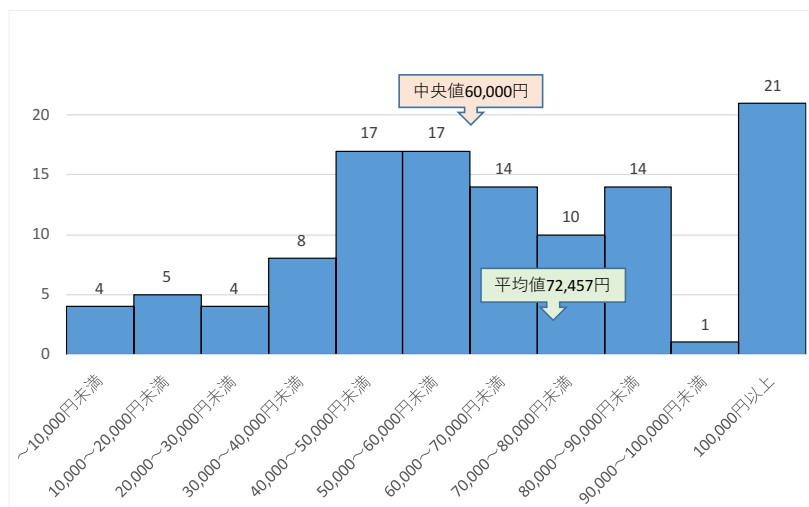
【単発 13件】



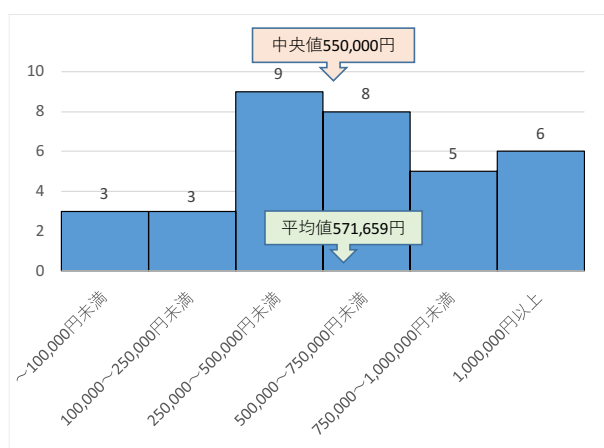
カ 高校

① 授業料

【月額 115件】

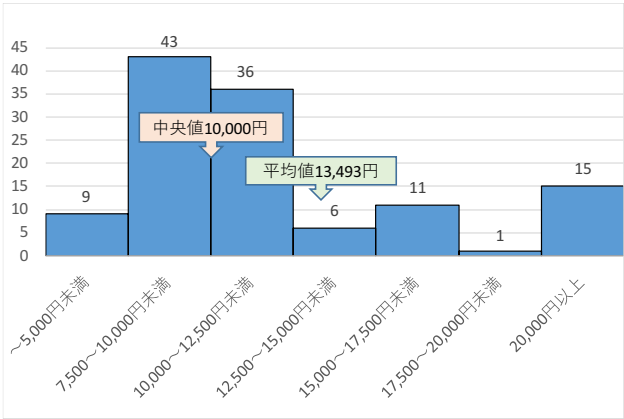


【単発 34件】

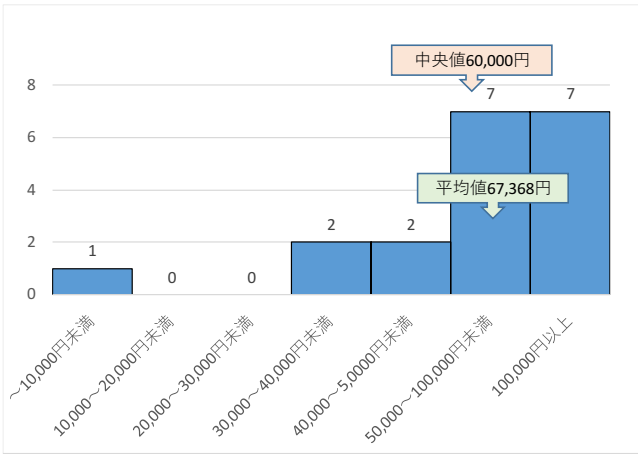


② 通学費（定期代・駐輪代など）

【月額 121件】



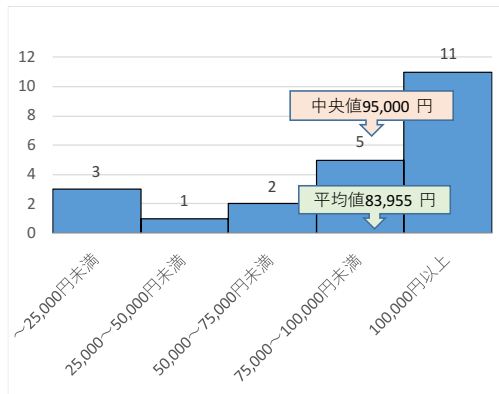
【単発 19件】



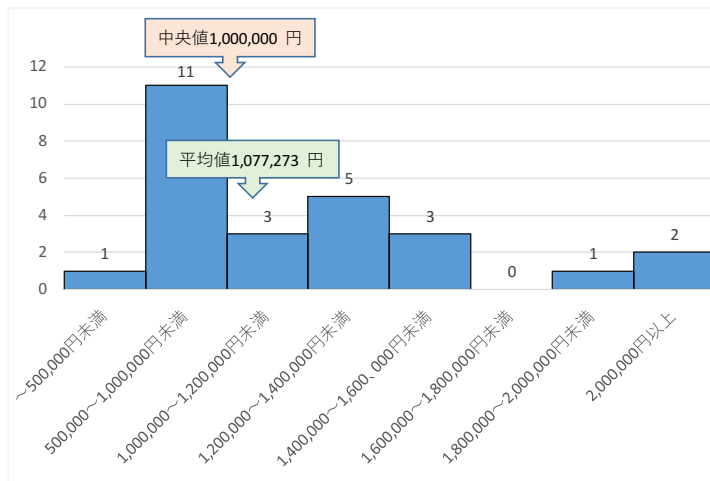
キ 専門学校・短期大学

① 授業料

【月額 22件】



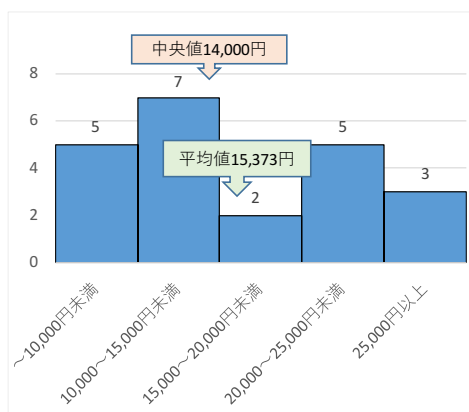
【単発 26件】



② 通学費（定期代・駐輪代など）

【月額 22件】

【単発 1件】

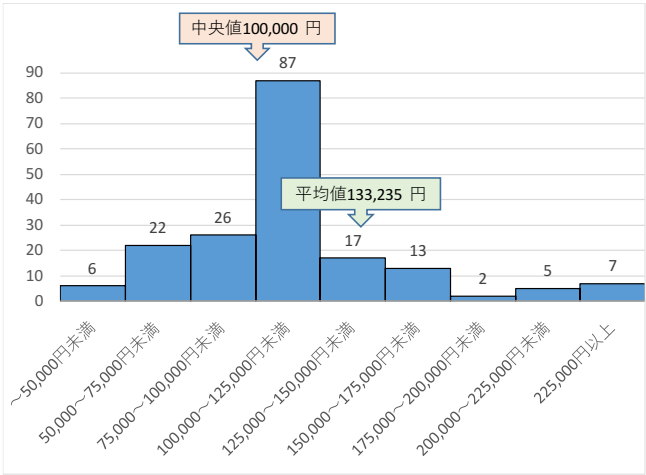


金額：200,000 円

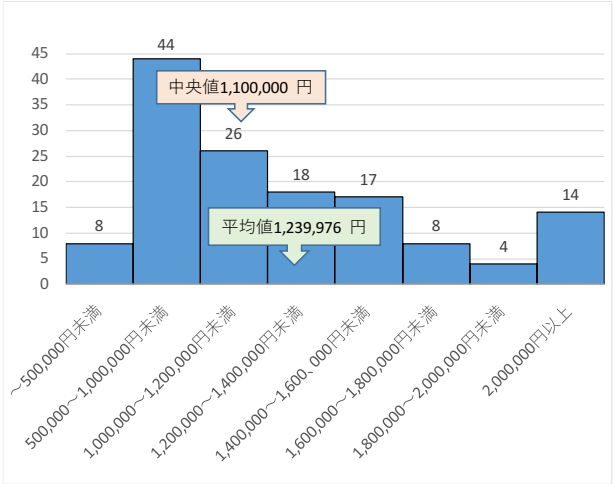
ク 大学・大学院

① 授業料

【月額 185件】

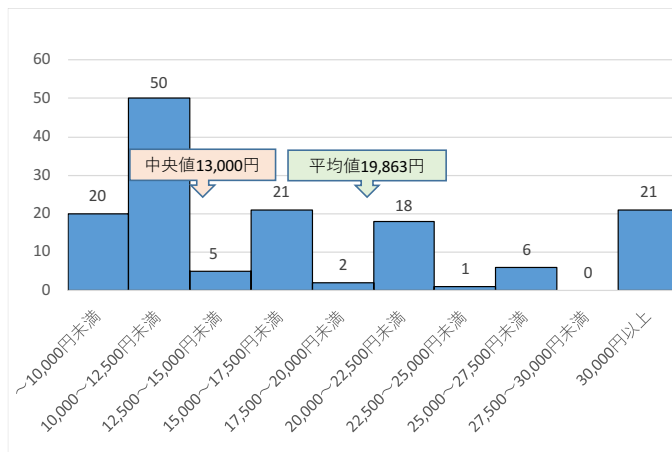


【単発 139件】

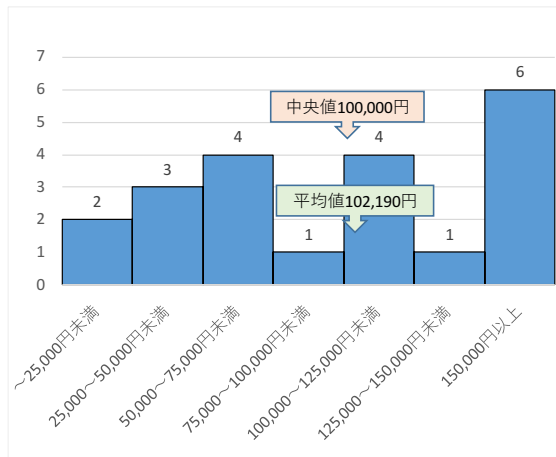


② 通学費（定期代・駐輪代など）

【月額 144件】



【単発 21件】



6 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

(1) 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

Q9 現在お子様を産み育てている中で、どのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながると感じますか。重視する順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

ア 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

(ア) 1番目に重視する支援としては、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が34.2%、2番目としては「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が15.9%、3番目としては「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が11.3%と最も高くなっている。

(イ) 1～3番目の全体では、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が57.7%と最も高く、次いで「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が30.3%、「妊娠・出産にかかる費用補助」が30.1%となっている。

図表3-51 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

- 妊娠・出産にかかる費用補助
- 保育園・幼稚園にかかる費用補助
- 保育園・幼稚園サービスの向上
- 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
- 学童保育サービスの向上
- 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 公的な相談窓口の充実
- 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 育児用品にかかる費用補助
- 家賃など住まいにかかる費用補助
- 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援
- 小児医療体制の充実
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答

	n=	(%)																	
Q9(1) 1位	1918	16.2	6.1	1.7	34.2	2.8	6.4	0.1	5.2	5.0	1.6	0.4	5.1	2.0	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2
Q9(2) 2位	1918	6.3	10.3	2.0	13.0	4.5	15.9	0.8	5.8	11.4	2.7	7.8	0.6	6.1	0.7	5.2	0.7	0.7	0.7
Q9(3) 3位	1918	7.7	5.6	1.7	10.5	5.0	8.0	1.5	5.9	11.3	2.8	8.7	1.1	2.8	8.1	6.0	1.6	10.5	0.7

n=		妊娠・出産 にかかる費用補助	保育園・幼稚園 にかかる費用補助	保育園・幼稚園 サービスの向上	小学校・中学校・高校・大学・ 専門学校等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの向上	学習塾・家庭教師・通 信教育や習い事にか かる費用補助	公的な相談 窓口の充実	子育て世帯 同士で情報共有・情報 交換できる場づくりの 支援	家事や子ども の世話をしてくれる 人的サポート	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
合計	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
1位	1918	16.2	6.1	1.7	34.2	2.8	6.4	0.7	0.2	5.2	5.0
2位	1918	6.3	10.3	2.0	13.0	4.5	15.9	0.8	0.7	5.8	11.4
3位	1918	7.7	5.6	1.7	10.5	5.0	8.0	1.5	0.7	5.9	11.3

n=		育児用品に かかる費用 補助	家賃など住 まいにかか る費用補助	子育て世帯 向けの住宅 の紹介・斡 旋	安定した収 入につながる 仕事・求人 情報の提供	育児休業 が取りやす いなど安心 して子育て ができる職 場の理解・ 支援	小児医療 体制の充 実	その他	特にな い、わ からな い	無回答
合計	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
1位	1918	1.6	5.9	0.4	2.6	5.1	1.4	2.0	2.0	0.7
2位	1918	2.7	7.8	0.6	2.6	6.1	3.0	0.7	5.2	0.7
3位	1918	2.8	8.7	1.1	2.8	8.1	6.0	1.6	10.5	0.7

- ※ グラフ・数表では、次の選択肢の（ ）内を省略して表示。同一選択肢のQ11も同じ。
- 妊娠出産（不妊治療、無痛分娩など含む）にかかる費用補助
 - 保育園・幼稚園にかかる費用補助（保険料・延長保育料、給食費、送迎費、行事費など）
 - 保育園・幼稚園サービスの向上（保育・幼児教育カリキュラムの充実、施設・設備の安全性の向上など）
 - 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助（入学料、授業料、学用品費、修学旅行費、校外活動費、部活動費など）
 - 学童保育サービスの向上（待機児童の解消、特別延長保育の拡充など）
 - 公的な相談窓口の充実（子育ての不安な気持ちや悩み、子どもの成長・発達、不登校など）
 - 育児用品（ベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシートなど）にかかる費用補助
 - 家賃（敷金・礼金含む）など住まいにかかる費用補助
 - 小児医療体制の充実（急な病気等にも対応してくれる医療）

イ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援【子どもの人数別】

(ア)「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」は、「子ども1人」の世帯が53.5%、「子ども2人」の世帯が59.9%、「子ども3人以上」の世帯が65.5%と、子どもの人数が増えるにつれて割合が増加している。

(イ)「子ども1人」の世帯では、「妊娠・出産にかかる費用補助」(34.4%)、「保育園・幼稚園にかかる費用補助」(24.7%)が「子ども2人」以上の世帯と比べると、それぞれ約8ポイント、約5ポイント高い。

(ウ)「子ども2人」と「子ども3人以上」の世帯では、「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が「子ども1人」の世帯と比べると、いずれも約14ポイント高い。

(エ)「子ども3人以上」の世帯では、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が41.6%と、「子ども1人」「子ども2人」の世帯と比べると、10ポイント以上高い。

図表3-52 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【子どもの人数別：クロス集計】

n=		妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかか る費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
1人	880	34.4	24.7	5.0	53.5	12.6	22.8	3.1	1.8	19.7	24.0
2人	779	26.3	19.8	6.7	59.9	13.1	36.8	2.8	1.4	15.4	27.3
3人以上	255	26.7	20.0	2.7	65.5	8.2	36.5	3.1	1.6	11.8	41.6
無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

n=		育児用品に かかる費用 補助	家賃など住 まいにかか る費用補助	子育て世帯 向けの住宅 の紹介・斡 旋	安定した収 入につながる 仕事・求人 情報の提供	育児休業 が取りやす いなど安心 して子育て ができる職 場の理解・ 支援	小児医療 体制の充 実	その他	特にない、 わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
1人	880	9.4	22.2	2.6	8.3	19.4	10.9	4.5	2.3	0.9
2人	779	5.1	22.3	1.7	8.3	20.4	10.4	4.2	1.3	0.4
3人以上	255	4.7	23.5	2.0	5.5	15.3	9.0	3.1	3.1	0.4
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0

ウ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援【家計の状況別】

(ア) 家計の状況が「苦しい」世帯では、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が36.9%と高い。

(イ) 家計の状況に「ゆとりがある」世帯では、「育児休業が取りやすいなど安心して子育てできる職場の理解・支援」(31.0%)や「家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート」(30.0%)を求めている。

図表3-53 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【家計の状況別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産にかかる費用補助	保育園・幼稚園にかかる費用補助	保育園・幼稚園サービスの向上	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学童保育サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
苦しい	826	30.0	18.8	3.9	63.8	8.6	32.9	3.3	0.7	10.5	36.9
普通	746	30.0	23.3	6.4	55.9	13.3	29.4	3.2	2.4	18.2	23.5
ゆとりがある	300	31.0	29.3	7.0	44.0	20.7	24.0	2.0	1.7	30.0	12.0
わからない	23	30.4	8.7	8.7	65.2	0.0	34.8	0.0	8.7	26.1	21.7
答えたくない	12	41.7	8.3	0.0	50.0	25.0	41.7	0.0	0.0	16.7	41.7
無回答	11	0.0	18.2	0.0	81.8	0.0	45.5	0.0	0.0	18.2	45.5

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
苦しい	826	7.0	28.6	2.2	8.6	14.0	8.2	4.6	1.1	1.0
普通	746	6.3	18.8	2.3	7.8	21.0	11.8	3.5	2.7	0.7
ゆとりがある	300	8.7	14.3	1.3	7.0	31.0	13.3	4.3	3.0	0.0
わからない	23	4.3	17.4	0.0	8.7	8.7	4.3	17.4	4.3	0.0
答えたくない	12	16.7	33.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	11	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0

エ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援【家族構成別】

- (ア)「母子家庭」「父子家庭」では、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が6割、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が3割を超え、「家賃など住まいにかかる費用補助」が2割台半ばとなっている。
- (イ)「母子家庭」では、「安定した収入につながる仕事・求人情報の提供」が13.5%と高い。
- (ウ)「夫婦と子ども」の世帯では、「妊娠・出産にかかる費用補助」が30.6%と高い。

図表3-54 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【家族構成別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかか る費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
母子家庭	192	22.9	14.1	1.6	62.0	10.4	30.2	6.8	0.5	15.6	30.7
父子家庭	48	22.9	27.1	8.3	66.7	8.3	25.0	6.3	0.0	14.6	31.3
夫婦と子ども	1485	30.6	23.2	5.8	57.3	12.9	30.2	2.3	2.0	16.9	27.5
三世帯同居	167	37.7	19.2	4.8	52.1	11.4	32.3	4.2	0.6	16.8	25.7
その他	21	19.0	23.8	4.8	76.2	4.8	33.3	0.0	0.0	23.8	28.6
無回答	5	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0

	n=	育児用品に かかる費用 補助	家賃など住 まいにかか る費用補助	子育て世帯 向けの住宅 の紹介・斡 旋	安定した収 入につなが る仕事・求 人情報の 提供	育児休業 が取りやす いなど安心 して子育て ができる職 場の理解・ 支援	小児医療 体制の充 実	その他	特にな い、わ からない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
母子家庭	192	1.6	26.6	2.6	13.5	18.2	10.4	3.6	2.1	2.1
父子家庭	48	0.0	27.1	4.2	4.2	10.4	8.3	6.3	4.2	0.0
夫婦と子ども	1485	7.7	22.6	2.3	6.9	19.8	10.2	4.5	1.7	0.5
三世帯同居	167	9.6	14.4	0.0	10.8	18.6	10.2	2.4	4.8	0.6
その他	21	4.8	19.0	0.0	9.5	19.0	23.8	0.0	0.0	0.0
無回答	5	20.0	60.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0

オ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援【世帯年収別】

- (ア) 全体の上位3項目を除くと、年収「600～799万円」以下の世帯では「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が3割以上となっている。
- (イ) 年収「800～1,199万円」の世帯では「保育園・幼稚園にかかる費用補助」が27.6%、「1,200万円以上」の世帯では「家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート」が26.7%と高い。

図表3-55 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯年収別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産にかかる費用補助	保育園・幼稚園にかかる費用補助	保育園・幼稚園サービスの向上	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学童保育サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
～399万円以下	275	31.3	18.9	3.6	54.2	6.2	31.6	4.0	1.5	10.2	39.3
400～599万円	347	32.0	19.3	3.7	59.7	9.5	29.4	3.7	0.6	10.7	34.6
600～799万円	378	29.4	19.3	4.8	62.4	11.4	34.1	3.2	1.9	16.9	30.2
800～1,199万円	490	29.8	27.6	7.1	57.8	14.3	28.2	2.7	2.2	19.6	21.6
1,200万円以上	255	28.6	24.7	7.1	52.2	20.4	31.0	1.2	1.6	26.7	15.7
収入はない	7	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6
答えたくない	140	32.9	20.0	5.0	59.3	10.7	29.3	2.9	2.1	15.7	26.4
無回答	26	11.5	15.4	3.8	46.2	15.4	19.2	0.0	0.0	26.9	15.4

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
～399万円以下	275	8.0	28.0	3.3	11.6	13.8	8.0	3.3	2.5	1.5
400～599万円	347	7.5	32.9	2.6	9.2	17.6	9.2	4.3	1.7	0.0
600～799万円	378	8.5	23.3	2.4	6.9	18.8	7.4	4.0	1.9	0.0
800～1,199万円	490	5.5	18.0	1.2	7.1	21.6	11.0	3.3	2.2	0.6
1,200万円以上	255	7.1	13.3	1.2	4.3	23.9	17.3	5.9	1.2	0.0
収入はない	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3
答えたくない	140	7.1	15.7	1.4	9.3	20.7	11.4	4.3	2.9	1.4
無回答	26	0.0	23.1	7.7	11.5	15.4	7.7	7.7	3.8	11.5

カ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援【世帯の就労状況別】

(ア) 全体の上位3項目を除くと、「父のみ就労」「母のみ就労」「共働き」の世帯では、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が3割近い。

(イ) 「父のみ就労」と「共働き」の世帯では、「保育園・幼稚園にかかる費用補助」が23.9%、22.7%と高い。

(ウ) 「母のみ就労」の世帯では、「家賃など住まいにかかる費用補助」(27.2%)、「安定した収入につながる仕事・求人情報の提供」(13.6%)が他の就労状況よりも高い。

(エ) 「共働き」の世帯では、「家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート」(19.0%)、「育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援」(21.4%)が望まれている。

図表3-56 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産にかかる費用補助	保育園・幼稚園にかかる費用補助	保育園・幼稚園サービスの向上	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学童保育サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
父のみ就労	435	31.5	23.9	4.1	58.6	7.4	31.5	3.4	2.5	13.1	29.0
母のみ就労	191	24.1	16.8	2.6	60.2	11.0	35.6	5.2	1.0	15.7	28.3
共働き	1077	31.0	22.7	6.7	56.9	14.3	30.1	1.9	1.6	19.0	27.3
その他	181	28.7	19.3	2.8	58.0	12.7	26.5	5.5	0.0	14.4	25.4
誰も働いていない	18	22.2	16.7	11.1	55.6	5.6	11.1	11.1	5.6	11.1	44.4
無回答	16	25.0	25.0	6.3	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	18.8	18.8

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
父のみ就労	435	8.7	24.6	3.0	8.3	16.6	9.2	2.8	2.3	0.9
母のみ就労	191	3.1	27.2	2.6	13.6	17.8	11.5	3.1	1.6	1.0
共働き	1077	7.1	21.4	1.9	6.3	21.4	10.2	4.8	1.2	0.2
その他	181	7.2	18.8	0.0	10.5	16.0	13.3	3.3	6.6	1.7
誰も働いていない	18	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	11.1	22.2	5.6	5.6
無回答	16	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	0.0	6.3

キ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

- (ア)「妊娠・出産にかかる費用補助」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯で4割前後と高い。
- (イ)「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」は、学齢期が上がるにつれて増加し、「一番下の子どもが中学校」以上の世帯で7割台半ばとなっている。
- (ウ)「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生」から「一番下の子どもが高校」までの世帯で、4割前後と高い。
- (エ)「家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート」、「育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」から「一番下の子どもが小学校4～6年生」までの世帯で、それぞれ2割前後となっている。

図表3-57 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかかる 費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子 どもの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
一番下が通園していない(6歳以下)	237	43.9	30.0	6.3	34.6	13.9	13.9	2.1	3.0	19.8	33.8
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	37.9	23.4	8.0	41.0	16.2	20.6	1.9	1.9	20.6	34.9
一番下が小学校1～3年生	220	25.9	14.5	4.5	57.7	12.7	40.0	3.2	1.4	18.6	26.8
一番下が小学校4～6年生	236	20.8	19.1	5.5	62.7	13.1	42.8	3.0	2.1	19.5	26.3
一番下が中学校	231	27.7	22.1	3.0	74.5	10.8	40.7	3.0	1.7	11.3	30.3
一番下が高校	254	25.2	24.4	3.1	74.0	7.5	37.4	1.2	0.8	15.0	24.4
一番下が専門学校/短期大学	33	18.2	9.1	3.0	75.8	3.0	33.3	3.0	0.0	3.0	27.3
一番下が大学・大学院	196	25.0	21.9	6.1	73.0	10.7	27.6	3.1	0.5	11.7	9.7
一番下が通学していない	72	29.2	19.4	2.8	52.8	11.1	18.1	18.1	1.4	12.5	23.6
無回答	12	8.3	8.3	8.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
一番下が通園していない(6歳以下)	237	24.5	28.7	3.0	5.5	25.3	5.9	3.4	0.4	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	10.3	27.4	3.0	4.9	21.5	11.0	4.4	1.2	0.0
一番下が小学校1～3年生	220	4.5	16.8	2.3	8.2	21.4	16.4	5.0	3.2	0.5
一番下が小学校4～6年生	236	2.1	20.8	1.3	9.3	21.6	9.7	4.2	0.4	1.3
一番下が中学校	231	2.6	19.0	1.7	8.2	13.0	8.2	2.2	1.3	0.0
一番下が高校	254	1.6	20.1	1.6	9.1	13.8	7.5	3.9	2.8	0.8
一番下が専門学校/短期大学	33	0.0	36.4	3.0	21.2	15.2	9.1	6.1	0.0	3.0
一番下が大学・大学院	196	3.1	18.9	0.5	11.2	19.4	13.8	5.1	5.1	1.0
一番下が通学していない	72	1.4	20.8	4.2	9.7	13.9	16.7	8.3	5.6	2.8
無回答	12	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7

ク 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【家族構成/子どもの人数別】

- (ア)「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」は、家族構成にかかわらず、「子ども3人以上」の世帯で4割以上が支援を望んでいる。
- (イ)「母子家庭」で「子ども1人」「子ども2人」の世帯と、「三世代同居/子ども2人」の世帯は、「安定した収入につながる仕事・求人情報の提供」(1割台半ば)を求めている。
- (ウ)「育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援」は、「母子家庭/子ども1人」「夫婦と子ども2人」「三世代同居/子ども3人以上」の世帯で2割を超えている。

図表3-58 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかかる 費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
母子家庭/子ども1人	105	22.9	14.3	1.9	54.3	16.2	25.7	8.6	1.0	18.1	23.8
母子家庭/子ども2人	67	22.4	10.4	1.5	70.1	1.5	37.3	6.0	0.0	11.9	35.8
母子家庭/子ども3人以上	20	25.0	25.0	0.0	75.0	10.0	30.0	0.0	0.0	15.0	50.0
父子家庭/子ども1人	23	17.4	26.1	13.0	60.9	8.7	17.4	4.3	0.0	17.4	39.1
父子家庭/子ども2人	18	27.8	38.9	5.6	72.2	11.1	22.2	5.6	0.0	16.7	16.7
父子家庭/子ども3人以上	7	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0	42.9
夫婦と子ども1人	658	35.9	26.9	5.3	53.6	12.3	22.3	2.4	2.1	20.1	23.1
夫婦と子ども2人	624	25.8	20.4	7.2	58.3	14.7	37.2	2.1	1.8	15.9	27.9
夫婦と子ども3人以上	200	28.0	20.5	3.0	66.5	8.5	35.0	2.5	2.0	10.0	40.5
三世代同居/子ども1人	77	46.8	19.5	3.9	45.5	14.3	22.1	1.3	1.3	18.2	26.0
三世代同居/子ども2人	63	36.5	20.6	6.3	60.3	9.5	38.1	6.3	0.0	11.1	19.0
三世代同居/子ども3人以上	26	15.4	15.4	3.8	53.8	7.7	50.0	7.7	0.0	26.9	42.3
その他/子ども1人	14	21.4	28.6	0.0	85.7	0.0	35.7	0.0	0.0	14.3	35.7
その他/子ども2人	5	0.0	0.0	20.0	80.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
無回答	9	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特になし、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
母子家庭/子ども1人	105	1.9	26.7	1.9	14.3	23.8	9.5	4.8	1.9	2.9
母子家庭/子ども2人	67	1.5	29.9	3.0	14.9	10.4	9.0	3.0	3.0	1.5
母子家庭/子ども3人以上	20	0.0	15.0	5.0	5.0	15.0	20.0	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども1人	23	0.0	21.7	4.3	4.3	13.0	8.7	4.3	8.7	0.0
父子家庭/子ども2人	18	0.0	33.3	5.6	5.6	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0
父子家庭/子ども3人以上	7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
夫婦と子ども1人	658	10.6	22.8	3.0	7.3	19.6	10.5	4.6	1.8	0.6
夫婦と子ども2人	624	5.3	21.5	1.6	7.1	21.8	10.6	4.6	1.0	0.3
夫婦と子ども3人以上	200	5.5	25.0	2.0	5.5	14.0	8.5	4.0	3.5	0.5
三世代同居/子ども1人	77	13.0	10.4	0.0	9.1	16.9	13.0	5.2	5.2	1.3
三世代同居/子ども2人	63	7.9	19.0	0.0	15.9	17.5	9.5	0.0	3.2	0.0
三世代同居/子ども3人以上	26	3.8	15.4	0.0	3.8	26.9	3.8	0.0	3.8	0.0
その他/子ども1人	14	7.1	21.4	0.0	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0
その他/子ども2人	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	11.1	44.4	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1

ケ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯年収/子どもの人数別】

- (ア)「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」は、子どもの人数が増えるほど割合が高い傾向にある。特に、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」では、「400～599万円/子ども3人以上」の世帯が73.0%、「800～1,199万円/子ども3人以上」の世帯が64.8%と、他の世帯状況と比べて高い。
- (イ)「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」は、「600～799万円/子ども3人以上」「1,200万円以上/子ども3人以上」の世帯で4割を超える。
- (ウ) 全体の上位3項目以外では、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」がいずれの年収帯の中でも、「子ども3人以上」の世帯が「子ども1人」「子ども2人」の世帯よりも約10ポイント以上高くなっている。

図表3-59 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかか る費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
～399万円以下/子ども1人	159	32.1	20.1	3.1	48.4	8.8	27.0	3.1	2.5	12.6	37.1
～399万円以下/子ども2人	86	31.4	17.4	4.7	62.8	3.5	38.4	5.8	0.0	4.7	38.4
～399万円以下/子ども3人以上	30	26.7	16.7	3.3	60.0	0.0	36.7	3.3	0.0	13.3	53.3
400～599万円/子ども1人	173	36.4	23.1	2.9	56.1	12.1	26.6	4.6	0.6	13.3	28.9
400～599万円/子ども2人	136	27.9	16.2	5.1	60.3	8.1	35.3	2.2	0.0	7.4	33.8
400～599万円/子ども3人以上	37	27.0	13.5	2.7	73.0	2.7	21.6	5.4	2.7	10.8	62.2
600～799万円/子ども1人	166	31.9	19.3	3.6	61.4	10.8	26.5	3.0	1.2	18.1	26.5
600～799万円/子ども2人	157	28.7	21.0	7.0	63.7	12.1	39.5	2.5	1.9	18.5	30.6
600～799万円/子ども3人以上	55	23.6	14.5	1.8	61.8	10.9	41.8	5.5	3.6	9.1	40.0
800～1,199万円/子ども1人	208	36.1	33.2	6.7	55.8	13.5	16.8	2.4	1.4	23.1	14.9
800～1,199万円/子ども2人	211	23.2	21.8	8.5	57.3	16.6	35.5	3.3	3.3	19.0	23.2
800～1,199万円/子ども3人以上	71	31.0	28.2	4.2	64.8	9.9	39.4	1.4	1.4	11.3	36.6
1,200万円以上/子ども1人	97	37.1	28.9	9.3	44.3	21.6	16.5	2.1	4.1	37.1	10.3
1,200万円以上/子ども2人	123	22.8	21.1	6.5	56.9	22.8	39.0	0.8	0.0	20.3	16.3
1,200万円以上/子ども3人以上	34	23.5	26.5	2.9	58.8	5.9	44.1	0.0	0.0	20.6	29.4
収入はない/子ども1人	7	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	38.3	23.3	5.0	50.0	10.0	23.3	1.7	3.3	18.3	21.7
答えたくない/子ども2人	54	29.6	18.5	7.4	61.1	9.3	35.2	3.7	1.9	16.7	27.8
答えたくない/子ども3人以上	26	26.9	15.4	0.0	76.9	15.4	30.8	3.8	0.0	7.7	34.6
無回答	28	14.3	14.3	3.6	46.4	17.9	17.9	0.0	0.0	25.0	17.9

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
～399万円以下/子ども1人	159	9.4	26.4	3.8	10.7	15.7	10.1	3.8	2.5	1.3
～399万円以下/子ども2人	86	7.0	30.2	2.3	11.6	11.6	4.7	3.5	3.5	1.2
～399万円以下/子ども3人以上	30	3.3	30.0	3.3	16.7	10.0	6.7	0.0	0.0	3.3
400～599万円/子ども1人	173	10.4	29.5	2.3	12.1	16.8	9.2	4.0	1.7	0.0
400～599万円/子ども2人	136	5.1	36.8	3.7	7.4	19.1	9.6	4.4	1.5	0.0
400～599万円/子ども3人以上	37	2.7	32.4	0.0	2.7	16.2	8.1	5.4	2.7	0.0
600～799万円/子ども1人	166	12.7	26.5	3.0	9.0	21.1	6.6	3.6	1.8	0.0
600～799万円/子ども2人	157	5.1	19.7	0.6	4.5	17.2	9.6	4.5	0.6	0.0
600～799万円/子ども3人以上	55	5.5	23.6	5.5	7.3	16.4	3.6	3.6	5.5	0.0
800～1,199万円/子ども1人	208	6.7	17.3	1.4	6.7	23.6	12.5	3.8	2.9	1.0
800～1,199万円/子ども2人	211	4.3	17.5	0.9	8.5	23.2	10.0	3.3	1.4	0.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	5.6	21.1	1.4	4.2	11.3	9.9	1.4	2.8	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	7.2	12.4	3.1	1.0	19.6	17.5	6.2	1.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	7.3	15.4	0.0	7.3	26.8	16.3	6.5	0.8	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	5.9	8.8	0.0	2.9	23.5	20.6	2.9	2.9	0.0
収入はない/子ども1人	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	13.3	11.7	1.7	5.0	18.3	10.0	6.7	5.0	3.3
答えたくない/子ども2人	54	1.9	13.0	1.9	18.5	24.1	14.8	1.9	0.0	0.0
答えたくない/子ども3人以上	26	3.8	30.8	0.0	0.0	19.2	7.7	3.8	3.8	0.0
無回答	28	0.0	25.0	7.1	10.7	17.9	7.1	7.1	3.6	10.7

コ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」は、子どもの人数が増えるほど支援が望まれているが、特に「母のみ就労」で「子ども2人」の世帯では67.8%、「子ども3人以上」の世帯では77.8%と高い。

(イ)「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」は、世帯の就労状況にかかわらず、「子ども3人以上」の世帯では4割前後となっている。

(ウ)「母のみ就労」で「子ども1人」の世帯では、「育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援」、「子ども3人以上」の世帯では「安定した収入につながる仕事・求人情報の提供」がそれぞれ2割以上となっている。

(エ)「共働き」で「子ども1人」「子ども2人」の世帯では、「育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援」を2割以上が望んでいる。

図表3-60 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかかる 費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
父のみ就労/子ども1人	208	34.1	24.5	4.3	57.2	8.2	23.1	3.4	2.9	13.9	26.9
父のみ就労/子ども2人	175	29.1	24.0	4.6	58.3	6.3	42.9	3.4	2.3	12.6	28.0
父のみ就労/子ども3人以上	52	28.8	21.2	1.9	65.4	7.7	26.9	3.8	1.9	11.5	40.4
母のみ就労/子ども1人	114	25.4	18.4	2.6	53.5	14.9	29.8	5.3	0.9	18.4	23.7
母のみ就労/子ども2人	59	23.7	13.6	3.4	67.8	5.1	44.1	6.8	1.7	10.2	32.2
母のみ就労/子ども3人以上	18	16.7	16.7	0.0	77.8	5.6	44.4	0.0	0.0	16.7	44.4
共働き/子ども1人	443	37.9	27.5	5.9	51.0	13.1	21.4	2.3	1.8	23.3	21.9
共働き/子ども2人	479	25.9	19.2	8.6	59.3	17.3	34.9	1.5	1.3	18.0	27.3
共働き/子ども3人以上	152	27.0	19.7	3.3	67.1	7.9	40.8	2.0	2.0	10.5	42.8
その他/子ども1人	92	30.4	19.6	3.3	57.6	16.3	23.9	2.2	0.0	17.4	25.0
その他/子ども2人	56	26.8	17.9	1.8	64.3	7.1	32.1	8.9	0.0	8.9	19.6
その他/子ども3人以上	32	28.1	21.9	3.1	50.0	12.5	25.0	9.4	0.0	15.6	37.5
誰も働いていない/子ども1人	15	26.7	13.3	13.3	53.3	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	40.0
誰も働いていない/子ども2人	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	20	25.0	20.0	5.0	45.0	25.0	10.0	0.0	0.0	15.0	20.0

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	育児用品にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援	小児医療体制の充実	その他	特になし、わからない	無回答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
父のみ就労/子ども1人	208	10.6	24.5	2.4	10.1	17.8	9.6	2.9	2.4	1.4
父のみ就労/子ども2人	175	6.9	24.0	2.9	7.4	15.4	9.7	2.9	1.7	0.6
父のみ就労/子ども3人以上	52	7.7	26.9	5.8	3.8	15.4	5.8	1.9	3.8	0.0
母のみ就労/子ども1人	114	3.5	30.7	3.5	12.3	22.8	13.2	4.4	0.9	0.9
母のみ就労/子ども2人	59	3.4	22.0	0.0	13.6	11.9	8.5	1.7	3.4	1.7
母のみ就労/子ども3人以上	18	0.0	22.2	5.6	22.2	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
共働き/子ども1人	443	11.1	21.4	3.2	6.5	20.8	10.6	5.0	1.6	0.2
共働き/子ども2人	479	4.8	21.1	1.3	6.9	23.6	10.4	4.8	0.4	0.0
共働き/子ども3人以上	152	3.3	22.4	0.7	3.9	16.4	8.6	4.6	2.6	0.0
その他/子ども1人	92	7.6	13.0	0.0	7.6	15.2	10.9	4.3	6.5	2.2
その他/子ども2人	56	5.4	25.0	0.0	17.9	19.6	16.1	3.6	5.4	0.0
その他/子ども3人以上	32	9.4	25.0	0.0	6.3	12.5	15.6	0.0	6.3	3.1
誰も働いていない/子ども1人	15	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7
誰も働いていない/子ども2人	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	20	0.0	25.0	10.0	10.0	15.0	10.0	5.0	5.0	10.0

サ 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「妊娠・出産にかかる費用補助」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）/子ども1人」で49.6%、「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人」の世帯で45.4%と高い。

(イ)「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生」を除くと、いずれかに通園・通学している世帯で、子どもの人数が増えるにつれて割合が高くなる。特に、「一番下の子どもが中学校/子ども2人」以上の世帯では8割となっており、「子ども1人」の世帯に比べると15ポイント以上高い。

図表3-61 子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながる支援

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

n=		妊娠・出産 にかかる費用 補助	保育園・幼 稚園にかかる 費用補助	保育園・幼 稚園サービ スの向上	小学校・中 学校・高 校・大学・ 専門学校 等にかかる 費用補助	学童保育 サービスの 向上	学習塾・家 庭教師・通 信教育や 習い事にか かる費用補 助	公的な相談 窓口の充 実	子育て世帯 同士で情報 共有・情報 交換できる 場づくりの 支援	家事や子ど もの世話を してくれる 人的サポー ト	食費・衣類 などの日常 生活にかかる 費用補助
TOTAL	1918	30.1	22.0	5.4	57.7	12.3	30.3	3.0	1.6	16.8	27.7
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども1人	125	49.6	39.2	3.2	36.0	9.6	4.0	1.6	4.0	24.0	29.6
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども2人	83	37.3	22.9	10.8	28.9	22.9	21.7	1.2	1.2	19.3	30.1
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども3人以上	29	37.9	10.3	6.9	44.8	6.9	34.5	6.9	3.4	3.4	62.1
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども1人	183	45.4	32.8	8.7	36.1	13.1	10.4	2.2	1.6	25.7	27.9
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども2人	172	34.9	16.3	9.9	39.5	21.5	29.1	1.7	2.3	17.4	33.7
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども3人以上	70	25.7	17.1	1.4	57.1	10.0	27.1	1.4	1.4	15.7	55.7
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	28.6	10.7	7.1	47.6	15.5	31.0	3.6	3.6	21.4	28.6
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	24.5	17.3	4.1	64.3	12.2	44.9	4.1	0.0	15.3	22.4
一番下が小学校1～3年生/子ども3人 以上	38	23.7	15.8	0.0	63.2	7.9	47.4	0.0	0.0	21.1	34.2
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	29.9	19.5	4.6	58.6	18.4	34.5	2.3	1.1	25.3	24.1
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	14.5	19.1	6.4	61.8	10.9	46.4	2.7	2.7	17.3	28.2
一番下が小学校4～6年生/子ども3人 以上	39	17.9	17.9	5.1	74.4	7.7	51.3	5.1	2.6	12.8	25.6
一番下が中学校/子ども1人	88	22.7	14.8	2.3	64.8	17.0	31.8	5.7	3.4	15.9	27.3
一番下が中学校/子ども2人	107	27.1	23.4	4.7	80.4	6.5	47.7	1.9	0.0	8.4	30.8
一番下が中学校/子ども3人以上	36	41.7	36.1	0.0	80.6	8.3	41.7	0.0	2.8	8.3	36.1
一番下が高校/子ども1人	104	33.7	25.0	3.8	70.2	12.5	35.6	1.0	0.0	15.4	23.1
一番下が高校/子ども2人	121	20.7	22.3	2.5	76.0	4.1	40.5	1.7	1.7	16.5	27.3
一番下が高校/子ども3人以上	29	13.8	31.0	3.4	79.3	3.4	31.0	0.0	0.0	6.9	17.2
一番下が専門学校/短期大学/子ども1 人	24	20.8	12.5	0.0	70.8	4.2	37.5	0.0	0.0	4.2	25.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2 人	8	12.5	0.0	12.5	87.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3 人以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	26.1	23.1	5.2	70.1	8.2	26.9	3.0	0.0	11.9	9.7
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	21.4	19.6	7.1	76.8	16.1	30.4	3.6	1.8	12.5	7.1
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	33.3	16.7	16.7	100.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
一番下が通学していない/子ども1人	47	27.7	17.0	2.1	53.2	12.8	19.1	12.8	2.1	17.0	21.3
一番下が通学していない/子ども2人	18	33.3	33.3	5.6	61.1	5.6	16.7	22.2	0.0	5.6	11.1
一番下が通学していない/子ども3人 以上	7	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	71.4
無回答	14	14.3	7.1	7.1	64.3	7.1	28.6	0.0	0.0	28.6	35.7

(次ページに続く)

第3章 調査結果の詳細

	n=	育児用品にかか る費用補助	家賃など住 まいにかか る費用補助	子育て世帯 向けの住宅 の紹介・斡 旋	安定した収 入につな がる仕事・求 人情報の 提供	育児休業 が取りやす いなど安心 して子育て ができる職 場の理解・ 支援	小児医療 体制の充 実	その他	特にな い、わ からない	無回 答
TOTAL	1918	7.0	22.4	2.1	7.9	19.3	10.4	4.2	2.0	0.7
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども1人	125	31.2	27.2	2.4	5.6	20.8	6.4	4.0	0.0	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども2人	83	19.3	28.9	3.6	6.0	32.5	7.2	2.4	1.2	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/ 子ども3人以上	29	10.3	34.5	3.4	3.4	24.1	0.0	3.4	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども1人	183	13.1	27.3	4.4	4.4	22.4	12.0	3.3	1.1	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども2人	172	8.1	25.0	2.9	7.0	22.7	9.3	6.4	1.2	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども 園/子ども3人以上	70	8.6	32.9	0.0	1.4	15.7	12.9	2.9	1.4	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	10.7	17.9	3.6	8.3	21.4	16.7	7.1	1.2	1.2
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	1.0	18.4	0.0	5.1	22.4	17.3	3.1	4.1	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人 以上	38	0.0	10.5	5.3	15.8	18.4	13.2	5.3	5.3	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	0.0	21.8	3.4	6.9	19.5	10.3	4.6	0.0	1.1
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	1.8	22.7	0.0	11.8	22.7	10.0	5.5	0.0	0.9
一番下が小学校4～6年生/子ども3人 以上	39	7.7	12.8	0.0	7.7	23.1	7.7	0.0	2.6	2.6
一番下が中学校/子ども1人	88	3.4	21.6	1.1	12.5	14.8	9.1	3.4	3.4	0.0
一番下が中学校/子ども2人	107	2.8	17.8	2.8	7.5	12.1	8.4	0.9	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども3人以上	36	0.0	16.7	0.0	0.0	11.1	5.6	2.8	0.0	0.0
一番下が高校/子ども1人	104	1.9	17.3	1.0	6.7	16.3	6.7	3.8	1.0	0.0
一番下が高校/子ども2人	121	1.7	20.7	0.8	11.6	14.0	8.3	4.1	1.7	1.7
一番下が高校/子ども3人以上	29	0.0	27.6	6.9	6.9	3.4	6.9	3.4	13.8	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども1 人	24	0.0	37.5	4.2	25.0	16.7	8.3	4.2	0.0	4.2
一番下が専門学校/短期大学/子ども2 人	8	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3 人以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	3.7	16.4	0.7	11.9	20.1	14.9	5.2	7.5	1.5
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	1.8	25.0	0.0	10.7	19.6	10.7	5.4	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	2.1	19.1	4.3	10.6	17.0	12.8	8.5	6.4	4.3
一番下が通学していない/子ども2人	18	0.0	22.2	5.6	5.6	11.1	27.8	5.6	5.6	0.0
一番下が通学していない/子ども3人 以上	7	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
無回答	14	7.1	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3

(2) 具体的に望んでいる支援（自由記述）

Q10 前設問(Q9)の回答で具体的に望んでいる支援内容があればご記入ください。
(自由記述)

どのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながるか、具体的に望んでいる支援内容を聴取し、次の10項目に大きく分類した。

※ 一つの自由記述の内容が複数にあたる場合は、複数回答としてあてはまる項目に分類を行った。

※ 回答内容については、原則、原文のまま掲載する。

図表3-62 具体的に望んでいる支援

妊娠・出産に関すること	103
保育園・学校教育のサービス	153
学費無償化・補助などの支援	240
子育て支援・サービス	62
学校以外の教育支援	54
生活支援	121
労働環境に関すること	75
医療に関すること	31
その他の支援	33
その他	123
合 計	995

※ 分類のもととなった項目

- ・妊娠・出産に関すること＝出産費用の補助/産後ケア/妊婦健診費用の補助など
- ・保育園・学校教育のサービス＝保育料の無償化/延長保育/学童の待機児童/障がいのある子への支援など
- ・学費無償化・補助などの支援＝授業料の無償化/学用品費用の補助など
- ・子育て支援・サービス＝育児用品費用の補助/児童扶養手当/子ども手当など
- ・学校以外の教育支援＝学習塾や習い事代の補助など
- ・生活支援＝食費の補助/家賃の補助など
- ・労働環境に関すること＝働く保護者への支援/育児休業支援など
- ・医療に関すること＝病児保育など
- ・その他の支援＝減税、住宅ローンの補助など
- ・その他

■自由記述抜粋■（原則、原文のまま掲載）

【妊娠・出産に関すること】

- ① 妊娠、出産にかかる費用補助はとても助かりました。保育園、幼稚園サービスの向上は、区で力を入れていただいていた事、感謝しています。学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助で、親の収入で未来に夢を持てないなどないようになると良い。（子ども2人/高校, 大学・大学院）
- ② 出産に関わる検診費や入院費について、助成金では全額カバーできず、まだかなりの費用負担があると感じます。全額助成されればひとまず安心して産める気がします。（子ども3人/通園していない（6歳以下）, 小学校4～6年生, 中学校）
- ③ 無痛分娩はもっと普及したほうが良いので、無償化へ早く進めて欲しい。（子ども1人/通園していない（6歳以下））
- ④ 出産や健診の費用は全額負担してほしい。産後ケアなども無料で利用出来たら利用したい。育児用品も購入したら何割か補助が出たらありがたい。家賃も補助があると嬉しい。（子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園）

【保育園・学校教育のサービス】

- ① 延長保育無償化。（子ども1人/通園していない（6歳以下））
- ② 放課後デイサービスが人数いっぱいに入れず、就職したくてもできない。通学介助のサービスがあっても結局お金がかかり、頼めない。（子ども1人/小学校4～6年生）
- ③ 保育にかかる要件の緩和、または2歳児から入園できる幼稚園の拡充による待機児童の減少。（子ども2人/通園していない（6歳以下）, 通園していない（6歳以下））
- ④ 高学年になるまで入れる学童保育施設が少ない。（子ども2人/小学校1～3年生, 中学校）
- ⑤ 小学校での登校前、放課後の預かり（長期休みを含む）。（子ども2人/小学校4～6年生, 中学校）
- ⑥ 保育園無償化。（子ども1人/高校）
- ⑦ 急に用事がある時、予約なしでも臨時保育できる場所が欲しい。（子ども1人/通園していない（6歳以下））

【学費無償化・補助などの支援】

- ① 私学補助金（授業料）が全額出るようになり、それを塾代に回すことができたので、とても助かりました。これからもよろしくお願いします。（子ども2人/高校, 大学・大学院）
- ② 中・高の制服代の補助、修学旅行費の補助、大学、専門学校の授業料の補助があったら、金銭的余裕ができる。（子ども2人/中学校, 高校）
- ③ 一人目から大学費用無償化が決まっていれば二人目も考えやすい。将来的に子どもにかかる費用を考えて子どもを一人だけと決めている人がある。（子ども3人/中学校, 大学・大学院, 大学・大学院）
- ④ 高校や大学の授業料、入学料を世帯収入に関係なく費用を安くして欲しい。（子ど

も2人/高校, 大学・大学院)

- ⑤ 入学に際して必要な準備金。制服、カバン、靴など指定されているもの等。(子ども1人/中学校)
- ⑥ 修学旅行の代金の補助。習い事をしなければ授業についていけないような科目(例: 水泳、音楽)に関しては、(外部委託して専門講師を呼ぶ等) 学校だけで習得できる環境を構築していただけたら嬉しいです。(子ども2人/小学校1～3年生, 中学校)

【子育て支援・サービス】

- ① 夜間でも子育ての悩みや不安を相談できて、共感してくれる支援があると良い。日中だけでは、相談をする時間が確保できない。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ② ひとり親の児童扶養手当を大学まで支給していただけると助かります。(子ども1人/高校)
- ③ 就学支援金等の所得制限の廃止。税金を沢山払っています。今年度より児童手当なども制限が廃止されました(ありがとうございます)。是非、低所得に有利になりすぎず、区民レベルの平等な改正を心から望みます。(子ども3人/小学校1～3年生, 大学・大学院, 通学していない)
- ④ 子育て中に、少しの時間息抜きできるように、簡易的な預りサービスがあったらどうか…と思います。たとえば、面倒な登録なし(マイナカード提示のみ)、単時間(30分～1時間)など、「ちょっとみてて」と頼めるサービスがあったらと。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑤ 今は東京018サポートだったり、児童手当が増えて有難く感じています。就学手当もいただいている身としては感謝の気持ちでいっぱいです。ですが、やはり経済的な面で子ども達に塾には満足に通わせられず、高校進学の実選択肢は都立のみ、その後は奨学金で進学してもらい手はありません。選択肢を広げてあげることができず、申し訳ない気持ちにもなります。格差社会が今以上に広がらないことを祈るのみです。(子ども3人/中学校, 高校, 専門学校)
- ⑥ 0～2才の子どもを遊ばせられる施設が少なすぎる。特に乳児は遠出しづらく、近場で子どもを遊ばせながら親同士が情報共有できる施設が増えれば孤立せずに子育てしやすくなると思う。(子ども1人/小学校1～3年生)
- ⑦ 児童手当等の大幅な拡充。(子ども1人/小学校4～6年生)
- ⑧ 収入制限の境界線上にいて、対象とならなかった。子育て支援等の制度の拡張。(子ども2人/短期大学, 通学していない)
- ⑨ 大学生までの手当があればよかった。病院などですごくお金がかかる。(子ども2人/専門学校, 大学・大学院)
- ⑩ ベビーシッターの支援。年間上限が低すぎて、共働きは保育園の実選択肢しかない。現行のベビーシッター支援はあくまでも補助的なものに過ぎない。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)

【学校以外の教育支援】

- ① 就学援助の所得基準を少しオーバーしている場合、多子世帯は段階的に補助がほしい。子育てサポート（一時保育、送迎、ファミサポ、家事支援など）の費用軽減、申し込み方法のスリム化。仕組みが複雑。高等教育へのサポート（塾、学費）。（子ども2人/高校, 大学・大学院）
- ② 進学のための塾代がかかりすぎるので目標を持って学習したい子どもにも世帯年収関係なく支援してほしい。（子ども2人/中学校, 大学・大学院）
- ③ 学校の早朝開放。子どもがやりたいことを学校内でサポートしてもらえる体制づくり。夏・冬・春休みの子どもの居場所（学校など子どもが自分でいって、やりたいことを思いっきりチャレンジできる場所・体制）の整備。（子ども2人/小学校4～6年生, 小学校4～6年生）
- ④ 3人以上いる家庭へ手厚い支援。学習塾代無料等。（子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校）
- ⑤ 多子だと全員に習い事、学習塾通信教育を継続することが莫大な費用で負担が大きい。補助があればいいと思う。特に学習には。（子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校）
- ⑥ 複数子どもがいる家庭に子育て支援金と別に習い事助成があれば、下の子に躊躇している習い事をさせてあげられると思います。（子ども3人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生, 小学校1～3年生）
- ⑦ 長期休業中の子どもの居場所問題があります。また、家族のお出かけだけでなく、サマーキャンプや学習塾などに行かせられる家庭とそうではない家庭があります。そういった『体験』をした場合に、その費用の半분을補助していただけたらありがたいです。（子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校4～6年生）
- ⑧ 教育費を子どもの人数や年収に関わらずすべて無償化、さらに留学費用や習い事などの費用の90%以上を免除。また、固定資産税の50%以上の減税や新たに子どもが増えた際のリフォームや建て直し費用の補助。（子ども1人/通園していない（6歳以下））

【生活支援】

- ① 子どもが成長しても、高校や大学と進学すると、今までは給食でしたが、高校によっては、お弁当となり、日々毎日のことなので意外と費用の負担が大きいです。（子ども1人/高校）
- ② 食費を助ける補助金やクーポンがあると助かります。（子ども3人/通園していない（6歳以下）, 保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園）
- ③ 母子家庭や低所得者などに賃貸契約の時にかかる料金の負担を少し出してもらいたい。（子ども3人/高校, 高校, 大学・大学院）
- ④ 子育て中は、どうしても時短勤務やパートで収入が落ちてしまうので、その辺りを補填していただけるとありがたいなと思います。また、子どもが住む場合防音とかも気になるので、家賃補助があるとありがたいと思いました。（子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園）

- ⑤ おむつ、ミルク代の補助。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑥ 乳児期のオムツ、ミルク代など必ず必要な物の費用は補助金を出してくれていたから良かったと感じる。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生)
- ⑦ 物価高の今、お給料は変わらずで大変なので、臨時の給付金などにはありがたかったです。(子ども1人/中学校)
- ⑧ 子どもがいる世帯への家賃補助、育児用品を購入するための補助金、家事代行やシッターを利用する際の費用の負担などとして欲しいです。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑨ 家賃補助が必要(子どもが増えれば増えるほど必要な居住面積も増える)。(子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校)
- ⑩ 出産にともなってかかる引越し代や、家賃補助があると助かる。赤ちゃんファーストなどの費用補助はカタログから選ばないといけないので本当に欲しいものが見つからない。種類を増やすか現金にして欲しい。育児休業給付金だけでは家計が厳しいので、育児休業中でも可能な在宅ワークの紹介。小1の壁に悩んでいる人向けの求人があると助かる。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)

【労働環境に関すること】

- ① 子育てをしてみなかった男性や父親となる人間の妊娠、出産、育児にまつわる意識、知識、覚悟の醸成。父親の時短勤務制度(給与の保証も含む)と付与した企業への人的、費用的補助。(父親の家事・育児参加を義務づけるような施策)(子ども2人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生)
- ② フリーランス向けの産休・育休制度。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ③ 放課後等デイサービスの質の向上(特性のある子どもへの接し方に知識のない方が多いと感じる)。放課後等デイサービスの開所時間を長くしてほしい(平日もだが、特に長期休みの開所時間が短く、仕事を辞めざるを得ない)。放課後等デイサービスに空きが少なく、フルタイム勤務を諦めざるを得ない。在宅勤務できれば解決できる問題もあるが、会社が在宅勤務を認めていない。可能な業務にも関わらず。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ④ マタハラ、育児ハラスメントへのペナルティ。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生)
- ⑤ 生活のためには働く必要があるが、本音は子どもが10歳くらいまでは子育てに専念したかった。子育て期間中は離職しても生活が成り立つ、働きたくなった時に何歳でも働き始められる世の中になるのが理想です。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生)
- ⑥ 保育園だけでなく、放課後児童クラブなど夏休みや19時ごろまで面倒を見てくれる安全な場所。また、生活保護ではなく社会で活躍できる親の就職先情報提供やサポート。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑦ 男性の育児関与に関する職場の理解。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)

- ⑧ 子育て家族が安定して不安無く生活できる収入保障。育児休業した場合は収入がなくなるので休業の制度があっても取りたくても取れないし期間も短い。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ⑨ 育休復帰後の勤務時間の問題で退職せざるを得ない状況となった。夫婦の内どちらかが働けば、片方が数年育児に専念できるような支援が欲しい。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑩ フルタイムで共働きするには、保育園や学童などの施設で18時から19時くらいまで子どもを見てもらえることが必須となるが、反対にもっと早く迎えに行っていきたいきもちもあるので、時短勤務できる子どもの年齢の上限をあげてほしい。例えば、中学校に入るまでは、両親が時短勤務可能とか。そういう風潮になって欲しい。(子ども1人/通園していない(6歳以下))

【医療に関すること】

- ① 保育園ほどの充実したサポートが学童でも得られるのか不安。宿題や、活動など子どもにとって有意義なことがあることを期待する。病児ケア、病後児ケアはあるが予約や登録で使いにくい。ママサポのような枠組みでごはんの作り置きだけをしてくれても助かるのでそういったサポートもほしい。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ② 子どもの病児保育の場所をふやしたり家にきてくれたりするとうれしい(墨田区のように)。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ③ 日曜に空いている小児科を予約しようとしても予約制で空きがなく受診できないことがある。休日診療所を増やしてほしい。(子ども3人/小学校1～3年生, 中学校, 高校)
- ④ 高校までは医療費無料だったら、安心して生活できたと思います。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑤ 病児、病後児保育の充実。現在は数が少なく、遠く利用が現実的ではない。また直接出向いての事前登録など利用のハードルも高い。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑥ 保育園に登園している際の子どもの急な発熱時に、両親共にすぐに迎えに行けない場合も迎えを求められてしまうので、申し訳なさも有り困ってしまう事が有ります。病児保育ではない事は理解していますが、各保育園に隔離スペースなど有るとお互いに不安が軽減されるかと思います。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)

【その他の支援】

- ① 子育て世帯に対する減税・所得の上昇。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ② 税金が低くなって手取りが増えること。ボーナスなどからも取りすぎ。単発だけではなく恒久的な支援とセットでやって欲しい。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ③ 多子世帯の各種収入制限の撤廃、所得税の大幅減税。(子ども3人/保育園・幼稚園・

認定こども園, 小学校 1～3 年生, 小学校 4～6 年生)

- ④ 貸付など、もっと簡単に借りられる様なものや支援が欲しい。学校の費用を高校の時借りたりしたが保証人が必要だったり大変でした。(子ども 3 人/高校, 高校, 大学・大学院)
- ⑤ 子どもがいればその数に応じて所得税、社会保険料等が減税されていく仕組みが欲しい。1 人で 1/3 減、2 人で半減、3 人で全額免除等。(子ども 1 人/通園していない (6 歳以下))

【その他】

- ① 娘が軽度と中度の間の知的障がいがあるので、障がいのある子ども・大人などの家族が相談できる窓口などをふやしてほしい。障害者手帳・ヘルプマークをお店にみせたら(紙オムツ、育児用品、ミルクなどが)割引きになる制度などがあると良いなと思います。もちろん健常のお子さんでも割引き制度が利用できてよいとおもう。障がいのある人が働ける場所などももっとふやしてほしいです。医療ケアをしているお子さん、重い障がいがあるお子さんの家族が普通の小学校中学校、高等学校に通いたいと希望があれば通える制度をもっとふやしてほしいのと親がつきそいしなくても大丈夫になるようにしてほしい。看護師さん(学校)をふやしていけたら良いなとおもいます。(子ども 1 人/小学校 1～3 年生)
- ② ぜいたくなのかもしれませんが、子どもを預け、夫婦のみで行動やレクリエーションが出来る、リフレッシュサービスなどがあると、大きな息抜きになると思っています。(子ども 1 人/小学校 1～3 年生)
- ③ 多子家族に対してもっと手厚い支援をしてもらいたい。生活が苦しいのは、シングルマザーや生活保護の人だけではなく、しっかり国に税金を納めている多子家族や子育て世帯です。シングルマザーの人などは、住居を安く提供されているが多子家族は、家賃が高い広い部屋を借りなければいけなくて生活は毎月カツカツです。もっと税金を納めてる世帯に笑顔になれる世の中にしてください。(子ども 4 人/通園していない (6 歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校 1～3 年生)
- ④ 所得制限で様々な補助は受けられません。低所得とみなされなくても、子どもの人数等考慮して補助・支援を受けられればいいのにとっています。(子ども 4 人/小学校 1～3 年生, 小学校 4～6 年生, 中学校, 中学校)
- ⑤ 育児用品は衣類やオムツなどはなんとかあるが、ベビーベットなど、高額になるものは補助があると嬉しいと思った。子育てサロン・児童館に関して、他の区のように、乳幼児室を充実させて欲しい。職員が部屋に常駐して話をきいてくれる体制が欲しい。児童館によってサービスにバラつきがあるのは気になる。保健所がやっている子育て広場は充実してお世話になっているが、何をやっているのかの情報が掴みにくく、チラシによる情報発信が中心のように感じるので、ネットなどの発信も増やして欲しい。(子ども 1 人/通園していない (6 歳以下))
- ⑥ 子どもの奨学金返済の補助をしてほしい。(子ども 1 人/大学・大学院)
- ⑦ 低所得者には足立区の無料塾があると知っています。我が家はその区分に属さない

ため、共働きをして塾代やその他習い事の費用を賄うために働いています。無料塾に通っている方に「手厚く指導してもらえている」と聞くと、毎月高校生には7万、小学生に2万をかけている我が家としては気持ちが穏やかでいられないです。足立区、都、国は低所得者、ひとり親家族には手厚いですが、それ以外は別に余裕があるわけではなく、その区分に属さないため、一生懸命働いている家庭がたくさんいると思います。あえてひとり親になった方もいると話を聞いたことがあります。真面目に勤労し生活している人たちが納得いくような政策をしてもらいたいと思います。(子ども2人/小学校4～6年生, 高校)

- ⑧ 所得があっても、親への仕送りなど目に見えない出費がある家庭もあり、支援は一律にしてほしい。(子ども2人/中学校, 高校)

7 過去にあれば子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながった支援（ベース：16歳以上の世帯）

Q11 これまでお子様を産み育ててきた過去を振り返り、当時どのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながったと感じますか。お子様の年代ごとに重視する順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

（1）お子様が0～6歳（未就学）の時期

ア 1番目に重視する支援としては、「保育園・幼稚園にかかる費用補助」が28.3%、2番目としては「保育園・幼稚園にかかる費用補助」が23.2%、3番目としては「保育園・幼稚園サービスの向上」と「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」がそれぞれ7.7%と最も高くなっている。

イ 1～3番目の合計では、「保育園・幼稚園にかかる費用補助」が57.3%と最も高く、次いで「妊娠・出産にかかる費用補助」が35.6%、「家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート」が19.3%となっている。

図表3-63 過去にあれば子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながった支援：0～6歳（未就学）の時期

- 妊娠・出産にかかる費用補助
- 保育園・幼稚園にかかる費用補助
- 保育園・幼稚園サービスの向上
- 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 公的な相談窓口の充実
- 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 育児用品にかかる費用補助
- 家賃など住まいにかかる費用補助
- 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援
- 小児医療体制の充実
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答

	n=	n=																(%)
Q11_1(1) 1位	508	23.2 28.3 3.7 4.3 1.2 7.3 1.6 3.5 1.0 3.9 3.3 9.6																
Q11_1(2) 2位	508	6.7 23.2 5.1 5.7 1.6 6.7 4.3 7.1 5.1 0.8 8.5 0.0 10.6 9.6																
Q11_1(3) 3位	508	5.7 5.7 7.7 4.5 1.4 5.3 7.7 6.5 6.7 1.6 6.5 6.1 0.2 22.0 9.6																
	n=	妊娠・出産 にかかる費用補助	保育園・幼稚園 にかかる費用補助	保育園・幼稚園 サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信 教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談 窓口の充実	子育て世帯 同士で情報共有・情報 交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話を してくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活に かかる費用補助	育児用品に かかる費用補助	家賃など住 まいにかかる費用補助	子育て世帯 向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入に つながる仕事・求人情報の提供	育児休業が取りやす いなど安心して子育て ができる職場の理解・支援	小児医療 体制の充 実	その他	特にない、 わからない	無回答
合計	508	35.6	57.3	16.5	14.6	4.1	3.1	19.3	13.6	16.1	15.4	2.6	2.8	14.2	18.5	1.4	3.3	9.6
1位	508	23.2	28.3	3.7	4.3	1.2	0.4	7.3	1.6	2.6	3.5	0.4	1.0	4.3	3.9	1.2	3.3	9.6
2位	508	6.7	23.2	5.1	5.7	1.6	1.0	6.7	4.3	7.1	5.1	0.6	0.8	3.3	8.5	0.0	10.6	9.6
3位	508	5.7	5.7	7.7	4.5	1.4	1.8	5.3	7.7	6.5	6.7	1.6	1.0	6.5	6.1	0.2	22.0	9.6

(2) お子様が7～12歳（小学生）の時期

ア 1番目に重視する支援としては、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が37.2%、2番目としては「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が21.7%、3番目としては「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が11.4%と最も高くなっている。

イ 1～3番目の合計では、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が52.6%と最も高く、次いで「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が48.6%、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が26.2%となっている。

図表3-64 過去にあれば子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながった支援：7～12歳（小学生）の時期

- 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
- 学童保育サービスの向上
- 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 公的な相談窓口の充実
- 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 家賃など住まいにかかる費用補助
- 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 小児医療体制の充実
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答

		n=													n=		(%)
Q11_2(1) 1位	508	37.2 12.0 16.3 2.4 4.7 4.3 4.5 1.0 0.8 10.2															
Q11_2(2) 2位	508	9.3 11.4 21.7 2.2 2.4 5.7 10.4 5.3 0.8 5.3 0.0 14.2 10.2															
Q11_2(3) 3位	508	6.1 2.4 10.6 2.6 1.0 5.9 11.4 5.9 0.8 2.4 9.1 1.0 30.7 10.2															
		小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学童保育サービスの向上	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答		
合計	508	52.6	25.8	48.6	7.1	3.7	16.3	26.2	15.7	1.8	4.5	17.1	1.8	3.1	10.2		
1位	508	37.2	12.0	16.3	2.4	0.4	4.7	4.3	4.5	0.2	1.0	2.8	0.8	3.1	10.2		
2位	508	9.3	11.4	21.7	2.2	2.4	5.7	10.4	5.3	0.8	1.2	5.3	0.0	14.2	10.2		
3位	508	6.1	2.4	10.6	2.6	1.0	5.9	11.4	5.9	0.8	2.4	9.1	1.0	30.7	10.2		

(3) お子様が13～15歳（中学生）の時期

ア 1番目に重視する支援としては、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が43.1%、2番目としては「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が30.7%、3番目としては「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が18.5%と最も高くなっている。

イ 1～3番目の合計では、「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が64.6%と最も高く、次いで「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が62.8%、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が33.9%となっている。

図表3-65 過去にあれば子どもの産みややすさや子育てのしやすさにつながった支援：13～15歳（中学生）の時期

- 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
- 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 公的な相談窓口の充実
- 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 家賃など住まいにかかる費用補助
- 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 小児医療体制の充実
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答

	n=	(%)											
Q11_3(1) 1位	508	43.1 28.9 0.2 2.6 0.6 1.4 3.3 3.7 1.0 3.3 0.8 1.0											
Q11_3(2) 2位	508	15.2 30.7 2.2 1.8 12.8 4.9 0.8 3.3 0.4 15.0 10.0											
Q11_3(3) 3位	508	4.5 4.9 3.0 1.4 18.5 9.4 0.4 3.7 5.5 0.6 34.8 10.0											

	n=	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	小児医療体制の充実	その他	特にない、わからない	無回答
合計	508	62.8	64.6	8.9	2.4	5.9	33.9	17.7	1.8	7.9	9.1	2.0	3.3	10.0
1位	508	43.1	28.9	3.7	0.2	1.0	2.6	3.3	0.6	0.8	1.4	1.0	3.3	10.0
2位	508	15.2	30.7	2.2	0.8	1.8	12.8	4.9	0.8	3.3	2.2	0.4	15.0	10.0
3位	508	4.5	4.9	3.0	1.4	3.1	18.5	9.4	0.4	3.7	5.5	0.6	34.8	10.0

(4) お子様が16～22歳（高校生・大学生 相当）の時期

ア 1番目に重視する支援としては、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が66.7%、2番目としては「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が31.5%、3番目としては「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が20.5%と最も高くなっている。

イ 1～3番目の合計では、「小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助」が80.7%と最も高く、次いで「学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助」が50.8%、「食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助」が36.4%となっている。

図表3-66 過去にあれば子どもの産みややすさや子育てのしやすさにつながった支援：16～22歳（高校生・大学生 相当）の時期

- 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
- 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 公的な相談窓口の充実
- 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 家賃など住まいにかかる費用補助
- 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- その他
- 特にない、わからない
- 無回答

	n=	(%)											
Q11_4(1) 1位	508	66.7											
Q11_4(2) 2位	508	10.2	31.5	1.4	0.6	13.4	10.4	0.6	5.5	0.8	21.9	3.3	3.3
Q11_4(3) 3位	508	3.7	5.7	2.0	1.8	20.5	10.4	1.0	5.3	2.6	42.7	3.3	3.3

	n=	小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助	学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助	公的な相談窓口の充実	子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援	家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート	食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助	家賃など住まいにかかる費用補助	子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋	安定した収入につながる仕事・求人情報の提供	その他	特にない、わからない	無回答
合計	508	80.7	50.8	4.7	1.6	3.1	36.4	24.8	2.0	12.8	4.7	3.7	3.3
1位	508	66.7	13.6	1.4	0.2	0.8	2.6	3.9	0.4	2.0	1.4	3.7	3.3
2位	508	10.2	31.5	1.4	0.4	0.6	13.4	10.4	0.6	5.5	0.8	21.9	3.3
3位	508	3.7	5.7	2.0	1.0	1.8	20.5	10.4	1.0	5.3	2.6	42.7	3.3

(5) 具体的に望んでいた支援（自由記述）

Q12 前設問（Q11）の回答で具体的に望んでいた支援内容があればご記入ください。（自由記述）

過去にどのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながったか、具体的に望んでいた支援内容を聴取し、次の10項目に大きく分類した。

※ 一つの自由記述の内容が複数にあたる場合は、複数回答としてあてはまる項目に分類を行った。

※ 回答内容については、原則、原文のまま掲載する。

図表3-67 具体的に望んでいた支援

妊娠・出産に関すること	3
保育園・学校教育のサービス	19
学費無償化・補助などの支援	60
子育て支援・サービス	8
学校以外の教育支援	23
生活支援	5
労働環境に関すること	11
医療に関すること	12
その他の支援	3
その他	23
合 計	167

※ 分類のもととなった項目

- ・妊娠・出産に関すること＝出産費用の補助/産後ケア/妊婦健診費用の補助など
- ・保育園・学校教育のサービス＝保育料の無償化/延長保育/学童の待機児童/障がいのある子への支援など
- ・学費無償化・補助などの支援＝授業料の無償化/学用品費用の補助など
- ・子育て支援・サービス＝育児用品費用の補助/児童扶養手当/子ども手当など
- ・学校以外の教育支援＝学習塾や習い事代の補助など
- ・生活支援＝食費の補助/家賃の補助など
- ・労働環境に関すること＝働く保護者への支援/育児休業支援など
- ・医療に関すること＝病児保育など
- ・その他の支援＝減税、住宅ローンの補助など
- ・その他

■自由記述抜粋■（原則、原文のまま掲載）

【妊娠・出産に関すること】

- ① 高校までは医療費無料だったら安心して生活できたと思います。2人目に恵まれなかったが、子ども1人を大学まで行かせる教育費が大きいので、不妊治療してまでとは思わなかった。教育費と不妊治療同時の補助が必要だと思う。(子ども1人/大学・大学院)
- ② 出産費用補助。高校、大学授業料補助。(子ども2人/大学・大学院, 通学していない)
- ③ 不妊治療の代金です。時期が外れてしまっていたので、対象になりませんでした。意外と、幼稚園も出費が嵩んだので、学校にしても、準備金として前もって補助が欲しかったです。(子ども2人/高校, 高校)

【保育園・学校教育のサービス】

- ① 長女が小2の時に学童保育に入れなくて、本当に困りました。自営業で自宅での小売業なので親の目が届くからと、断られました。自営業でも仕事中はお客様がいますし、仕事をはなれられないので、とてもこまりました。学童保育の人数制限はなくしてください。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ② 未就学の時期、とにかく保育料(区立)が高過ぎる。自分の時間もなく、フルタイムで働いても、世帯の収入で保育料がハネ上がる。何のために頑張っているのか悩み続けた時期だった。働く世帯の保育料は安く。(子ども1人/大学・大学院)
- ③ 一時預かりなどの支援。(子ども2人/通学していない, 通学していない)
- ④ 保育料の補助。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑤ 転勤で保育園に入れず、幼稚園に入園した際、急な延長保育の時間延長ができず困ったことや、夏季冬季長期休みの保育などがなかったことで、幼稚園入園を後悔したことがあった。(子ども2人/高校, 大学・大学院)

【学費無償化・補助などの支援】

- ① 裕福ではない貧困家庭では、習いごとや学習塾に通わせる余裕がなく、進学する際にも選択できるのは「公立」など金銭的負担が少ない学校にしか行かせることができなかった。将来につながる高校、大学、専門などが自由に選べないがために、就きたい仕事や、進学を断念せざるを得なかったのもそれだけが後悔である。金銭的カバーは必要だと感じる。(子ども1人/通学していない)
- ② 所得制限があり補助金がもらえなく金がなかった。(子ども2人/大学・大学院, 無回答)
- ③ 通学交通費の負担軽減。(子ども1人/通学していない)
- ④ 塾代や授業料、交通費などの補助がほしかった。(子ども1人/高校)
- ⑤ 学費について、所得制限なく補助いただけると非常に助かります。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑥ 幼稚園から高校までの無償化。大学の学費補助。奨学金の取得しやすさ。(子ども1人/大学・大学院)

- ⑦ 子どもにかかる学費、給食費や部活動費、特に大学の学費、通学費の支払いが重かった。(子ども2人/通学していない, 通学していない)
- ⑧ 成績に応じてでも良いから大学無償や免除、補助が欲しかった。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑨ 大学受験の費用補助があると助かります。(子ども1人/高校)

【子育て支援・サービス】

- ① 子育てサポート。年間上限つきでも良い為、補助がほしい。頼みたいタイミングで、いつでも対応可能なシステム(人手不足で、空きがない)。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ② ひとり親家庭への児童扶養手当を大学(専門学校)までにしていただけると進学チャンス、家庭の不安が減ると思います。(子ども1人/高校)
- ③ 医療費補助(16才~22才)。(子ども1人/大学・大学院)
- ④ 医療費。高校3年まで、給食費。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑤ 給食支援。医療費。交通費。(子ども2人/高校, 大学・大学院)

【学校以外の教育支援】

- ① 習い事は、アメリカでは、ボランティアでスポーツをみってくれるとかあると何かの記事で読んだことがあり、放課後の学童の時間などにやってもらえれば子どもに適したスポーツの種目や学びにもつながり、習い事費用の軽減になると思う。(子ども1人/大学・大学院)
- ② 中学からは受験のため、学習塾に行くことは必須となりつつある。補助があれば助かる。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ③ 高校生の授業料、塾の費用がかかりました。クラブ活動の移動交通費がかかりました。(子ども2人/大学・大学院, 大学・大学院)
- ④ 大学進学(塾、受験料、大学学費)への金銭的サポート。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑤ 子どもが成長できるよう、習い事に対する補助金を支援してほしいです。(子ども2人/高校, 高校)

【生活支援】

- ① 子どもが1歳の頃に離婚し、ひとりで育てていたため、学校にかかる費用補助が少しでもあると、生活も苦しくなかったため、補助が必要。正社員では働けなかったため、住まいの補助もあると助かります。(子ども1人/通学していない)
- ② 子どもが大きくなると食費も教育費もかかるので、大学在学中は経済的な支援がほしい。子どもが独立するまで、または学生の間は家賃補助がほしい。(子ども1人/大学・大学院)
- ③ 高校生は教育費も高くなって大学の授業料も高い。大きければ大きいほど食費や生活費など全体的にお金はかかる。ちゃんと進学できるように支援がほしい。(子ども1人/大学・大学院)

- ④ 日常生活にかかる費用補助。(子ども2人/高校, 大学・大学院)

【労働環境に関すること】

- ① 子どもが小さい時は、実家が遠く、働くことができなかったのもっとフレキシブルに預けることができればよかった。(子ども1人/大学・大学院)
- ② 子どもが小さいうちは、預け先がなく働けませんでした。預け先がないと仕事に応募できず、仕事がないと保育園に応募できませんでした。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ③ 産休、育児休暇中の収入減を補助金等あればよかった。手当だけでは足りなかった。塾代がかかったのも、受験の年の補助金。(子ども2人/高校, 通学していない)
- ④ 子どもが義務教育を終えて、私自身がフルタイムで働くことを希望していた。結果、現在、フルタイムで働いてはいるが、もっと情報提供があると助かったと思う。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑤ 仕事と育児を両立するために、子どもの世話ができない時間に安心して預けられる人員と場所のサポート。(子ども1人/高校)

【医療に関すること】

- ① 休日夜間診療の場所が少なく、また遠くて利用できなかったのも各地域にほしかった。もっと気軽に相談をしたり、出入りできる施設がほしい。住区センターや地域のセンターをもっと幅広い年齢層が使えるように、色々なイベントなどをやってほしい。(子ども2人/大学・大学院, 大学・大学院)
- ② 夜間、休日の緊急医療体制の拡充。(子ども2人/大学・大学院, 大学・大学院)
- ③ 小児医療の充実。深夜や休日診療は専門医がいないと救急の受け入れをしてもらえず苦労した。(子ども2人/高校, 大学・大学院)

【その他の支援】

- ① 減税、社会保険料減額。そもそも認可保育園に入れない。(子ども1人/大学・大学院)
- ② 子どもが幼い頃は人的サポートや急病時のサポートが欲しかった。大学生の今とはにかく学費が生活に重くのしかかる。大学生の学費を支払っている世帯に何か減税等あれば助かります。子育てをしてきて、大学生のこの時が一番経済的に苦しい。(子ども1人/大学・大学院)
- ③ 年金の控除など届出する手間を減らしたい。(子ども1人/大学・大学院)

【その他】

- ① 支援の案内を分かりやすく、どのような支援があるか、手続きを簡単にしたい。(子ども3人/中学校, 高校, 大学・大学院)
- ② 制度があっても、後から知る場合が多い。(子ども1人/大学・大学院)
- ③ 所得に応じた内容だと受けられないことが多いので、所得の多い少ないにかかわらず支給されることを希望します。(子ども1人/大学・大学院)

- ④ 一次的なものではなく継続的な給付制度。(子ども1人/高校)

8 理想とする子どもの人数

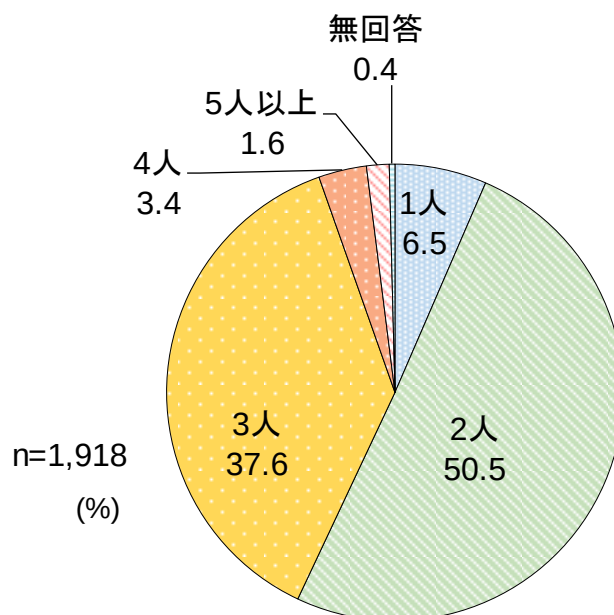
(1) 理想とする子どもの人数

Q13 あなたの世帯において理想とする子どもの人数は何人ですか。あてはまるものをお選びください。(単数回答)

ア 理想とする子どもの人数

「2人」が最も高く50.5%、次いで「3人」が37.6%、「1人」が6.5%となっている。

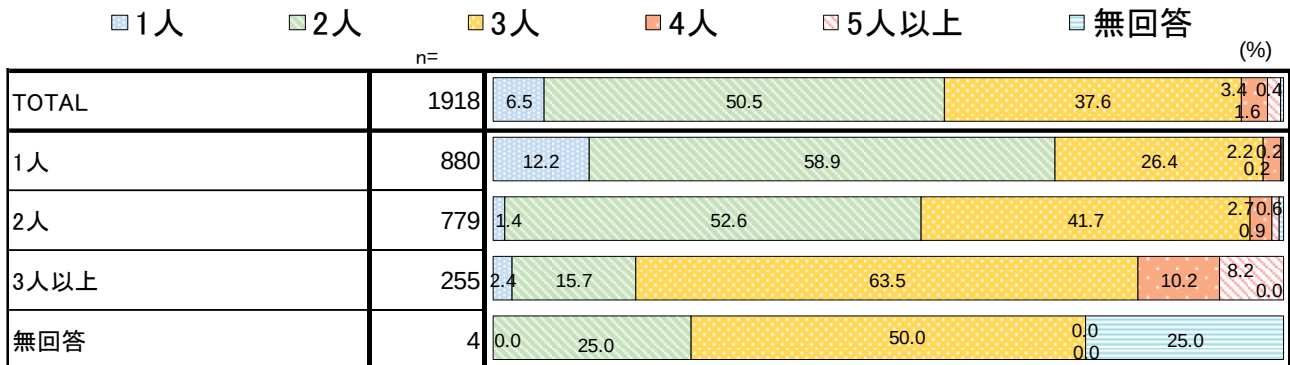
図表3-68 理想とする子どもの人数



イ 理想とする子どもの人数【子どもの人数別】

- (ア) 実際の子どもの人数が「1人」の世帯では、「理想は2人」が58.9%と高い。
- (イ) 実際の子どもの人数が「2人」の世帯では、「理想は2人」が52.6%と最も高く、「理想は3人」も41.7%と高い。
- (ウ) 実際の子どもの人数が「3人以上」の世帯では、「理想は3人」が63.5%となっている。

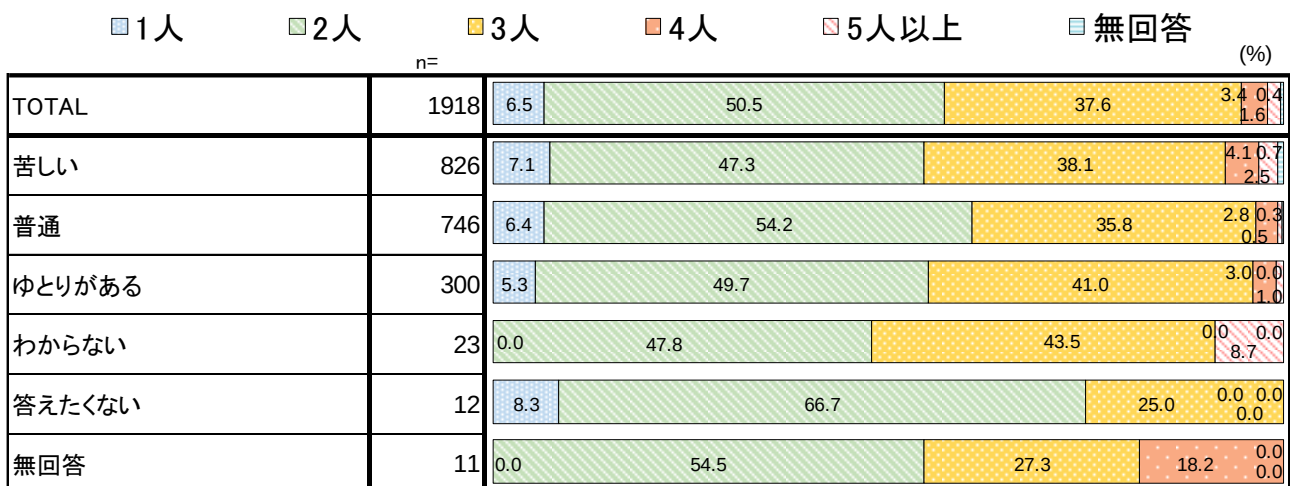
図表3-69 理想とする子どもの人数【子どもの人数別：クロス集計】



ウ 理想とする子どもの人数【家計の状況別】

家計の状況別にみると、「理想は1人」は、家計の状況による差はほとんど見られない。「理想は2人」は、家計の状況が「普通」の世帯で54.2%と高くなっている。

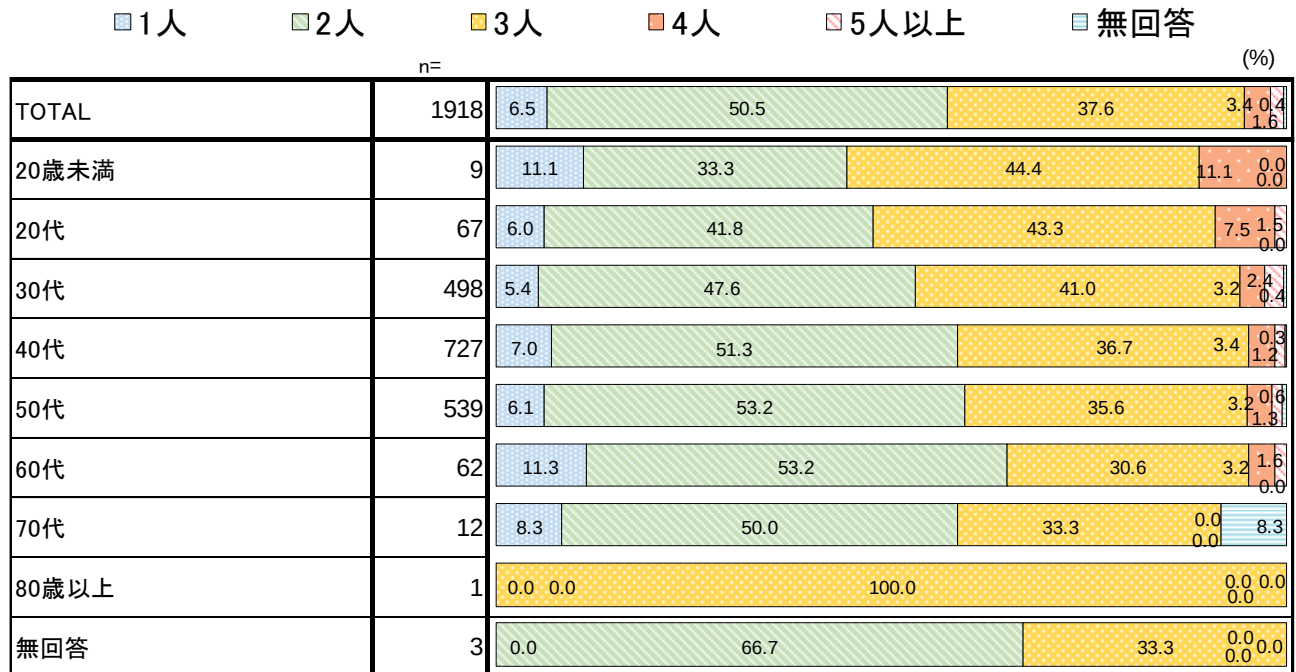
図表3-70 理想とする子どもの人数【家計の状況別：クロス集計】



エ 理想とする子どもの人数【(回答者の) 年代別】

- (ア)「20代」では、「理想は2人」が41.8%、「理想は3人」が43.3%と、2人より3人を理想とする割合が若干上回っている。
- (イ)「30代」を過ぎると、「理想は2人」の割合が増加するが半数程度にとどまり、「理想は3人」の割合は減少するものの、いずれの年代でも3割以上が「理想は3人」と回答している。

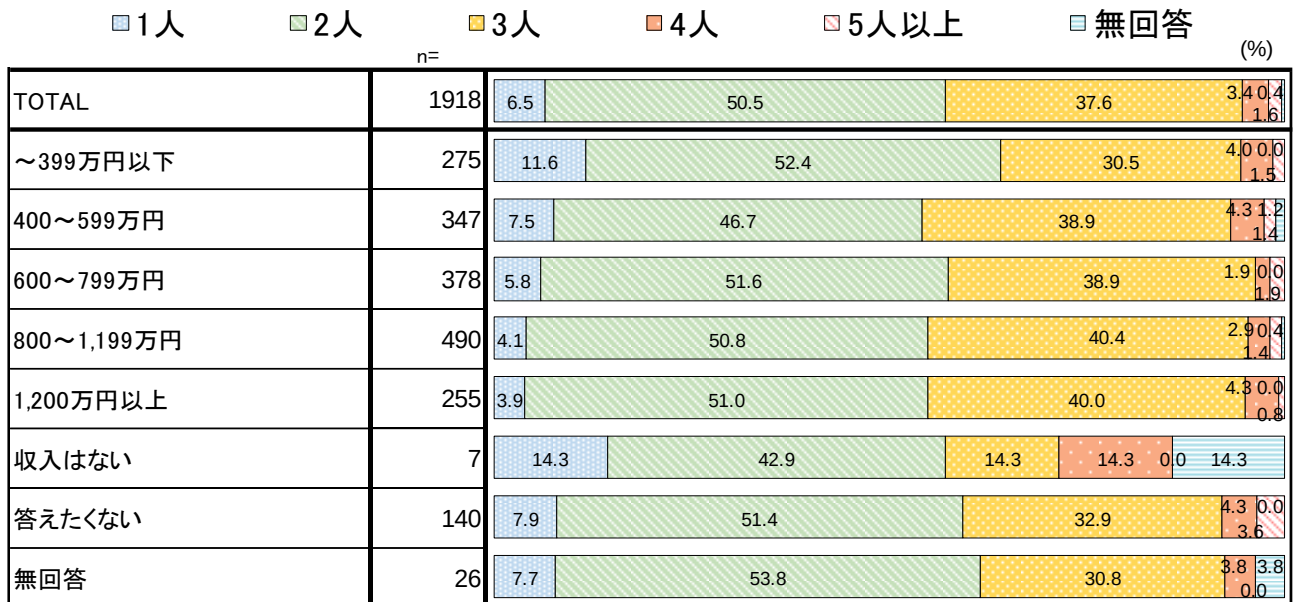
図表3-71 理想とする子どもの人数【(回答者の) 年代別：クロス集計】



オ 理想とする子どもの人数【世帯年収別】

世帯年収別にみると、「～399万円以下」の世帯では、「理想は1人」が11.6%と、他の年収よりも高くなっている。

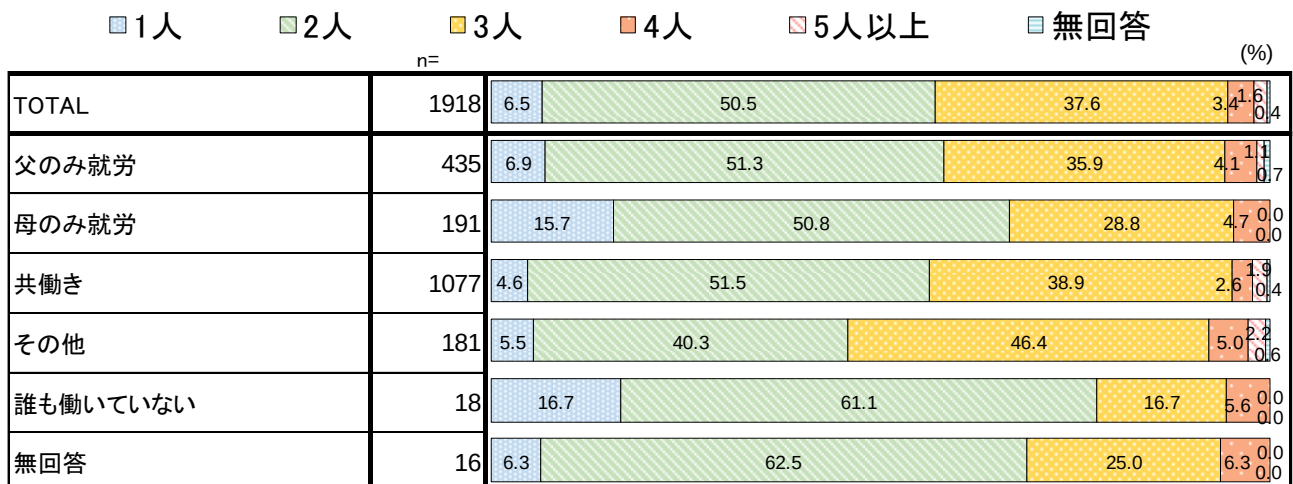
図表3-72 理想とする子どもの人数【世帯年収別：クロス集計】



カ 理想とする子どもの人数【世帯の就労状況別】

いずれの世帯の就労状況でも、「理想は2人」が半数を超えているが、「母のみ就労」の世帯では、「理想は1人」が15.7%と他の就労状況よりも高い。

図表3-73 理想とする子どもの人数【世帯の就労状況別：クロス集計】

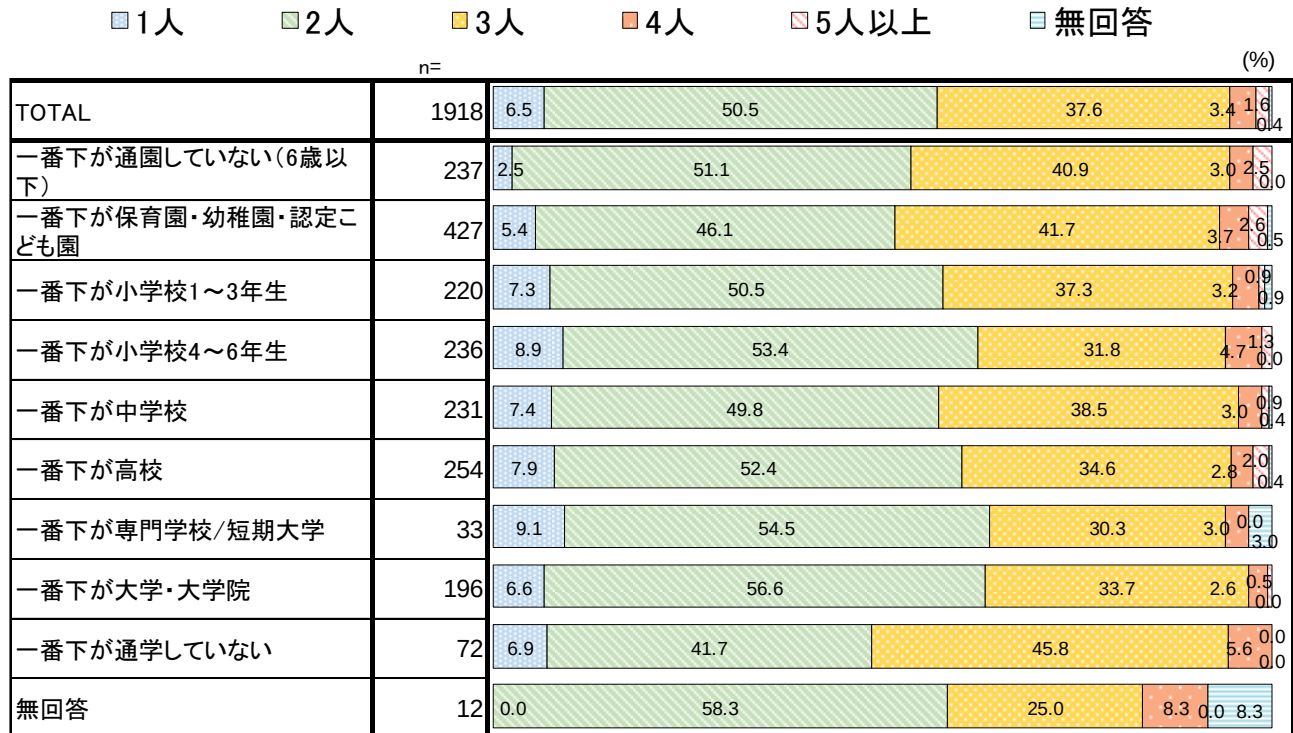


キ 理想とする子どもの人数【一番下の子どもの通園・通学状況別】

- (ア) 一番下の子どもの通園・通学状況別で、いずれも「理想は2人」が4割台から5割台となっており、大きな差はみられない。
- (イ) 「理想は3人」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯で4割台となっている。

図表3-74 理想とする子どもの人数

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】



ク 理想とする子どもの人数【世帯年収/子どもの人数別】

(ア) 世帯年収・子どもの人数別にみると、「理想は1人」は、「～399万円以下/子ども1人」(17.6%)、「400～599万円/子ども1人」(12.7%)、「600～799万円/子ども1人」(11.4%)の世帯が高い。

(イ) 「理想は2人」は、「800～1,199万円/子ども1人」(64.9%)、「600～799万円/子ども1人」(62.7%)の世帯が高い。

(ウ) 「理想は3人」は、年収「400万円」以上の「子どもが3人以上」の世帯で割合が高い傾向がみられる。

図表3-75 理想とする子どもの人数

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

■1人 ■2人 ■3人 ■4人 ■5人以上 ■無回答

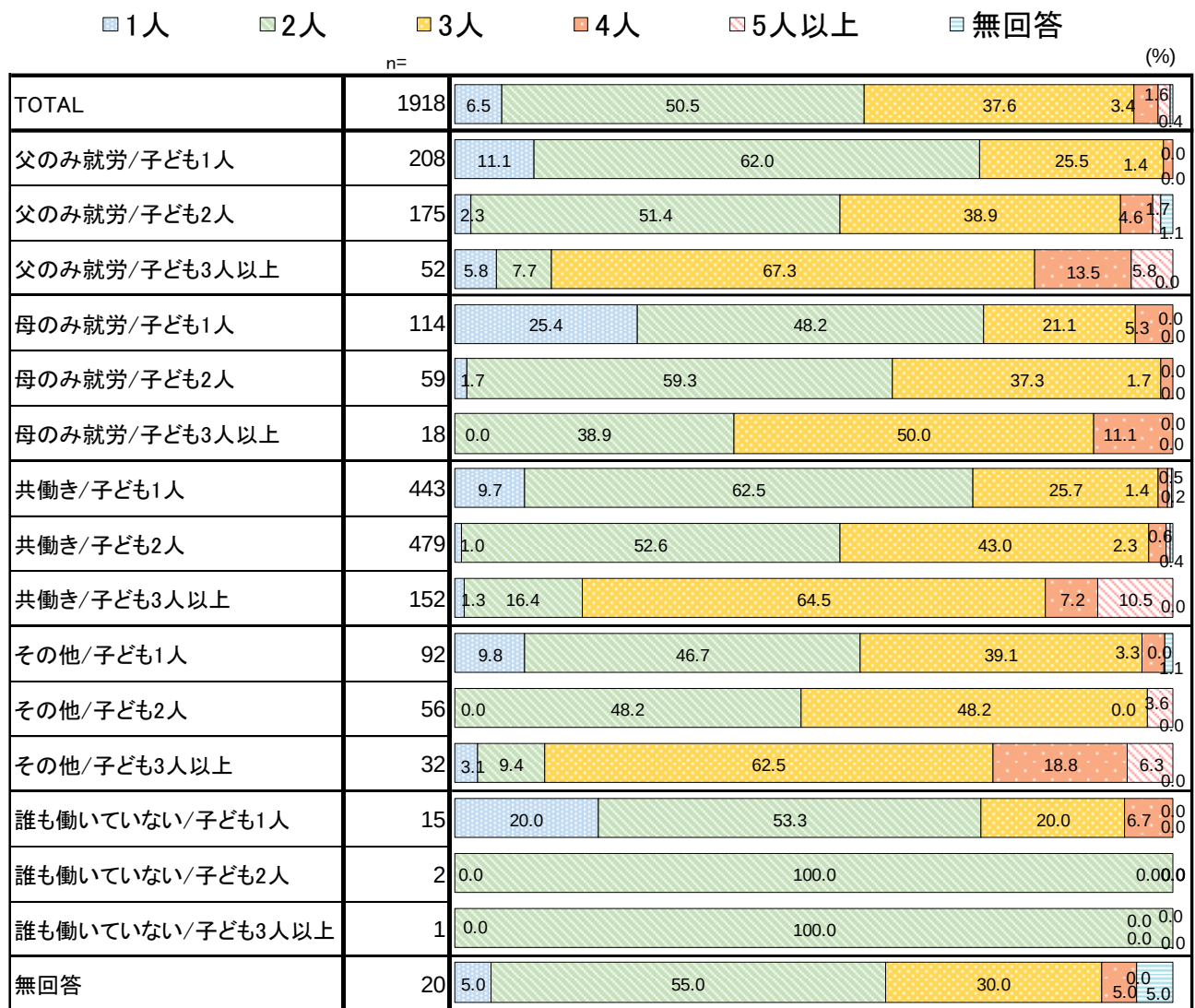
	n=						(%)
TOTAL	1918	6.5	50.5	37.6	3.4	0.4	1.6
～399万円以下/子ども1人	159	17.6	51.6	27.7	3.1	0.0	0.0
～399万円以下/子ども2人	86	2.3	60.5	33.7	3.5	0.0	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	30	6.7	33.3	36.7	10.0	13.3	0.0
400～599万円/子ども1人	173	12.7	54.9	28.3	3.5	0.6	0.0
400～599万円/子ども2人	136	1.5	46.3	44.9	3.7	2.2	1.5
400～599万円/子ども3人以上	37	5.4	8.1	67.6	10.8	8.1	0.0
600～799万円/子ども1人	166	11.4	62.7	24.1	1.0	0.0	0.6
600～799万円/子ども2人	157	1.9	53.5	42.7	1.3	0.0	0.6
600～799万円/子ども3人以上	55	0.0	12.7	72.7	5.5	9.1	0.0
800～1,199万円/子ども1人	208	9.1	64.9	24.5	1.0	0.0	0.5
800～1,199万円/子ども2人	211	0.5	48.8	46.0	3.3	0.9	0.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	0.0	15.5	70.4	7.0	7.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	9.3	58.8	28.9	3.1	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	0.8	56.9	39.8	1.6	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	0.0	8.8	70.6	17.6	2.9	0.0
収入はない/子ども1人	7	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3
収入はない/子ども2人	0						
収入はない/子ども3人以上	0						
答えたくない/子ども1人	60	15.0	58.3	26.7	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども2人	54	1.9	59.3	33.3	1.9	0.0	3.7
答えたくない/子ども3人以上	26	3.8	19.2	46.2	19.2	11.5	0.0
無回答	28	7.1	53.6	32.1	3.6	3.6	0.0

ケ 理想とする子どもの人数【世帯の就労状況/子どもの人数別】

- (ア)「理想は1人」は、「父のみ就労/子ども1人」「共働き/子ども1人」の世帯では約1割であるが、「母のみ就労/子ども1人」の世帯では25.4%となっている。
- (イ)「理想は2人」は、「父のみ就労/子ども1人」「共働き/子ども1人」の世帯で6割を超えている。
- (ウ)「理想は3人」は、世帯の就労状況にかかわらず、「子ども2人」の世帯では約4割にのぼる。

図表3-76 理想とする子どもの人数

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】



コ 理想とする子どもの人数

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数分】

- (ア)「理想は1人」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生/子ども1人」(16.7%)、
「一番下の子どもが4～6年生/子ども1人」(17.2%)、「一番下の子どもが中
学校/子ども1人」(18.2%)、「一番下の子どもが高校/子ども1人」(17.3%)。
(イ)「理想は3人」は、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)/子ども2
人」(50.6%)、「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人」
(45.3%) の世帯で高くなっている。

図表3-77 理想とする子どもの人数

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数分：クロス集計】

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	(%)
TOTAL	1918	6.5	50.5	37.6	3.4	0.4	1.6	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	4.8	62.4	32.8	0.0	0.0	0.0	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	0.0	44.6	50.6	4.8	0.0	0.0	
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	0.0	20.7	48.3	10.3	20.7	0.0	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	10.9	55.2	31.7	1.6	0.0	0.5	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	0.6	49.4	45.3	2.3	1.2	1.2	
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	2.9	14.3	58.6	12.9	11.4	0.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	16.7	61.9	19.0	1.2	1.2	0.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	2.0	55.1	39.8	1.0	1.0	1.0	
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	0.0	13.2	71.1	13.2	2.6	0.0	
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	17.2	67.8	13.8	1.1	0.0	0.0	
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	3.6	55.5	36.4	4.5	0.0	0.0	
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	5.1	15.4	59.0	12.8	7.7	0.0	
一番下が中学校/子ども1人	88	18.2	55.7	22.7	1.1	1.1	1.1	
一番下が中学校/子ども2人	107	0.9	58.9	36.4	3.7	0.0	0.0	
一番下が中学校/子ども3人以上	36	0.0	8.3	83.3	5.6	2.8	0.0	
一番下が高校/子ども1人	104	17.3	58.7	21.2	2.9	0.0	0.0	
一番下が高校/子ども2人	121	0.8	52.9	41.3	1.7	2.5	0.8	
一番下が高校/子ども3人以上	29	3.4	27.6	55.2	6.9	6.9	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	8.3	58.3	29.2	4.2	0.0	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	0.0	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	9.0	58.2	29.1	3.7	0.0	0.0	
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	1.8	57.1	39.3	1.8	0.0	0.0	
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども1人	47	8.5	48.9	34.0	8.5	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども2人	18	5.6	33.3	61.1	0.0	0.0	0.0	
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	
無回答	14	0.0	57.1	28.6	7.1	0.0	7.1	

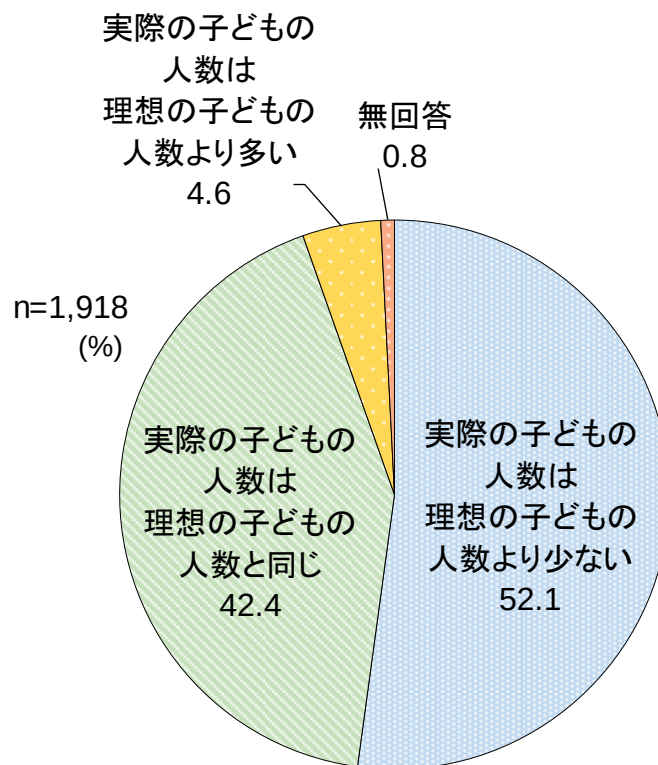
(2) 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数

Q13_1 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数について、あてはまるものを選びください。(単数回答)

ア 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数

「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」が52.1%と最も高く、次いで「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ」が42.4%、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い」が4.6%となっている。

図表3-78 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数



イ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差【子どもの人数別】

(ア) 実際の子どもの人数別にみると、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」は、「子ども1人」の世帯で74.1%、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ」は、「子ども2人」の世帯で54.8%、「子ども3人以上」の世帯では67.5%となっている。

(イ) 「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い」は、「子ども3人以上」の世帯が20.4%と高い。

図表3-79 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【子どもの人数別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

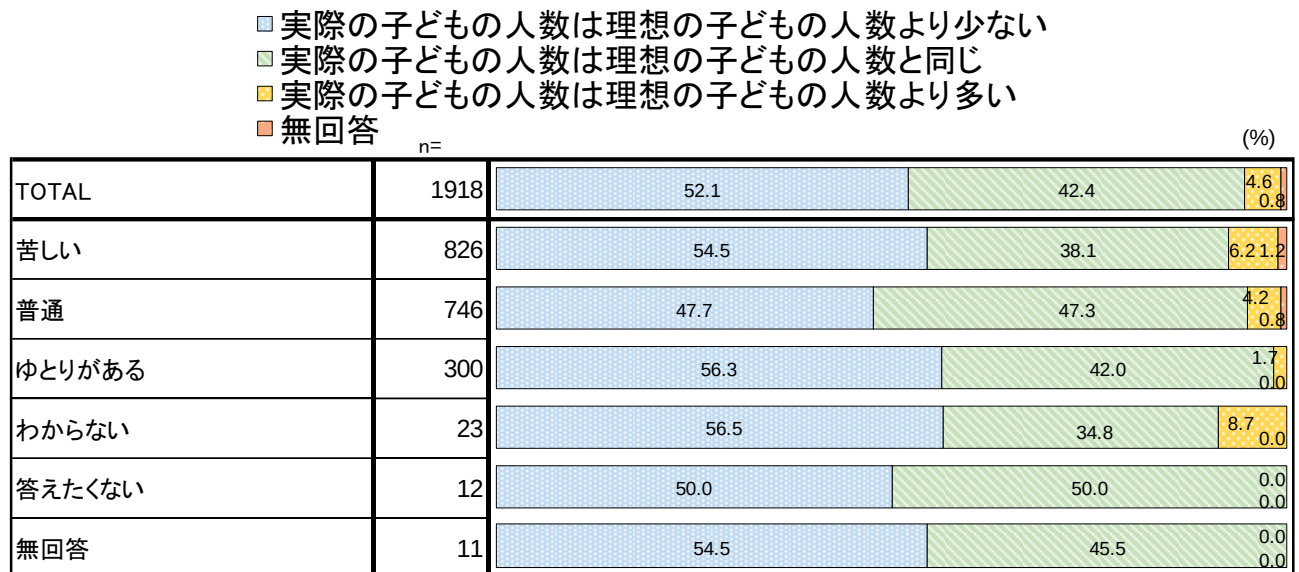
	n=	(%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
1人	880	74.1	24.2	1.1	0.6
2人	779	40.7	54.8	3.5	1.0
3人以上	255	11.4	67.5	20.4	0.8
無回答	4	50.0	25.0	0.0	25.0

ウ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差【家計の状況別】

- (ア) 家計の状況が「苦しい」と「ゆとりがある」世帯では、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」が5割台半ばとなっている。
- (イ) 家計の状況が「普通」の世帯では、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」と「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ」に大きな差はみられない。

図表3－80 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【家計の状況別：クロス集】



エ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数【(回答者の)年代別】

年代別にみると、「20代」の74.6%、「30代」の64.7%が「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」と回答している。

図表3-81 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数

【(回答者の)年代別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	(%)		
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6 0.8
20歳未満	9	55.6	44.4	0.0 0.0
20代	67	74.6	25.4	0.0 0.0
30代	498	64.7	30.9	3.6 0.8
40代	727	47.7	46.8	4.7 0.8
50代	539	44.3	48.6	6.1 0.9
60代	62	45.2	48.4	6.5 0.0
70代	12	50.0	41.7	0.0 8.3
80歳以上	1	100.0	0.0	0.0 0.0
無回答	3	66.7	33.3	0.0 0.0

オ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差【世帯年収別】

世帯年収別にみると、大きな差はみられない。

図表 3－8 2 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【世帯年収別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	n= (%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
～399万円以下	275	53.8	37.8	7.6	0.7
400～599万円	347	54.2	41.2	3.2	1.4
600～799万円	378	50.8	44.2	4.2	0.8
800～1,199万円	490	52.7	42.0	4.5	0.8
1,200万円以上	255	51.0	46.7	2.4	0.0
収入はない	7	57.1	28.6	0.0	14.3
答えたくない	140	46.4	47.1	6.4	0.0
無回答	26	57.7	23.1	15.4	3.8

カ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差【世帯の就労状況別】

世帯の就労状況別にみると、大きな差はみられない。

図表 3－8 3 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【世帯の就労状況別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	n= (%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
父のみ就労	435	54.0	40.2	4.4	1.4
母のみ就労	191	52.4	39.8	6.8	1.0
共働き	1077	54.6	40.7	4.3	0.5
その他	181	29.8	65.2	3.3	1.7
誰も働いていない	18	77.8	11.1	11.1	0.0
無回答	16	56.3	25.0	18.8	0.0

キ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯では、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」が6割以上となっている。

図表3-84 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
■ 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
■ 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
■ 無回答

	n=	n= (%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
一番下が通園していない(6歳以下)	237	68.4	28.7	2.5	0.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	60.0	34.2	5.4	0.5
一番下が小学校1～3年生	220	50.5	44.1	4.1	1.4
一番下が小学校4～6年生	236	48.7	43.6	6.4	1.3
一番下が中学校	231	42.9	51.9	4.3	0.9
一番下が高校	254	46.5	48.8	3.9	0.8
一番下が専門学校/短期大学	33	42.4	51.5	6.1	0.0
一番下が大学・大学院	196	42.3	53.6	4.1	0.0
一番下が通学していない	72	50.0	41.7	6.9	1.4
無回答	12	50.0	25.0	8.3	16.7

ク 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差【世帯年収/子どもの人数別】

(ア)「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」は、年収の高低にかかわらず、「実際の子どもの人数が1人」の世帯で7割を超えている。

(イ)「実際の子どもの人数が2人」の世帯でも、「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」が3～4割となっている。

図表3－85 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	n= (%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	0.8
～399万円以下/子ども1人	159	71.7	26.4	1.3	0.6
～399万円以下/子ども2人	86	34.9	57.0	8.1	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	30	13.3	43.3	40.0	3.3
400～599万円/子ども1人	173	72.8	24.9	1.2	1.2
400～599万円/子ども2人	136	42.6	51.5	3.7	2.2
400～599万円/子ども3人以上	37	10.8	78.4	10.8	0.0
600～799万円/子ども1人	166	74.1	24.1	1.8	0.0
600～799万円/子ども2人	157	40.1	56.7	1.9	1.3
600～799万円/子ども3人以上	55	10.9	69.1	18.2	1.8
800～1,199万円/子ども1人	208	76.4	22.6	0.5	0.5
800～1,199万円/子ども2人	211	44.5	51.2	2.8	1.4
800～1,199万円/子ども3人以上	71	7.0	71.8	21.1	0.0
1,200万円以上/子ども1人	97	76.3	22.7	1.0	0.0
1,200万円以上/子ども2人	123	39.8	58.5	1.6	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	17.6	73.5	8.8	0.0
収入はない/子ども1人	7	57.1	28.6	0.0	14.3
収入はない/子ども2人	0				
収入はない/子ども3人以上	0				
答えたくない/子ども1人	60	73.3	26.7	0.0	0.0
答えたくない/子ども2人	54	33.3	63.0	3.7	0.0
答えたくない/子ども3人以上	26	11.5	61.5	26.9	0.0
無回答	28	57.1	25.0	14.3	3.6

ケ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」は、「共働き/子ども1人」の世帯では81.5%にのぼる。

(イ)「父のみ就労」「共働き」で、「子ども2人」の世帯では約4割、「子ども3人以上」の世帯では1割強が「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」と回答している。

図表3-86 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ
- 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い
- 無回答

	n=	n= (%)			
TOTAL	1918	52.1	42.4	4.6	1.4
父のみ就労/子ども1人	208	75.5	22.6	0.9	0.9
父のみ就労/子ども2人	175	41.1	52.0	4.0	2.9
父のみ就労/子ども3人以上	52	11.5	71.2	17.3	0.0
母のみ就労/子ども1人	114	68.4	28.9	1.8	0.9
母のみ就労/子ども2人	59	35.6	55.9	6.8	1.7
母のみ就労/子ども3人以上	18	5.6	55.6	38.9	0.0
共働き/子ども1人	443	81.5	17.2	0.9	0.5
共働き/子ども2人	479	43.0	54.3	2.3	0.4
共働き/子ども3人以上	152	13.2	66.4	20.4	0.0
その他/子ども1人	92	39.1	59.8	0.0	1.1
その他/子ども2人	56	26.8	69.6	3.6	0.0
その他/子ども3人以上	32	6.3	75.0	12.5	6.3
誰も働いていない/子ども1人	15	93.3	6.7	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども2人	2	0.0	50.0	50.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	20	55.0	25.0	15.0	5.0

コ 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

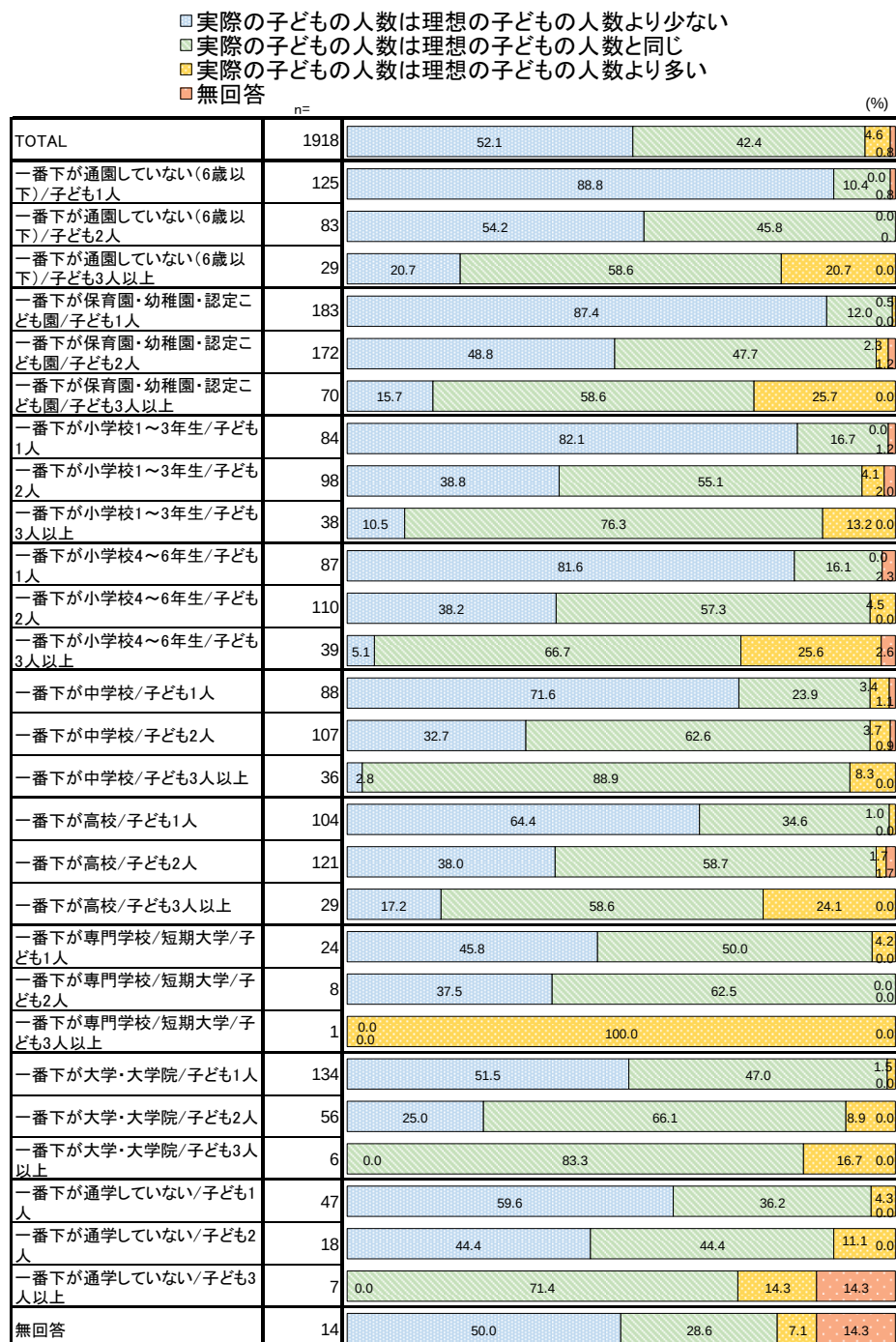
【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生」以下の「子ども1人」の世帯で8～9割近くとなっている。

(イ)「実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」は、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)/子ども2人」と「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人」の世帯でも5割前後と高い。

図表3-87 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数の差

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】



(3) 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

Q14 理想とする子どもの人数を持てていない理由・要因は何ですか。理由・要因として大きい順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

ア 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

(ア) 1番目の理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が30.0%、2番目も「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が21.9%と最も高い。3番目としては、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」が14.3%と最も高くなっている。

(イ) 1～3番目の合計では、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が62.8%と最も高く、次いで「年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある」が37.2%、「今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない」が34.7%となっている。

図表3-88 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない】

- これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している
- 妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)
- 年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある
- 自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい
- パートナーが妊娠・出産を望まない
- 今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない
- 子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない
- 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい
- 働きながら子育てができる職場環境が整っていない
- 子どもをのびのびと育てられる環境ではない
- その他
- 特に理由や要因はない
- 答えたくない

	n=	(%)													
Q14(1) 1位	1000	7.9	8.7	20.2	0.9	2.3	9.6	1.8	30.0	2.8	5.7	1.3	5.1	2.3	1.4
Q14(2) 2位	1000	1.1	4.2	10.0	1.1	1.6	12.8	3.7	21.9	14.9	9.2	2.1	1.6	13.6	2.2
Q14(3) 3位	1000	0.9	1.8	7.2	2.0	1.1	12.3	4.2	10.9	8.7	14.3	4.5	2.3	26.9	2.9

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
合計	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
1位	1000	7.9	8.7	20.2	0.9	2.3	9.6	1.8	30.0	2.8	5.7	1.3	5.1	2.3	1.4
2位	1000	1.1	4.2	10.0	1.1	1.6	12.8	3.7	21.9	14.9	9.2	2.1	1.6	13.6	2.2
3位	1000	0.9	1.8	7.2	2.0	1.1	12.3	4.2	10.9	8.7	14.3	4.5	2.3	26.9	2.9

イ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因【子どもの人数別】

(ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、「子ども1人」(59.8%)、「子ども2人」(67.5%)、「子ども3人以上」(79.3%)と、子どもの人数が増えるにつれて割合が高くなる。

(イ) 全体の上位3項目以外では、子どもの人数にかかわらず、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」が3割近くと高い。

(ウ)「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」は、子どもの人数が増えるにつれて割合が高くなり、「3人以上」の世帯では44.8%となっている。

図表3-89 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【子どもの人数別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
1人	652	12.0	16.9	37.7	3.4	4.0	32.2	10.3	59.8	23.5	29.4	7.5	9.2	2.1	1.7
2人	317	6.3	11.4	36.3	4.7	7.3	40.1	9.5	67.5	30.9	29.0	8.5	7.9	2.5	0.6
3人以上	29	3.4	3.4	34.5	10.3	3.4	31.0	0.0	79.3	44.8	27.6	10.3	17.2	3.4	0.0
無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

ウ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因【家計の状況別】

(ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、家計の状況が「苦しい」世帯が75.8%、「普通」の世帯が54.2%と、5割を超えている。

(イ)「年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある」は、家計の状況に「ゆとりがある」世帯が46.2%と高くなっている。

(ウ) 全体の上位3項目以外で、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」は、家計の状況が「苦しい」世帯が35.1%で他よりも10ポイント以上高い。

図表3-90 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【家計の状況別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
苦しい	450	6.9	10.9	32.9	3.6	4.0	31.1	10.0	75.8	34.0	35.1	9.1	10.7	2.0	1.6
普通	356	12.4	17.7	37.1	4.2	5.6	36.0	11.0	54.2	22.8	24.2	7.6	7.9	2.5	1.4
ゆとりがある	169	13.6	19.5	46.2	4.1	5.9	39.6	7.1	45.0	15.4	24.9	5.3	7.7	3.0	1.2
わからない	13	0.0	7.7	69.2	7.7	15.4	69.2	0.0	53.8	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
答えたくない	6	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	83.3	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
無回答	6	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7	100.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0

エ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因【(回答者の)年代別】

- (ア)「20代」では、「これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している」(44.0%)が他の年代と比べて高い。
- (イ)「30代」、「40代」では、「今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない」が4割弱となっている。

図表3-91 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【(回答者の)年代別(ベース:実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない):クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の負担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
20歳未満	5	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
20代	50	44.0	4.0	2.0	4.0	0.0	24.0	6.0	76.0	48.0	38.0	4.0	4.0	0.0	0.0
30代	322	21.4	15.5	23.0	5.6	2.8	37.9	8.1	66.5	28.9	31.7	7.8	9.9	1.6	1.6
40代	347	1.7	13.5	53.0	4.6	7.2	38.0	10.1	60.2	25.1	25.9	9.5	10.1	0.9	1.2
50代	239	0.0	15.5	38.5	0.8	6.3	28.9	12.6	61.5	23.0	31.0	6.3	7.1	5.0	1.3
60代	28	3.6	28.6	50.0	3.6	0.0	32.1	10.7	42.9	3.6	17.9	10.7	10.7	10.7	3.6
70代	6	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	83.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

オ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因【世帯年収別】

- (ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、世帯年収が低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収「400～599万円」の世帯では7割を超えている。
- (イ) 全体の上位3項目を除くと、「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」は、年収「～399万円以下」と「400～599万円」の世帯で3割以上となっている。

図表3-92 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯年収別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
～399万円以下	148	7.4	10.1	25.0	3.4	3.4	30.4	8.1	66.9	35.1	35.1	10.8	12.2	3.4	2.7
400～599万円	188	9.0	12.2	38.8	3.2	2.1	33.5	9.6	71.8	32.4	34.6	9.6	8.0	1.6	1.6
600～799万円	192	10.9	14.6	37.0	4.2	5.7	36.5	7.3	66.1	25.0	24.0	8.9	9.9	2.1	0.5
800～1,199万円	258	13.6	16.7	41.9	5.0	5.4	36.8	9.3	59.7	24.4	26.4	5.8	6.6	1.9	1.2
1,200万円以上	130	10.0	21.5	41.5	3.1	8.5	35.4	10.8	50.0	21.5	24.6	3.8	8.5	3.1	1.5
収入はない	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	65	3.1	13.8	35.4	6.2	3.1	35.4	18.5	63.1	12.3	35.4	7.7	12.3	3.1	0.0
無回答	15	0.0	6.7	26.7	0.0	6.7	26.7	13.3	33.3	20.0	33.3	13.3	13.3	0.0	6.7

カ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因【世帯の就労状況別】

- (ア) 全体の上位3項目を除くと、「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」が、「父のみ就労」の世帯で31.1%と高い。
- (イ) 「母のみ就労」の世帯では、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」(37.0%)、「子どもをのびのびと育てられる環境ではない」(14.0%)が理由として挙がっている。
- (ウ) 「共働き」の世帯では、「これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している」(12.6%)、「今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない」(37.4%)が他の就労状況と比べると高い。

図表3-93 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因
【世帯の就労状況別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
父のみ就労	235	6.4	15.7	37.4	3.4	4.3	34.5	8.9	71.5	31.1	23.8	10.2	8.9	1.3	1.3
母のみ就労	100	4.0	7.0	30.0	2.0	2.0	29.0	8.0	58.0	19.0	37.0	14.0	17.0	6.0	6.0
共働き	588	12.6	16.5	38.6	5.1	5.3	37.4	10.4	61.1	25.5	29.4	6.3	6.3	1.5	0.7
その他	54	9.3	9.3	35.2	0.0	3.7	27.8	7.4	64.8	27.8	38.9	3.7	16.7	7.4	1.9
誰も働いていない	14	7.1	0.0	28.6	0.0	28.6	7.1	14.3	42.9	35.7	14.3	7.1	28.6	7.1	0.0
無回答	9	0.0	11.1	44.4	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0

キ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

- (ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、一番下の子どもの通園・通学状況で大きな差はみられず、約6割以上が理由に挙げている。
- (イ)「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」の世帯で37.0%と高い。
- (ウ)「これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している」は、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」の世帯で29.0%と高く、「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯で18.0%となっている。
- (エ)「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」「一番下の子どもが小学校1～3年生」の世帯では、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」を3割以上が理由に挙げている。

図表3-94 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【一番下の子どもの通園・通学状況別（ベース：実際の子ども的人数は理想の子ども的人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の負担に耐えられない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
一番下が通園していない(6歳以下)	162	29.0	12.3	26.5	2.5	3.1	36.4	6.8	67.3	37.0	26.5	4.9	6.2	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	256	18.0	14.8	34.4	7.0	4.7	42.2	8.2	63.7	23.8	31.3	8.2	9.8	1.2	0.4
一番下が小学校1～3年生	111	3.6	19.8	48.6	2.7	7.2	35.1	13.5	62.2	29.7	34.2	8.1	10.8	0.9	0.9
一番下が小学校4～6年生	115	1.7	13.0	49.6	5.2	5.2	39.1	9.6	59.1	19.1	27.0	8.7	10.4	1.7	1.7
一番下が中学校	99	0.0	10.1	42.4	3.0	3.0	30.3	8.1	64.6	26.3	28.3	8.1	9.1	4.0	2.0
一番下が高校	118	0.0	19.5	35.6	3.4	7.6	22.0	9.3	61.9	22.0	26.3	9.3	7.6	3.4	2.5
一番下が専門学校/短期大学	14	0.0	21.4	57.1	0.0	7.1	28.6	7.1	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
一番下が大学・大学院	83	0.0	15.7	37.3	1.2	3.6	32.5	10.8	62.7	25.3	27.7	8.4	8.4	6.0	2.4
一番下が通学していない	36	0.0	8.3	19.4	2.8	8.3	19.4	22.2	47.2	27.8	38.9	13.9	13.9	5.6	5.6
無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	50.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7

ク 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯年収/子どもの人数別】

(ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、年収にかかわらず、「子ども1人」の世帯より「子ども2人」の世帯で回答の割合が高い。

(イ) 全体の上位3項目以外では、「子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい」が「～399万円以下/子ども2人」の世帯で40.0%、「400～599万円/子ども2人」の世帯で39.7%と、4割前後となっている。

図表3-95 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯年収/子どもの人数別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どもをのびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
～399万円以下/子ども1人	114	8.8	8.8	25.4	3.5	4.4	31.6	9.6	63.2	33.3	31.6	12.3	11.4	3.5	3.5
～399万円以下/子ども2人	30	3.3	16.7	26.7	0.0	0.0	23.3	3.3	76.7	40.0	43.3	6.7	16.7	3.3	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
400～599万円/子ども1人	126	11.1	15.1	36.5	2.4	0.8	34.1	8.7	71.4	28.6	36.5	8.7	8.7	0.8	2.4
400～599万円/子ども2人	58	5.2	6.9	43.1	3.4	3.4	32.8	12.1	74.1	39.7	32.8	10.3	5.2	3.4	0.0
400～599万円/子ども3人以上	4	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
600～799万円/子ども1人	123	13.8	17.1	41.5	3.3	4.1	29.3	7.3	62.6	23.6	24.4	8.1	11.4	0.8	0.8
600～799万円/子ども2人	63	6.3	11.1	31.7	6.3	9.5	52.4	7.9	71.4	22.2	25.4	9.5	4.8	3.2	0.0
600～799万円/子ども3人以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	83.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
800～1,199万円/子ども1人	159	15.1	16.4	45.9	5.0	3.8	34.0	11.3	57.2	20.1	28.3	3.8	5.7	1.9	1.3
800～1,199万円/子ども2人	94	10.6	17.0	35.1	5.3	8.5	42.6	6.4	62.8	29.8	23.4	9.6	7.4	2.1	1.1
800～1,199万円/子ども3人以上	5	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	74	14.9	32.4	36.5	0.0	5.4	31.1	12.2	41.9	16.2	20.3	4.1	8.1	5.4	1.4
1,200万円以上/子ども2人	49	4.1	8.2	44.9	6.1	14.3	40.8	10.2	57.1	30.6	30.6	4.1	8.2	0.0	2.0
1,200万円以上/子ども3人以上	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0	83.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
収入はない/子ども1人	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	44	4.5	20.5	34.1	6.8	4.5	34.1	18.2	59.1	9.1	34.1	6.8	13.6	2.3	0.0
答えたくない/子ども2人	18	0.0	0.0	33.3	5.6	0.0	33.3	22.2	66.7	22.2	33.3	11.1	11.1	5.6	0.0
答えたくない/子ども3人以上	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16	0.0	6.3	31.3	0.0	6.3	31.3	12.5	37.5	18.8	31.3	12.5	12.5	0.0	6.3

ケ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「共働き/子ども1人」の世帯では、「これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している」(16.3%)が高い。

(イ)「父のみ就労/子ども2人」「母のみ就労/子ども2人」「共働き/子ども2人」の世帯の約4割が「今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない」を理由に挙げている。

(ウ)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、「父のみ就労」で「子ども1人」「子ども2人」の世帯と、「母のみ就労/子ども2人」の世帯で7割を超えている。また、「共働き/子ども3人以上」の世帯でも85.0%と高い。

図表3-96 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【世帯の就労状況/子どもの人数別（ベース：実際の子ども的人数は理想の子ども的人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠しにくい(健康上の理由や不妊・不育など)	年齢的に妊娠・出産することにはリスクがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の負担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どものびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
父のみ就労/子ども1人	157	5.7	20.4	40.1	3.8	3.2	31.8	8.9	71.3	27.4	23.6	8.9	8.3	1.3	1.3
父のみ就労/子ども2人	72	8.3	6.9	30.6	1.4	6.9	41.7	9.7	73.6	37.5	25.0	11.1	8.3	1.4	1.4
父のみ就労/子ども3人以上	6	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	50.0	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0
母のみ就労/子ども1人	78	5.1	5.1	28.2	2.6	2.6	25.6	9.0	53.8	20.5	37.2	12.8	17.9	6.4	7.7
母のみ就労/子ども2人	21	0.0	14.3	38.1	0.0	0.0	42.9	4.8	71.4	9.5	33.3	19.0	14.3	4.8	0.0
母のみ就労/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き/子ども1人	361	16.3	19.1	38.8	3.9	3.3	35.5	11.4	57.3	22.2	28.8	6.1	6.4	1.1	0.8
共働き/子ども2人	206	6.8	13.1	38.8	6.8	8.7	40.8	9.7	65.0	30.1	30.6	6.8	5.8	1.9	0.5
共働き/子ども3人以上	20	5.0	5.0	30.0	10.0	5.0	35.0	0.0	85.0	40.0	30.0	5.0	10.0	5.0	0.0
その他/子ども1人	36	13.9	11.1	38.9	0.0	5.6	27.8	8.3	63.9	22.2	50.0	2.8	13.9	5.6	0.0
その他/子ども2人	15	0.0	6.7	26.7	0.0	0.0	26.7	6.7	66.7	40.0	20.0	6.7	20.0	13.3	0.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども1人	14	7.1	0.0	28.6	0.0	28.6	7.1	14.3	42.9	35.7	14.3	7.1	28.6	7.1	0.0
誰も働いていない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	11	0.0	9.1	45.5	0.0	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2	27.3	9.1	18.2	0.0	9.1

コ 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「子育てや教育にお金がかかりすぎる」は、「一番下の子どもが中学校/子ども2人」の世帯が74.3%、「一番下の子どもが高校/子ども2人」の世帯が78.3%と高い。

(イ) 全体の上位3項目以外では、「これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している」は、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)/子ども1人」の世帯が35.1%、「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人」の世帯で22.5%と高い。

図表3-97 理想とする子どもの人数が持てていない理由・要因

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別（ベース：実際の子どもの人数は理想の子ども的人数より少ない）：クロス集計】

	n=	これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している	妊娠を希望しているが妊娠していない	年齢的に妊娠・出産することになりそうがある	自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい	パートナーが妊娠・出産を望まない	今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家に住むことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	子どものびのびと育てられる環境ではない	その他	特に理由や要因はない	答えたくない
TOTAL	1000	9.9	14.7	37.2	4.0	5.0	34.7	9.7	62.8	26.4	29.2	7.9	9.0	2.3	1.4
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	111	35.1	14.4	28.8	2.7	0.0	31.5	6.3	68.5	33.3	23.4	5.4	7.2	0.0	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	45	17.8	8.9	22.2	2.2	11.1	46.7	8.9	60.0	42.2	35.6	4.4	2.2	0.0	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	160	22.5	16.3	34.4	5.6	3.1	39.4	10.0	62.5	21.3	32.5	8.1	8.8	0.6	0.6
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	84	11.9	14.3	33.3	8.3	7.1	48.8	6.0	63.1	26.2	31.0	8.3	9.5	2.4	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	11	0.0	0.0	36.4	18.2	9.1	27.3	0.0	81.8	45.5	18.2	9.1	27.3	0.0	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	69	4.3	24.6	49.3	4.3	5.8	36.2	11.6	56.5	29.0	34.8	10.1	8.7	0.0	1.4
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	38	2.6	13.2	47.4	0.0	10.5	34.2	18.4	68.4	31.6	26.3	5.3	15.8	2.6	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	71	0.0	16.9	50.7	2.8	7.0	36.6	8.5	54.9	14.1	29.6	8.5	12.7	1.4	2.8
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	42	2.4	4.8	45.2	9.5	2.4	42.9	11.9	66.7	28.6	23.8	9.5	7.1	2.4	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	2	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども1人	63	0.0	9.5	41.3	3.2	1.6	28.6	7.9	58.7	22.2	34.9	4.8	7.9	6.3	3.2
一番下が中学校/子ども2人	35	0.0	11.4	45.7	2.9	5.7	34.3	8.6	74.3	31.4	17.1	14.3	8.6	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
一番下が高校/子ども1人	67	0.0	25.4	40.3	3.0	7.5	19.4	10.4	52.2	19.4	20.9	10.4	9.0	1.5	1.5
一番下が高校/子ども2人	46	0.0	13.0	30.4	2.2	8.7	26.1	8.7	78.3	23.9	34.8	4.3	6.5	4.3	4.3
一番下が高校/子ども3人以上	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	11	0.0	27.3	63.6	0.0	9.1	36.4	9.1	72.7	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	69	0.0	15.9	36.2	1.4	4.3	30.4	13.0	59.4	23.2	27.5	7.2	10.1	5.8	2.9
一番下が大学・大学院/子ども2人	14	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	42.9	0.0	78.6	35.7	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	28	0.0	7.1	14.3	0.0	7.1	14.3	25.0	46.4	25.0	42.9	7.1	14.3	7.1	7.1
一番下が通学していない/子ども2人	8	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	50.0	37.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	28.6	57.1	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3

9 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因

(1) 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因

Q15 あなたはなぜ、日本の出生率が伸び悩んでいると思いますか。原因として大きいと思う順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

ア 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因

(ア) 1番目の原因としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が29.0%、2番目も「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が19.0%と最も高い。3番目としては、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」が15.5%と最も高くなっている。

(イ) 1～3番目の合計では、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も高く62.8%、次いで「子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい」が36.7%、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」が34.6%となっている。

図表3-98 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因

- 結婚相手に巡り会えない人が増えた
- 結婚する時期が遅くなっている人が増えた
- 自分だけ(パートナーと二人だけ)の時間・生活を大切にする人が増えた
- 子どもを持つ必要性を感じない人が増えた
- 子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい
- 子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない
- 親族や知人らに子育てなどの手助けをお願いできる環境にない
- 子育てに関する不安や悩みを相談できる相手がいない
- 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい
- 働きながら子育てができる職場環境が整っていない
- その他
- わからない
- 無回答

n=		(%)													
Q15(1) 1位	1918	9.5	11.7	13.9	7.8	10.9	1.4	0.2	29.0	1.4	5.9	6.2	0.3	0.9	0.9
Q15(2) 2位	1918	5.1	12.3	8.8	9.4	13.8	3.7	4.3	0.3	19.0	5.3	13.1	1.4	2.0	1.6
Q15(3) 3位	1918	5.7	8.3	8.6	9.7	11.9	3.1	6.7	0.5	14.8	4.8	15.5	2.6	2.8	4.8

n=		結婚相手に巡り会えない人が増えた	結婚する時期が遅くなっている人が増えた	自分だけ(パートナーと二人だけ)の時間・生活を大切にする人が増えた	子どもを持つ必要性を感じない人が増えた	子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	親族や知人らに子育てなどの手助けをお願いできる環境にない	子育てに関する不安や悩みを相談できる相手がいない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	その他	わからない	無回答
合計	1918	20.3	32.3	31.2	26.9	36.7	8.2	11.9	1.0	62.8	11.6	34.6	10.1	0.9	0.3
1位	1918	9.5	11.7	13.9	7.8	10.9	1.4	0.9	0.2	29.0	1.4	5.9	6.2	0.9	0.3
2位	1918	5.1	12.3	8.8	9.4	13.8	3.7	4.3	0.3	19.0	5.3	13.1	1.4	1.6	2.0
3位	1918	5.7	8.3	8.6	9.7	11.9	3.1	6.7	0.5	14.8	4.8	15.5	2.6	2.8	4.8

イ 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因【(回答者の)年代別】

(ア)「20代」では「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が70.1%と最も高く、「働きながら子育てができる職場環境が整っていない」が32.8%と続く。

(イ)「30代」、「40代」では、「子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい」(42.6%、36.2%)と高い。

(ウ) 全体の上位3項目以外では、「20代」で「自分だけ(パートナーと二人だけ)の時間・生活を大切にすることが増えた」(29.9%)、「30代」で「子どもを持つ必要性を感じない人が増えた」(32.1%)、「40代」で「結婚する時期が遅くなっている人が増えた」(34.5%)が高い。

図表3-99 日本の出生率が伸び悩んでいると思う原因

【(回答者の)年代別：クロス集計】

	n=	結婚相手に巡り会えない人が増えた	結婚する時期が遅くなっている人が増えた	自分だけ(パートナーと二人だけ)の時間・生活を大切にすることが増えた	子どもを持つ必要性を感じない人が増えた	子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい	子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない	親族や知人らに子育てなどの手助けをお願いできる環境がない	子育てに関する不安や悩みを相談できる相手がいない	子育てや教育にお金がかかりすぎる	子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい	働きながら子育てができる職場環境が整っていない	その他	わからない	無回答
TOTAL	1918	20.3	32.3	31.2	26.9	36.7	8.2	11.9	1.0	62.8	11.6	34.6	10.1	0.9	0.3
20歳未満	9	33.3	55.6	22.2	22.2	33.3	0.0	22.2	0.0	55.6	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0
20代	67	11.9	26.9	29.9	20.9	29.9	10.4	13.4	4.5	70.1	22.4	32.8	14.9	0.0	0.0
30代	498	14.3	23.9	27.5	32.1	42.6	8.8	13.5	0.4	64.7	12.9	39.8	10.4	0.4	0.0
40代	727	17.6	34.5	33.1	26.4	36.2	8.0	12.4	0.8	61.6	10.2	34.9	11.3	1.5	0.1
50代	539	28.9	36.9	33.6	24.3	33.0	8.7	9.8	1.3	61.8	9.1	30.8	8.0	0.7	0.4
60代	62	33.9	37.1	21.0	27.4	37.1	3.2	9.7	1.6	64.5	22.6	27.4	4.8	1.6	0.0
70代	12	25.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	50.0	50.0	25.0	8.3	0.0	16.7
80歳以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

10 習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験

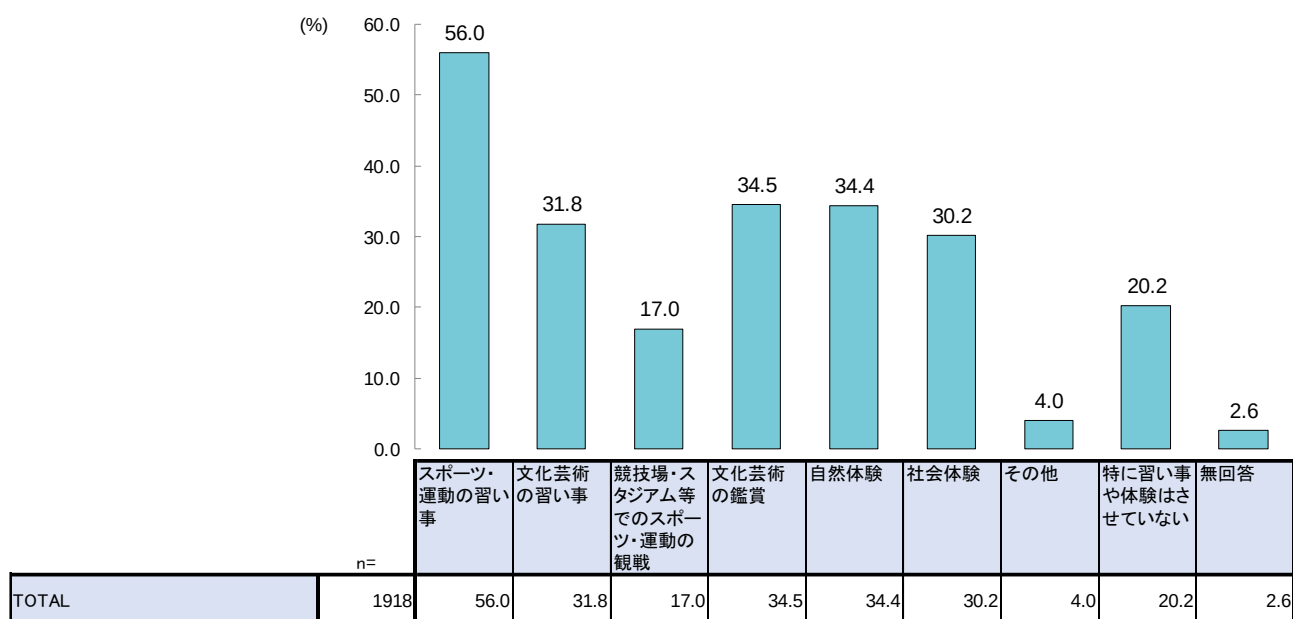
（1）現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

Q16 現在もしくは直近1年間に、学校や部活動以外でお子様にさせている・させた習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験のジャンルをお選びください。（複数回答）

ア 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

「スポーツ・運動の習い事」が56.0%と最も高く、「文化芸術の鑑賞」34.5%、「自然体験」34.4%が続く。

図表3-100 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験



※ グラフ・数表では、次の選択肢の（ ）内を省略して表示。

スポーツ・運動の習い事（水泳、球技、体操教室、陸上競技、乗馬、空手、剣道、ダンス、バレエ、ボルダリングなど）

文化芸術の習い事（ピアノ、ヴァイオリン、合唱、演劇・ミュージカル、アート、外国語、書道、囲碁・将棋・チェス、そろばん、ロボット教室・プログラミング、和太鼓など）

文化芸術の鑑賞（音楽鑑賞・演劇や舞台鑑賞、動物園・水族館見学、博物館・美術館見学、留学・ホームステイ、異文化交流会への参加など）

自然体験（キャンプ・アウトドア、登山・ハイキング、川遊び・釣り、海水浴、サーフィン・スキューバダイビング、スキー・スケートなど）

社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア活動、地域行事・お祭り・イベントの参加、山村留学、ワークショップなど）

イ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【子どもの人数別】

(ア) 子どもの人数が「2人」または「3人以上」の世帯で、「スポーツ・運動の習い事」が6割以上と高い。

(イ) 子どもの人数が「1人」の世帯では、「特に習い事や体験はさせていない」が26.0%と高い。

図表3-101 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
1人	880	46.4	28.4	13.5	33.4	30.8	28.3	5.1	26.0	2.6
2人	779	62.6	33.2	20.0	36.5	37.1	31.8	3.5	16.4	1.9
3人以上	255	69.4	38.8	20.4	32.9	38.4	31.8	2.0	11.8	3.9
無回答	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0

ウ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験【家計の状況別】

(ア) 家計の状況が「苦しい」世帯では、いずれの項目でも全体を下回っている。

(イ) 家計の状況に「ゆとりがある」世帯では、「文化芸術の習い事」(38.7%)、「社会体験」(37.3%)が他の家計の状況よりも5ポイント以上高く、「競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦」(24.3%)は8.5ポイント以上高い。

図表3-102 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【家計の状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
苦しい	826	53.4	28.5	15.5	30.9	31.5	28.1	3.9	21.4	2.8
普通	746	58.6	32.0	15.7	35.3	34.3	28.8	3.9	19.8	2.8
ゆとりがある	300	55.3	38.7	24.3	40.7	40.7	37.3	4.3	18.7	2.0
わからない	23	73.9	43.5	26.1	43.5	43.5	47.8	8.7	13.0	0.0
答えたくない	12	58.3	33.3	8.3	41.7	33.3	33.3	8.3	16.7	0.0
無回答	11	63.6	45.5	18.2	63.6	63.6	45.5	0.0	9.1	0.0

エ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験【家族構成別】

「父子家庭」では、「自然体験」を除くと、他の家族構成と比べて習い事や体験が低い傾向にあり、「特に習い事や体験はさせていない」が27.1%となっている。

図表3-103 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【家族構成別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
母子家庭	192	45.8	20.8	16.7	28.1	28.6	28.1	3.1	24.5	2.6
父子家庭	48	41.7	14.6	10.4	18.8	33.3	20.8	0.0	27.1	10.4
夫婦と子ども	1485	58.9	33.9	17.5	36.3	35.1	30.5	4.1	19.3	2.3
三世帯同居	167	49.1	32.3	18.0	33.5	36.5	32.9	6.0	19.2	3.6
その他	21	33.3	9.5	0.0	14.3	19.0	33.3	0.0	33.3	0.0
無回答	5	60.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0

オ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験【世帯年収別】

世帯年収別にみると、「～399万円以下」の世帯は、いずれの項目でも習い事や体験の割合が低く、「特に習い事や体験はさせていない」も25.1%と高い。

図表3-104 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯年収別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
～399万円以下	275	46.5	22.9	8.7	23.6	24.4	25.1	2.5	25.1	4.0
400～599万円	347	55.3	25.6	15.6	35.2	34.3	30.0	3.5	21.6	2.9
600～799万円	378	59.5	33.9	20.4	34.7	33.1	30.7	4.5	19.6	2.4
800～1,199万円	490	59.8	35.3	19.2	37.8	35.9	30.6	3.7	18.8	1.6
1,200万円以上	255	56.9	37.3	19.6	37.3	38.4	31.4	6.3	18.0	2.4
収入はない	7	42.9	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0
答えたくない	140	55.0	37.9	18.6	39.3	43.6	35.7	2.9	18.6	2.1
無回答	26	46.2	26.9	7.7	30.8	38.5	34.6	7.7	7.7	11.5

カ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯の就労状況別】

「母のみ就労」の世帯では、他の世帯の就労状況と比べると、習い事や体験が低い傾向にあり、特に、「スポーツ・運動の習い事」は44.5%と低い。

図表3-105 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	競技場・ス タジアム等 でのスポー ツ・運動の 観戦	文化芸術 の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事 や体験はさ せていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
父のみ就労	435	58.6	31.3	15.9	33.8	32.9	26.2	3.0	20.9	3.4
母のみ就労	191	44.5	23.6	13.6	29.3	27.7	25.7	3.1	25.1	1.6
共働き	1077	60.6	34.3	19.0	37.0	37.3	32.4	4.5	17.5	2.3
その他	181	36.5	28.2	13.8	27.6	28.2	32.6	3.9	29.3	3.3
誰も働いていない	18	55.6	16.7	0.0	22.2	22.2	16.7	5.6	27.8	5.6
無回答	16	37.5	31.3	12.5	37.5	37.5	31.3	6.3	6.3	0.0

キ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

(ア)「一番下の子どもが小学校1～3年生」の世帯が、他の通園・通学状況別と比べて、どの項目も高くなっている。

(イ)「特に習い事や体験はさせていない」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生」の世帯では4.5%、「一番下の子どもが小学校4～6年生」の世帯では7.6%と低い。

図表3-106 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
一番下が通園していない(6歳以下)	237	56.5	29.1	12.7	35.4	34.6	25.7	4.6	27.8	3.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	68.1	34.9	15.2	40.5	38.9	34.0	2.6	15.9	1.9
一番下が小学校1～3年生	220	84.1	51.8	25.9	45.9	53.6	42.7	4.5	4.5	1.8
一番下が小学校4～6年生	236	73.7	45.3	19.5	42.8	41.5	34.3	4.2	7.6	1.3
一番下が中学校	231	46.8	28.1	19.0	26.0	29.0	22.9	3.0	24.2	1.7
一番下が高校	254	36.2	19.7	16.9	21.7	22.4	25.2	3.9	26.4	5.1
一番下が専門学校/短期大学	33	39.4	12.1	15.2	30.3	27.3	36.4	6.1	30.3	6.1
一番下が大学・大学院	196	28.1	21.4	15.3	29.6	20.4	28.1	6.1	28.6	2.6
一番下が通学していない	72	26.4	9.7	8.3	23.6	23.6	15.3	4.2	47.2	2.8
無回答	12	33.3	16.7	8.3	25.0	41.7	25.0	8.3	16.7	16.7

ク 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【家族構成/子どもの人数別】

(ア)「スポーツ・運動の習い事」は、子どもの人数が増えるにつれて、子どものうち誰かしらが体験しており、家族構成による大きな差はみられない。

(イ)「特に習い事や体験はさせていない」は、「父子家庭/子ども1人」の世帯で39.1%と高い。

図表3-107 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
母子家庭/子ども1人	105	38.1	21.0	13.3	29.5	26.7	30.5	3.8	24.8	2.9
母子家庭/子ども2人	67	52.2	19.4	19.4	22.4	26.9	25.4	3.0	26.9	3.0
母子家庭/子ども3人以上	20	65.0	25.0	25.0	40.0	45.0	25.0	0.0	15.0	0.0
父子家庭/子ども1人	23	30.4	13.0	8.7	4.3	34.8	13.0	0.0	39.1	8.7
父子家庭/子ども2人	18	50.0	11.1	11.1	27.8	27.8	16.7	0.0	22.2	11.1
父子家庭/子ども3人以上	7	57.1	28.6	14.3	42.9	42.9	57.1	0.0	0.0	14.3
夫婦と子ども1人	658	49.7	30.2	14.1	36.0	31.9	28.9	5.3	25.7	2.1
夫婦と子ども2人	624	65.1	35.3	21.0	38.0	38.3	32.7	3.5	15.4	1.4
夫婦と子ども3人以上	200	70.5	42.5	18.0	32.5	36.0	29.5	2.0	10.5	4.5
三世代同居/子ども1人	77	36.4	29.9	13.0	28.6	26.0	23.4	7.8	26.0	5.2
三世代同居/子ども2人	63	54.0	36.5	15.9	41.3	41.3	36.5	4.8	12.7	3.2
三世代同居/子ども3人以上	26	73.1	26.9	38.5	30.8	53.8	50.0	3.8	15.4	0.0
その他/子ども1人	14	28.6	14.3	0.0	14.3	21.4	42.9	0.0	28.6	0.0
その他/子ども2人	5	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	9	55.6	33.3	0.0	11.1	33.3	11.1	0.0	22.2	22.2

ケ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯年収/子どもの人数別】

(ア) 年収「～399万円以下」の世帯では、「子ども3人以上」の「スポーツ・運動の習い事」「文化芸術の習い事」以外は、子どもの人数にかかわらず、全体と比べると低い。

(イ) 「400～599万円/子ども3人以上」の世帯では、全体と比べると「競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦」「文化芸術の鑑賞」「社会体験」が約5ポイント以上低くなっている。

図表3-108 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
～399万円以下/子ども1人	159	40.9	22.0	9.4	26.4	21.4	27.0	3.8	27.0	5.7
～399万円以下/子ども2人	86	52.3	18.6	7.0	18.6	27.9	20.9	1.2	24.4	1.2
～399万円以下/子ども3人以上	30	60.0	40.0	10.0	23.3	30.0	26.7	0.0	16.7	3.3
400～599万円/子ども1人	173	50.9	27.2	12.1	34.7	33.5	27.7	5.2	27.7	1.2
400～599万円/子ども2人	136	55.9	24.3	22.1	37.5	34.6	34.6	1.5	17.6	4.4
400～599万円/子ども3人以上	37	73.0	24.3	8.1	29.7	37.8	24.3	2.7	8.1	5.4
600～799万円/子ども1人	166	48.2	33.1	19.3	34.3	32.5	30.7	4.2	26.5	2.4
600～799万円/子ども2人	157	68.2	34.4	19.7	36.3	33.1	28.7	4.5	14.6	1.9
600～799万円/子ども3人以上	55	69.1	34.5	25.5	30.9	34.5	36.4	5.5	12.7	3.6
800～1,199万円/子ども1人	208	50.5	30.3	16.3	38.5	34.1	28.4	4.3	22.6	1.0
800～1,199万円/子ども2人	211	65.4	37.4	20.9	40.3	36.5	32.7	3.8	17.1	1.4
800～1,199万円/子ども3人以上	71	70.4	43.7	22.5	28.2	39.4	31.0	1.4	12.7	4.2
1,200万円以上/子ども1人	97	41.2	27.8	10.3	34.0	29.9	26.8	10.3	27.8	2.1
1,200万円以上/子ども2人	123	63.4	41.5	25.2	38.2	45.5	34.1	4.9	12.2	1.6
1,200万円以上/子ども3人以上	34	79.4	50.0	26.5	44.1	38.2	35.3	0.0	11.8	2.9
収入はない/子ども1人	7	42.9	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	40.0	31.7	11.7	26.7	31.7	28.3	3.3	28.3	3.3
答えたくない/子ども2人	54	70.4	42.6	22.2	48.1	51.9	44.4	3.7	13.0	0.0
答えたくない/子ども3人以上	26	57.7	42.3	26.9	50.0	53.8	34.6	0.0	7.7	3.8
無回答	28	46.4	25.0	7.1	28.6	35.7	32.1	7.1	7.1	14.3

コ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「父のみ就労」「共働き」の世帯では、「子ども3人以上」の「スポーツ・運動の習い事」が7割以上であり、子どものうち誰かしらが体験している割合が高い。

(イ)「文化芸術の習い事」でも、「父のみ就労」「共働き」の「子ども3人以上」の世帯で4割以上と、高くなっている。

(ウ)「文化芸術の鑑賞」は、「母のみ就労」の「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯では2割台にとどまっており、「父のみ就労」「共働き」で同じ子どもの人数の世帯と比較すると、「子ども2人」「子ども3人以上」のいずれも10ポイント以上低くなっている。

図表3-109 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
父のみ就労/子ども1人	208	45.2	27.9	13.5	29.3	28.8	23.6	3.8	28.4	3.8
父のみ就労/子ども2人	175	69.1	32.6	17.1	38.3	37.1	28.0	1.7	14.9	2.9
父のみ就労/子ども3人以上	52	76.9	40.4	21.2	36.5	34.6	30.8	3.8	11.5	3.8
母のみ就労/子ども1人	114	40.4	24.6	13.2	34.2	27.2	27.2	4.4	25.4	1.8
母のみ就労/子ども2人	59	45.8	20.3	15.3	22.0	28.8	27.1	1.7	27.1	1.7
母のみ就労/子ども3人以上	18	66.7	27.8	11.1	22.2	27.8	11.1	0.0	16.7	0.0
共働き/子ども1人	443	51.7	29.8	15.1	36.3	33.6	30.7	5.6	24.4	1.8
共働き/子ども2人	479	65.1	36.1	22.1	39.5	39.7	34.0	4.4	14.6	1.7
共働き/子ども3人以上	152	73.0	42.1	21.1	32.2	41.4	32.9	2.0	7.2	4.6
その他/子ども1人	92	31.5	28.3	8.7	27.2	26.1	29.3	6.5	30.4	4.3
その他/子ども2人	56	41.1	26.8	17.9	25.0	26.8	33.9	1.8	26.8	1.8
その他/子ども3人以上	32	40.6	28.1	21.9	34.4	34.4	37.5	0.0	31.3	3.1
誰も働いていない/子ども1人	15	46.7	20.0	0.0	20.0	20.0	13.3	6.7	33.3	6.7
誰も働いていない/子ども2人	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	20	40.0	30.0	10.0	30.0	35.0	30.0	5.0	5.0	10.0

サ 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「スポーツ・運動の習い事」では、「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」で「子どもが1人」の世帯では53.6%、「子どもが2人」の世帯では76.2%、「子どもが3人以上」の世帯では87.1%と、子どもが多い世帯ほど、子どものうち誰かしらが習い事に通っている割合が高くなる。

(イ)「一番下の子どもが中学校」以上の世帯になると、子どもの人数にかかわらず、「特に習い事や体験はさせていない」が2割以上となっている。

図表3-110 現在させている、もしくは直近1年間にさせた習い事や体験

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	56.0	31.8	17.0	34.5	34.4	30.2	4.0	20.2	2.6
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	44.0	23.2	15.2	29.6	29.6	22.4	5.6	39.2	3.2
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	67.5	31.3	9.6	42.2	38.6	27.7	3.6	16.9	2.4
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	79.3	48.3	10.3	41.4	44.8	34.5	3.4	10.3	3.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	53.6	28.4	12.0	35.5	32.2	30.6	3.8	26.8	1.6
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	76.2	41.3	15.7	47.7	45.9	37.2	1.7	9.9	1.2
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	87.1	37.1	22.9	37.1	40.0	35.7	1.4	2.9	2.9
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	81.0	52.4	16.7	52.4	47.6	41.7	7.1	7.1	1.2
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	88.8	51.0	30.6	42.9	58.2	43.9	4.1	3.1	2.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	78.9	52.6	34.2	39.5	55.3	42.1	0.0	2.6	2.6
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	71.3	42.5	17.2	41.4	40.2	39.1	4.6	10.3	1.1
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	74.5	45.5	20.9	42.7	41.8	33.6	3.6	5.5	0.9
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	76.9	51.3	20.5	46.2	43.6	25.6	5.1	7.7	2.6
一番下が中学校/子ども1人	88	37.5	25.0	13.6	31.8	34.1	17.0	4.5	26.1	2.3
一番下が中学校/子ども2人	107	51.4	29.9	23.4	24.3	24.3	26.2	2.8	22.4	1.9
一番下が中学校/子ども3人以上	36	55.6	30.6	19.4	16.7	30.6	27.8	0.0	25.0	0.0
一番下が高校/子ども1人	104	33.7	25.0	10.6	21.2	24.0	24.0	2.9	28.8	3.8
一番下が高校/子ども2人	121	41.3	14.9	22.3	23.1	23.1	28.1	5.0	25.6	4.1
一番下が高校/子ども3人以上	29	24.1	20.7	17.2	17.2	13.8	17.2	3.4	20.7	13.8
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	37.5	16.7	16.7	37.5	33.3	45.8	8.3	29.2	4.2
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	50.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	27.6	22.4	14.2	30.6	20.9	30.6	6.0	23.1	3.7
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	26.8	19.6	19.6	28.6	19.6	21.4	7.1	39.3	0.0
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	23.4	12.8	6.4	23.4	17.0	6.4	6.4	51.1	4.3
一番下が通学していない/子ども2人	18	27.8	0.0	16.7	27.8	33.3	27.8	0.0	38.9	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	42.9	14.3	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	42.9	0.0
無回答	14	35.7	14.3	7.1	21.4	35.7	21.4	7.1	14.3	21.4

(2) できればさせてみたい習い事や体験

Q17 現在お子様にさせられていないが、できればさせてみたいと考えている習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験の具体的な内容について、重視する順番に最大 3 個まで回答欄にご記入ください。

ア できればさせてみたい習い事や体験

できればさせてみたい習い事や体験は、「留学・ホームステイ」が26.3%と最も高く、次いで「外国語」(23.3%)、「水泳」(21.4%)、「ピアノ」(18.5%)となっている。

図表 3-111 できればさせてみたい習い事や体験

スポーツ・運動の習い事（水泳、球技、体操教室、陸上競技、乗馬、空手、剣道、ダンス、バレエ、ボルダリングなど）

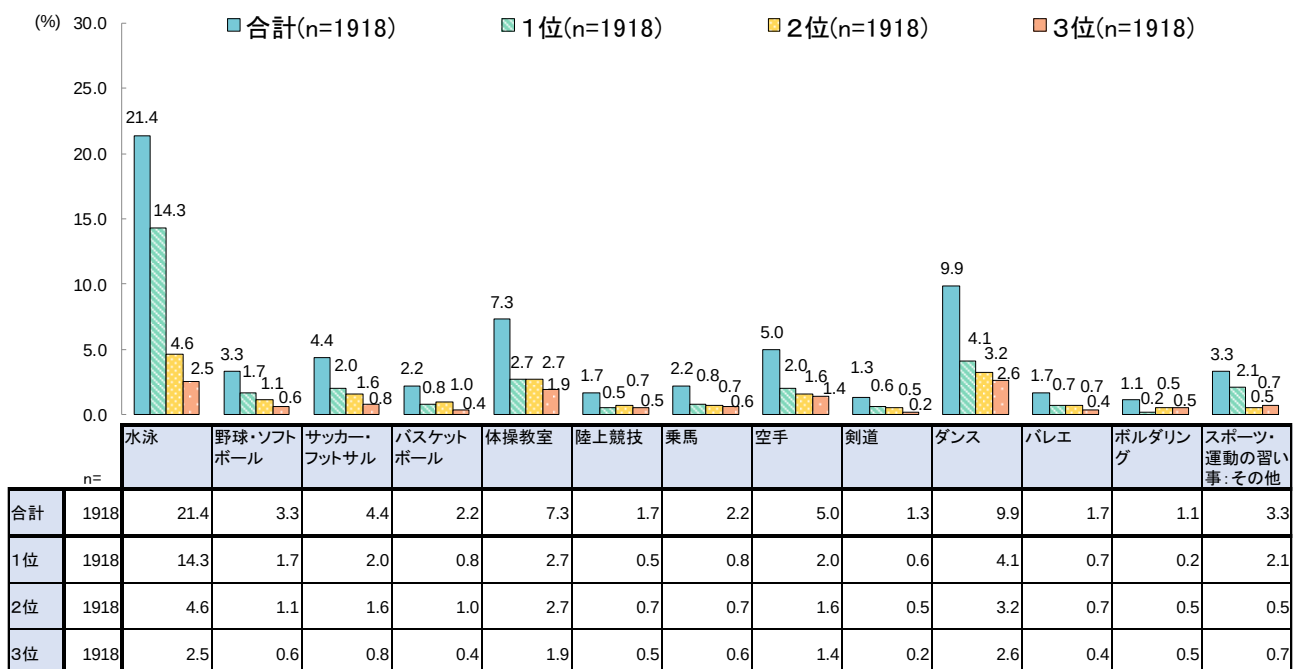
文化芸術の習い事（ピアノ、ヴァイオリン、合唱、演劇・ミュージカル、アート、外国語、書道、囲碁・将棋・チェス、そろばん、ロボット教室・プログラミング、和太鼓など）

文化的な体験（球技場等でのスポーツ観戦、音楽鑑賞・演劇や舞台鑑賞、動物園・水族館見学、博物館・美術館見学、留学・ホームステイ、異文化交流会への参加など）

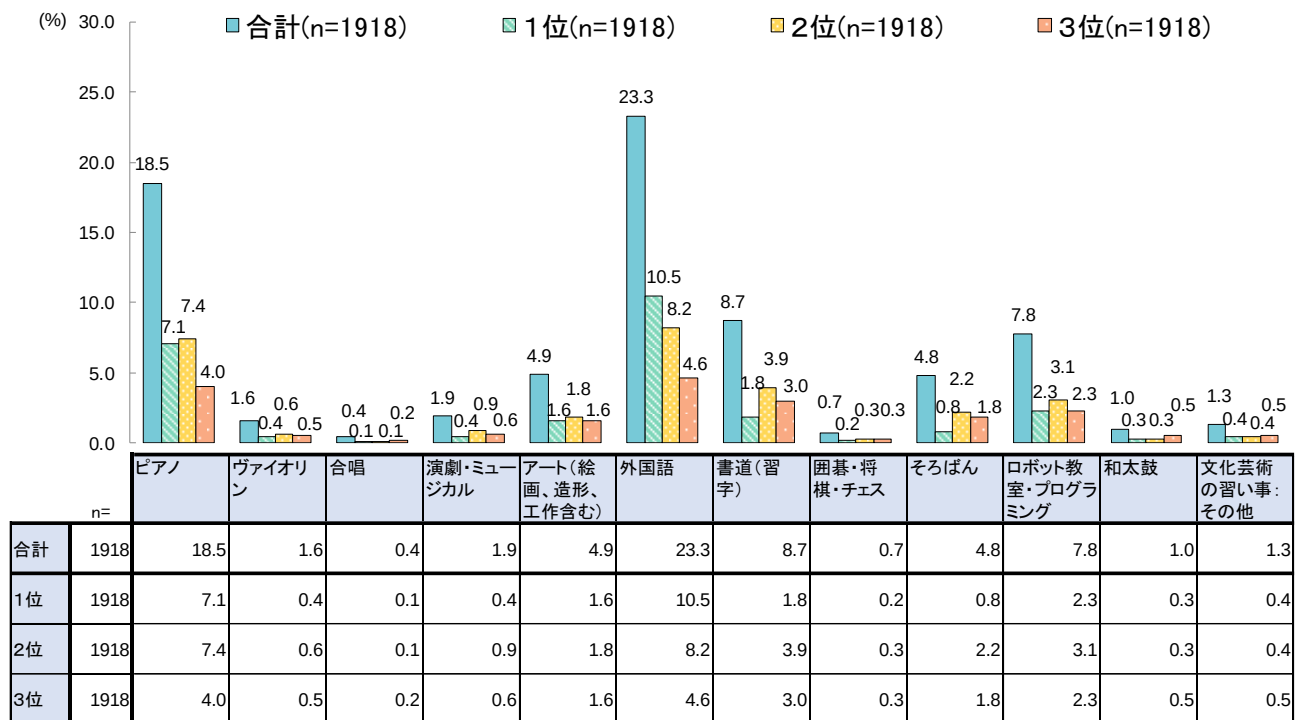
自然体験（キャンプ・アウトドア、登山・ハイキング、川遊び・釣り、海水浴、サーフィン・スキューバダイビング、スキー・スケートなど）

社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア活動、地域行事・お祭り・イベントの参加、山村留学、ワークショップなど）

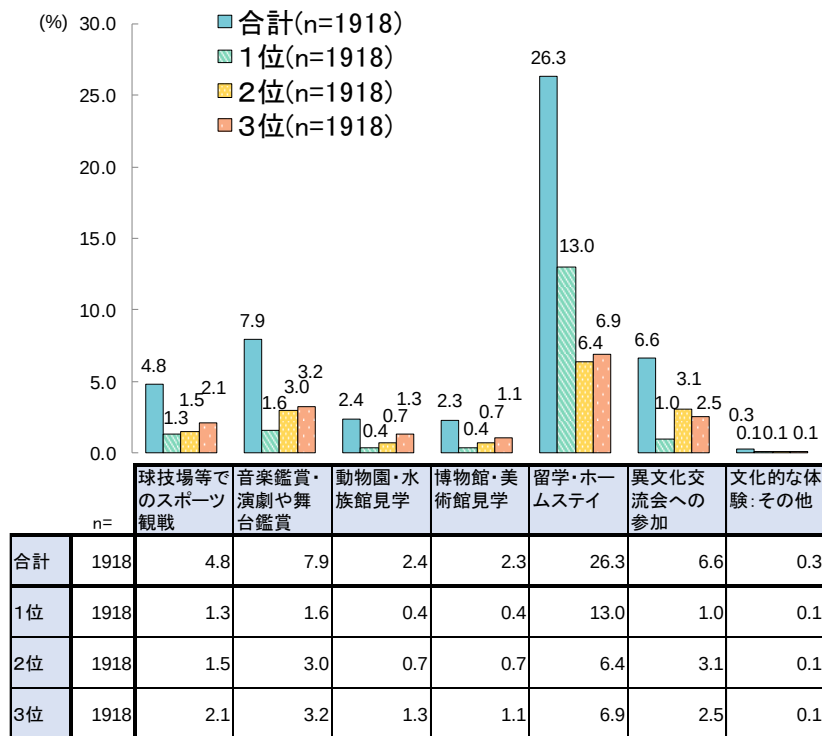
(ア) スポーツ・運動の習い事



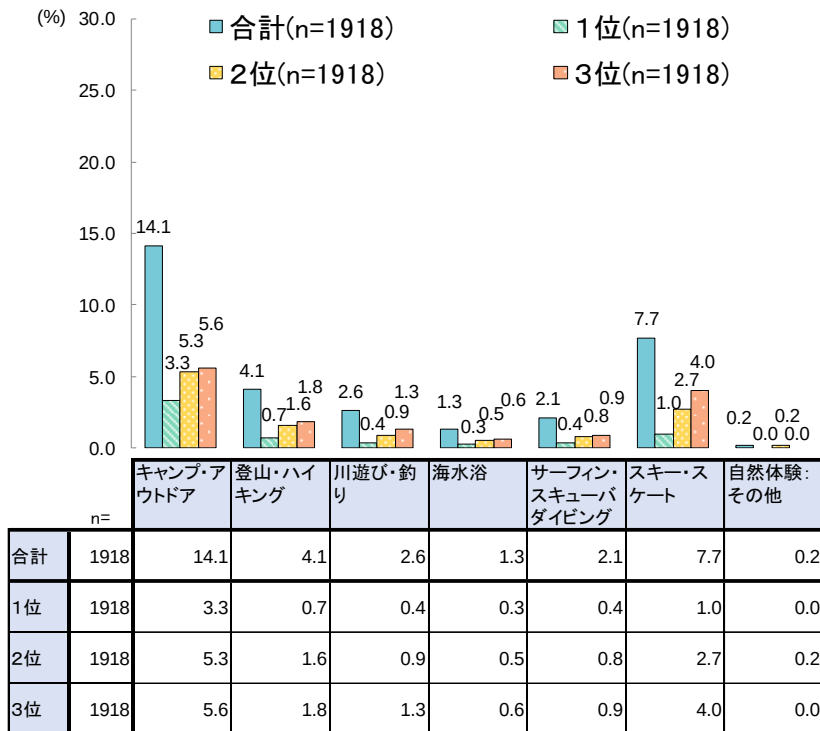
(イ) 文化芸術の習い事



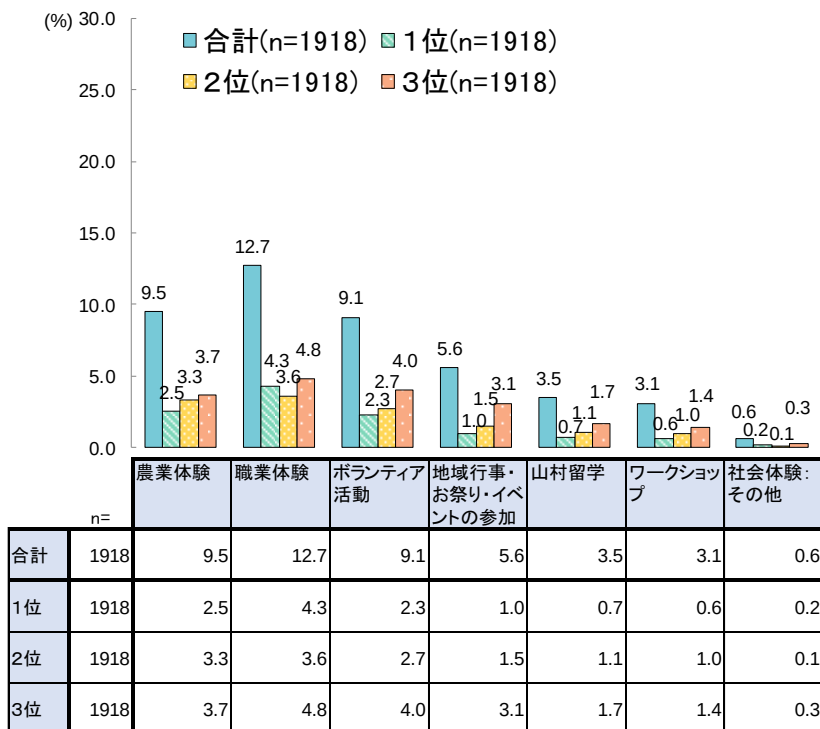
(ウ) 文化的な体験



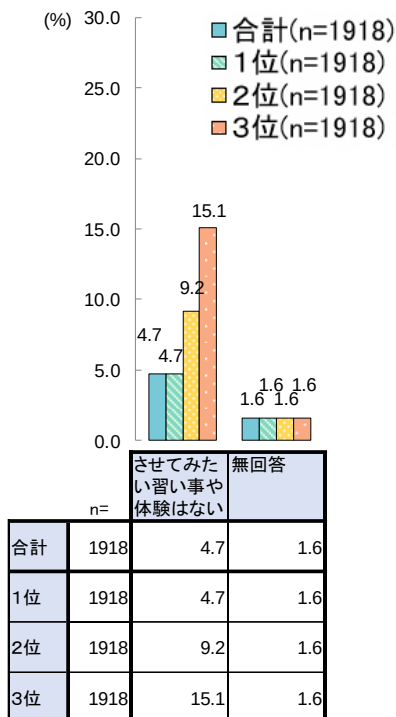
(エ) 自然体験



(オ) 社会体験



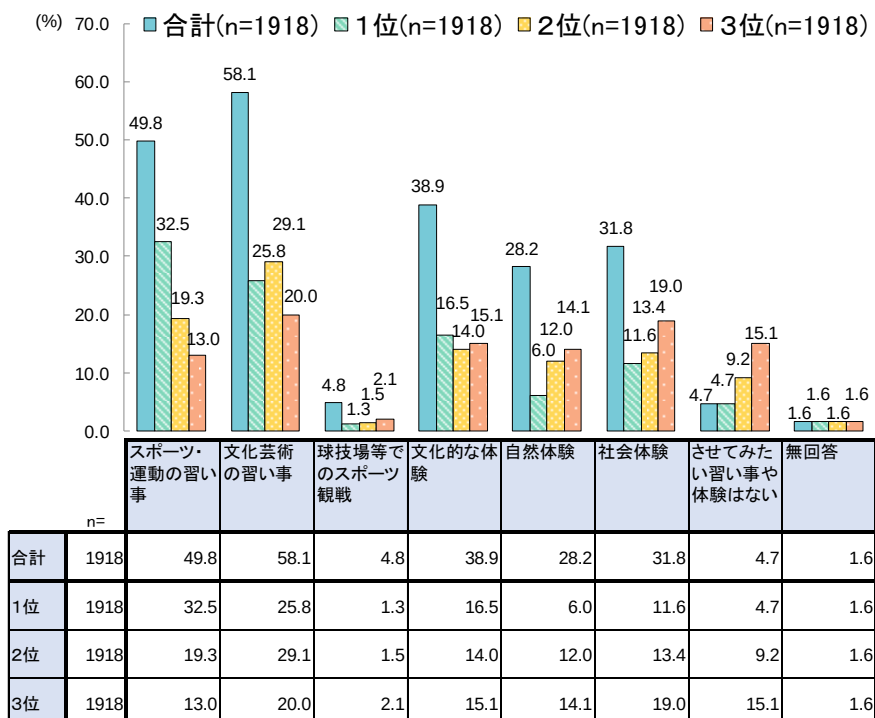
(カ) その他（させてみたい習い事や体験はない、無回答）



イ できればさせてみたい習い事や体験：分野別

できればさせてみたい習い事や体験を分野別にみると、1位から3位までの合計では、「文化芸術の習い事」が58.1%と最も高く、次いで「スポーツ・運動の習い事」(49.8%)、「文化的な体験」(38.9%)となっている。

図表3-112 できればさせてみたい習い事や体験：分野別



ウ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、全体の上位3項目を除くと、子ども「1人」と「2人」の世帯では「社会体験」がそれぞれ32.5%、31.8%、子ども「3人以上」の世帯では「自然体験」が36.1%と高い。

図表3-113 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
1人	880	51.0	58.9	3.5	37.0	25.7	32.5	5.5	1.8
2人	779	48.8	59.4	5.8	42.1	28.6	31.8	3.6	1.2
3人以上	255	49.0	52.2	6.3	36.1	36.1	29.4	5.5	1.2
無回答	4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0

エ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【家計の状況別】

家計の状況別にみると、できればさせてみたい習い事・体験に大きな差は見られないが、全体の上位3項目を除くと、家計の状況が「苦しい」世帯では「自然体験」(29.1%)、家計の状況が「普通」の世帯と「ゆとりがある」世帯では「社会体験」がそれぞれ33.4%、36.7%となっている。

図表3-114 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【家計の状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
苦しい	826	52.1	59.7	5.0	37.7	29.1	28.1	4.1	1.5
普通	746	49.3	58.0	4.3	39.5	26.7	33.4	5.1	2.1
ゆとりがある	300	44.3	53.3	5.3	41.7	30.0	36.7	5.3	0.3
わからない	23	56.5	56.5	4.3	21.7	34.8	43.5	4.3	4.3
答えたくない	12	58.3	83.3	8.3	33.3	8.3	33.3	8.3	0.0
無回答	11	36.4	45.5	18.2	63.6	27.3	45.5	0.0	0.0

オ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【家族構成別】

- (ア)「母子家庭」において、全体の上位3項目以外では、「自然体験」(29.2%)、「社会体験」(33.3%)が3割前後となっている。
- (イ)「父子家庭」において、全体の上位3項目以外では、「社会体験」が37.5%と高い。また、「させてみたい習い事や体験はない」は14.6%で、他の家族状況と比べると高い。
- (ウ)「夫婦と子ども」の世帯では、「スポーツ・運動の習い事」「文化芸術の習い事」は5割以上、「文化的な体験」は約4割がさせてみたいと考えている。

図表3-115 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【家族構成別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 のスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
母子家庭	192	39.6	51.6	3.1	36.5	29.2	33.3	8.3	3.1
父子家庭	48	45.8	52.1	6.3	29.2	22.9	37.5	14.6	2.1
夫婦と子ども	1485	51.9	59.5	5.1	39.0	28.6	31.0	3.8	1.2
三世帯同居	167	44.9	55.7	4.8	44.3	25.7	34.7	5.4	3.0
その他	21	33.3	52.4	4.8	38.1	33.3	33.3	9.5	0.0
無回答	5	80.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0

カ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【世帯年収別】

- (ア) 世帯年収が低くなるにつれて、「スポーツ・運動の習い事」が高くなっている。
- (イ) 「文化的な体験」は、年収「～399万円以下」の世帯では約3割に対し、「400～599万円」以上の世帯では4割前後となっている。
- (ウ) 年収が上がるにつれて、「社会体験」の割合が高くなっている。

図表3-116 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【世帯年収別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
～399万円以下	275	54.9	59.6	3.3	31.6	25.5	26.9	6.5	1.8
400～599万円	347	53.3	60.5	5.8	39.2	29.1	29.7	3.7	1.2
600～799万円	378	51.3	58.2	5.3	37.3	33.1	32.3	4.5	1.6
800～1,199万円	490	49.0	62.2	5.1	41.6	27.8	32.9	3.3	1.2
1,200万円以上	255	44.3	48.6	5.5	43.5	29.4	37.6	5.5	0.4
収入はない	7	71.4	57.1	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3
答えたくない	140	41.4	55.7	2.9	38.6	17.1	31.4	8.6	2.9
無回答	26	34.6	34.6	3.8	42.3	34.6	34.6	0.0	11.5

キ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【世帯の就労状況別】

- (ア)「父のみ就労」と「共働き」の世帯がさせてみたい習い事や体験は、ほぼ同じ傾向がみられる。
- (イ)「母のみ就労」の世帯では、「スポーツ・運動の習い事」は48.2%と半数を切っており、また、「社会体験」は35.1%と他の世帯の就労状況と比べると若干高い。

図表 3－117 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
父のみ就労	435	53.1	59.5	4.4	38.4	28.7	30.1	5.7	0.9
母のみ就労	191	48.2	55.0	3.1	39.3	23.6	35.1	5.8	2.1
共働き	1077	51.7	59.7	5.3	40.0	28.3	31.9	3.3	1.1
その他	181	32.6	47.5	4.4	33.1	31.5	33.1	9.9	5.0
誰も働いていない	18	66.7	72.2	11.1	44.4	16.7	16.7	0.0	5.6
無回答	16	25.0	50.0	6.3	37.5	37.5	31.3	0.0	0.0

ク できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

- (ア)「スポーツ・運動の習い事」では、「一番下の子どもが通園していない（6歳以下）」と「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯が73.8%、73.5%と7割を超えている。
- (イ)「文化芸術の習い事」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生」以下の世帯で6割台と高い。
- (ウ)「競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦」では、「一番下の子どもが中学校」（9.1%）、「一番下の子どもが高校」（7.5%）の世帯が他の通園・通学状況と比べると高い。
- (エ)「文化芸術の鑑賞」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生、中学校、高校、専門学校/短期大学、大学・大学院」の世帯で4割以上となっている。
- (オ)「自然体験」は、「一番下の子どもが小学校1～3年生、小学校4～6年生、中学校」の世帯で3割を超えている。
- (カ)「社会体験」は、学年が上がるにつれて増える傾向にあり、「一番下の子どもが高校」以上の世帯では4割を超える。

図表3-118 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦	文化芸術の鑑賞	自然体験	社会体験	その他	特に習い事や体験はさせていない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	0.0	4.7	1.6
一番下が通園していない(6歳以下)	237	73.8	69.6	3.0	30.0	29.1	22.8	0.0	0.4	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	427	73.5	65.8	2.8	28.1	28.8	23.9	0.0	1.4	0.5
一番下が小学校1～3年生	220	59.1	67.7	5.0	33.2	33.6	27.3	0.0	0.5	1.4
一番下が小学校4～6年生	236	45.3	61.4	4.7	43.6	36.0	36.4	0.0	1.3	0.4
一番下が中学校	231	30.7	54.5	9.1	48.9	31.2	34.2	0.0	5.2	2.6
一番下が高校	254	28.3	43.7	7.5	50.8	24.4	40.9	0.0	8.3	2.0
一番下が専門学校/短期大学	33	30.3	54.5	0.0	42.4	12.1	42.4	0.0	15.2	3.0
一番下が大学・大学院	196	24.5	42.9	3.1	50.0	16.8	40.3	0.0	14.3	3.6
一番下が通学していない	72	30.6	43.1	8.3	30.6	25.0	38.9	0.0	16.7	2.8
無回答	12	50.0	33.3	0.0	33.3	8.3	33.3	0.0	8.3	25.0

ケ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【家族構成/子どもの人数別】

「スポーツ・運動の習い事」「文化芸術の習い事」では、同じ「子ども1人」の世帯でも、「母子家庭」「父子家庭」よりも「夫婦と子ども」の世帯のほうが10ポイント以上高い。

図表3-119 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
母子家庭/子ども1人	105	36.2	50.5	2.9	34.3	22.9	40.0	8.6	3.8
母子家庭/子ども2人	67	41.8	53.7	4.5	40.3	35.8	26.9	7.5	3.0
母子家庭/子ども3人以上	20	50.0	50.0	0.0	35.0	40.0	20.0	10.0	0.0
父子家庭/子ども1人	23	43.5	47.8	4.3	17.4	26.1	52.2	17.4	0.0
父子家庭/子ども2人	18	50.0	61.1	5.6	44.4	16.7	22.2	11.1	5.6
父子家庭/子ども3人以上	7	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0
夫婦と子ども1人	658	55.3	60.8	3.5	37.8	27.4	30.5	4.0	1.5
夫婦と子ども2人	624	48.7	60.4	5.9	41.7	28.2	31.7	3.4	0.6
夫婦と子ども3人以上	200	51.0	53.5	7.0	34.5	34.0	30.5	4.5	1.5
三世代同居/子ども1人	77	39.0	58.4	3.9	39.0	15.6	33.8	10.4	2.6
三世代同居/子ども2人	63	55.6	55.6	6.3	49.2	28.6	38.1	0.0	3.2
三世代同居/子ども3人以上	26	38.5	50.0	3.8	50.0	50.0	30.8	3.8	0.0
その他/子ども1人	14	35.7	50.0	7.1	42.9	28.6	28.6	7.1	0.0
その他/子ども2人	5	40.0	80.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答	9	55.6	22.2	11.1	33.3	0.0	33.3	0.0	22.2

コ できればさせてみたい習い事や体験：分野別【世帯年収/子どもの人数別】

「自然体験」は、年収「600～799万円」「800～1,199万円」の世帯を除くと、世帯年収にかかわらず、子どもの人数が増えるにつれて割合が高くなり、「400～599万円/子ども3人以上」では48.6%となっている。

図表3-120 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
～399万円以下/子ども1人	159	54.7	64.2	3.1	28.3	22.0	28.9	6.3	1.9
～399万円以下/子ども2人	86	57.0	55.8	3.5	37.2	29.1	24.4	5.8	2.3
～399万円以下/子ども3人以上	30	50.0	46.7	3.3	33.3	33.3	23.3	10.0	0.0
400～599万円/子ども1人	173	53.8	57.8	4.0	41.0	26.6	31.8	5.2	0.6
400～599万円/子ども2人	136	50.7	64.7	8.1	37.5	27.2	30.1	2.2	1.5
400～599万円/子ども3人以上	37	62.2	59.5	2.7	35.1	48.6	16.2	2.7	2.7
600～799万円/子ども1人	166	45.8	58.4	5.4	36.1	29.5	32.5	6.0	1.8
600～799万円/子ども2人	157	58.0	63.1	3.8	40.1	36.3	29.9	1.9	1.9
600～799万円/子ども3人以上	55	49.1	43.6	9.1	32.7	34.5	38.2	7.3	0.0
800～1,199万円/子ども1人	208	54.3	61.5	2.4	40.9	27.4	32.2	3.4	1.4
800～1,199万円/子ども2人	211	45.5	64.0	6.6	45.0	24.6	34.1	2.8	0.5
800～1,199万円/子ども3人以上	71	43.7	59.2	8.5	33.8	38.0	31.0	4.2	2.8
1,200万円以上/子ども1人	97	46.4	49.5	3.1	38.1	25.8	40.2	7.2	1.0
1,200万円以上/子ども2人	123	42.3	48.8	8.1	47.2	29.3	37.4	4.1	0.0
1,200万円以上/子ども3人以上	34	44.1	47.1	2.9	47.1	41.2	32.4	5.9	0.0
収入はない/子ども1人	7	71.4	57.1	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	60	43.3	56.7	3.3	35.0	15.0	33.3	8.3	5.0
答えたくない/子ども2人	54	35.2	53.7	0.0	42.6	22.2	31.5	11.1	1.9
答えたくない/子ども3人以上	26	50.0	57.7	7.7	38.5	11.5	26.9	3.8	0.0
無回答	28	35.7	32.1	7.1	42.9	32.1	35.7	0.0	10.7

サ できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

世帯の就労状況による大きな差はみられないが、「文化的な体験」は、「母のみ就労/子ども2人」の世帯で5割以上となっている。「球技場等でのスポーツ観戦」は、「共働き/子ども3人以上」の世帯で7.9%と若干高くなっている。

図表3-121 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	スポーツ・ 運動の習い 事	文化芸術 の習い事	球技場等 でのスポーツ 観戦	文化的な体 験	自然体験	社会体験	させてみた い習い事や 体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
父のみ就労/子ども1人	208	54.8	57.7	4.3	35.6	27.9	31.3	6.7	1.0
父のみ就労/子ども2人	175	53.7	64.6	4.6	41.7	26.9	29.1	3.4	0.6
父のみ就労/子ども3人以上	52	44.2	50.0	3.8	38.5	38.5	28.8	9.6	1.9
母のみ就労/子ども1人	114	45.6	56.1	2.6	35.1	18.4	41.2	5.3	1.8
母のみ就労/子ども2人	59	52.5	54.2	5.1	52.5	30.5	27.1	5.1	3.4
母のみ就労/子ども3人以上	18	50.0	50.0	0.0	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0
共働き/子ども1人	443	54.4	62.1	3.4	38.6	26.9	31.2	3.6	1.6
共働き/子ども2人	479	49.3	59.3	6.1	42.0	28.6	33.6	2.9	0.6
共働き/子ども3人以上	152	52.0	55.3	7.9	38.2	32.2	28.9	3.9	0.7
その他/子ども1人	92	33.7	45.7	2.2	34.8	23.9	33.7	13.0	4.3
その他/子ども2人	56	26.8	53.6	7.1	33.9	32.1	32.1	8.9	5.4
その他/子ども3人以上	32	40.6	43.8	6.3	28.1	53.1	34.4	3.1	3.1
誰も働いていない/子ども1人	15	60.0	80.0	13.3	40.0	20.0	13.3	0.0	6.7
誰も働いていない/子ども2人	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
無回答	20	25.0	40.0	10.0	35.0	30.0	30.0	0.0	10.0

シ できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア)「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)/子ども1人」と「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人」の世帯ではいずれも、「スポーツ・運動の習い事」が8割を超えている。

(イ)「文化芸術の習い事」では、「一番下の子どもが通園していない」と「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」の世帯で6割を超えている。

図表3-122 できればさせてみたい習い事や体験：分野別

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

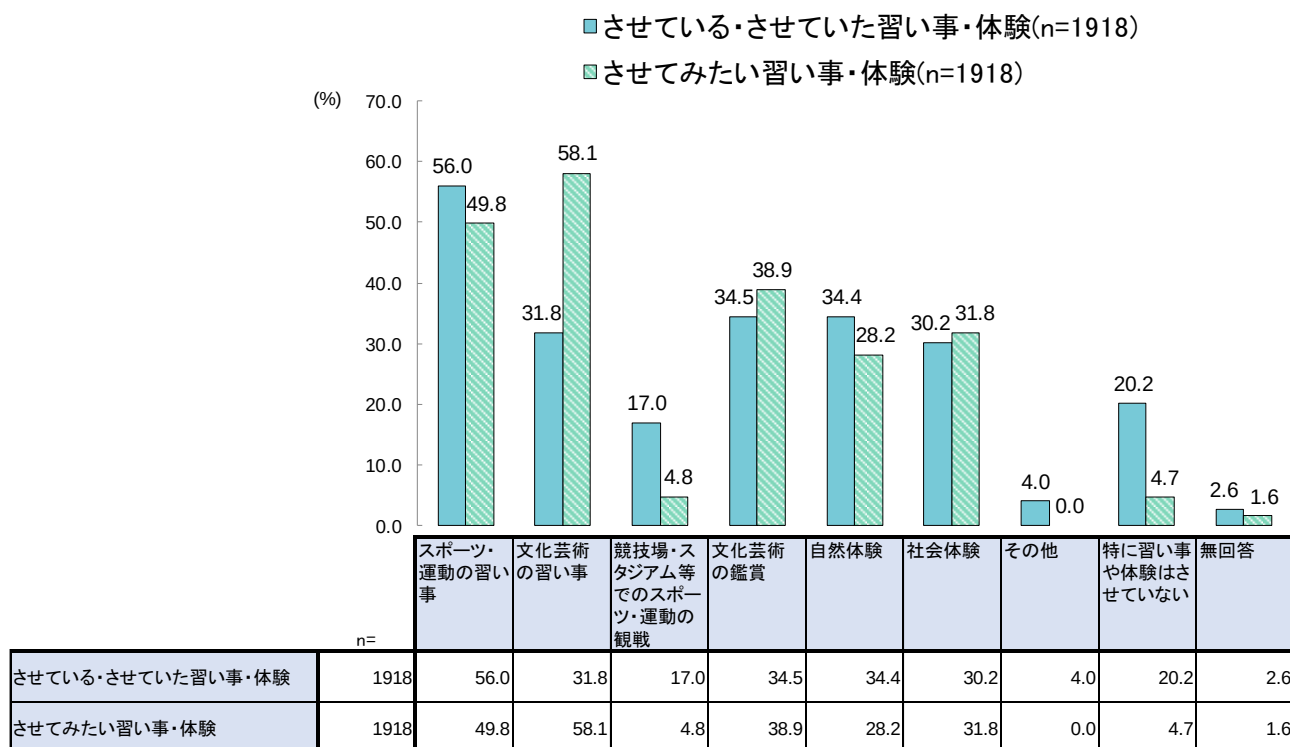
	n=	スポーツ・運動の習い事	文化芸術の習い事	球技場等でのスポーツ観戦	文化的な体験	自然体験	社会体験	させてみたい習い事や体験はない	無回答
TOTAL	1918	49.8	58.1	4.8	38.9	28.2	31.8	4.7	1.6
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	81.6	68.0	4.0	28.8	26.4	17.6	0.0	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	83	67.5	73.5	1.2	26.5	25.3	26.5	1.2	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	58.6	65.5	3.4	44.8	51.7	34.5	0.0	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	183	80.9	68.3	1.6	26.2	25.1	23.5	0.5	0.5
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	172	70.9	65.1	2.9	31.4	32.0	25.0	0.6	0.0
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	70	61.4	62.9	4.3	24.3	31.4	21.4	5.7	1.4
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	84	60.7	75.0	7.1	29.8	29.8	25.0	0.0	1.2
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	98	57.1	66.3	5.1	31.6	37.8	31.6	0.0	2.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	38	60.5	55.3	0.0	44.7	31.6	21.1	2.6	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	87	41.4	66.7	1.1	34.5	34.5	44.8	2.3	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	110	49.1	61.8	4.5	51.8	36.4	29.1	0.9	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	39	43.6	48.7	12.8	41.0	38.5	38.5	0.0	2.6
一番下が中学校/子ども1人	88	27.3	53.4	6.8	43.2	34.1	36.4	5.7	4.5
一番下が中学校/子ども2人	107	36.4	62.6	9.3	56.1	23.4	29.9	2.8	1.9
一番下が中学校/子ども3人以上	36	22.2	33.3	13.9	41.7	47.2	41.7	11.1	0.0
一番下が高校/子ども1人	104	29.8	42.3	3.8	51.0	24.0	39.4	12.5	1.0
一番下が高校/子ども2人	121	24.0	44.6	12.4	54.5	23.1	43.8	5.0	2.5
一番下が高校/子ども3人以上	29	41.4	44.8	0.0	34.5	31.0	34.5	6.9	3.4
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	24	29.2	58.3	0.0	45.8	8.3	41.7	12.5	4.2
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	8	25.0	37.5	0.0	37.5	25.0	50.0	25.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	134	23.9	43.3	3.0	50.0	18.7	44.0	11.2	3.7
一番下が大学・大学院/子ども2人	56	25.0	41.1	3.6	50.0	14.3	35.7	19.6	3.6
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	6	33.3	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	47	34.0	46.8	4.3	34.0	19.1	36.2	19.1	4.3
一番下が通学していない/子ども2人	18	22.2	44.4	11.1	27.8	38.9	50.0	11.1	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以上	7	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0
無回答	14	50.0	28.6	7.1	35.7	7.1	35.7	7.1	21.4

ス 「させている・させていた習い事・体験」と「させてみたい習い事・体験」の比較

(ア)「させている習い事・体験」と「させてみたい習い事・体験」を比較すると、「させてみたい習い事・体験」が「文化芸術の習い事」で26.3ポイント、「文化芸術の鑑賞」で4.4ポイント高い。

(イ)「特に習い事や体験はさせていない」は20.2%であるが、「させてみたい習い事・体験はない」は4.7%と、15.5ポイント低くなっている。

図表 3－1 2 3 「させている・させていた習い事・体験」と「させてみたい習い事・体験」の比較



(3) 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

Q18 できればお子様にさせてみたいが、実際に習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験をさせられていない理由として大きい順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

ア 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

(ア)「習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由」として、1番目は「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」が45.6%、2番目は「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」が21.7%、3番目は「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」が12.5%となっている。

(イ) 1～3番目の合計でみると、「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」が60.3%と最も高く、次いで「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」(44.7%)、「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」(27.8%)となっている。

図表3-124 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

- 子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない
- 保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない
- 保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない
- 子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない
- 子ども本人が習い事や体験をしたがらない
- 子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない
- 子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある
- 近所に習い事や体験をさせる場所がない
- 子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない
- その他
- 理由は特にない
- 無回答

	n=	(%)											
Q18(1) 1位	1798	45.6 15.9 2.4 9.2 8.3 4.1 7.0 2.7 1.2											
Q18(2) 2位	1798	9.3 21.7 9.2 10.6 6.0 2.1 11.0 2.4 0.9 24.8 1.2											
Q18(3) 3位	1798	5.5 7.1 12.5 8.0 5.2 0.7 10.6 2.4 0.8 43.4 1.2											

第3章 調査結果の詳細

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
合計	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
1位	1798	45.6	15.9	2.4	9.2	8.3	0.1	0.3	4.1	7.0	2.7	3.1	1.2
2位	1798	9.3	21.7	9.2	10.6	6.0	0.8	2.1	11.0	2.4	0.9	24.8	1.2
3位	1798	5.5	7.1	12.5	8.0	5.2	0.7	2.6	10.6	2.4	0.8	43.4	1.2

イ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由【子どもの人数別】

- (ア) 子どもの人数が増えるにつれて、「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」と回答する割合が高くなり、「子ども3人以上」の世帯では71.0%となっている。
- (イ) 「子ども1人」の世帯では、「子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない」が19.4%と高い。
- (ウ) 全体の上位3項目以外では、「子ども2人」と「子ども3人以上」の世帯では、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」がそれぞれ26.0%、27.3%と高い。

図表3-125 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【子どもの人数別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
1人	816	54.8	37.4	21.6	25.5	16.3	1.2	5.1	26.5	19.4	5.1	4.7	1.2
2人	742	63.2	49.6	26.0	31.7	21.7	2.0	4.9	25.5	6.9	3.4	1.9	1.2
3人以上	238	71.0	54.6	27.3	23.5	24.4	1.7	5.0	23.9	1.7	4.6	1.7	0.4
無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

ウ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由【家計の状況別】

(ア) 家計の状況が「苦しい」世帯では、「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」が83.7%と高い。

(イ) 家計の状況に「ゆとりがある」世帯では、全体の上位3項目を除くと、「近所に習い事や体験をさせる場所がない」が31.8%と高い。

図表3-126 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【家計の状況別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
苦しい	780	83.7	45.1	26.0	22.7	16.3	1.5	5.0	24.9	9.4	2.9	1.5	1.3
普通	692	49.6	45.2	23.0	29.8	20.8	1.7	5.2	24.0	13.3	5.2	4.3	1.3
ゆとりがある	283	23.7	44.2	21.9	36.7	25.1	1.8	3.9	31.8	16.3	5.7	3.5	0.4
わからない	21	47.6	28.6	33.3	23.8	28.6	0.0	9.5	28.6	9.5	4.8	9.5	0.0
答えたくない	11	54.5	36.4	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1	18.2	0.0
無回答	11	54.5	36.4	9.1	18.2	27.3	0.0	18.2	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1

エ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由【家族構成別】

(ア)「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、「母子家庭」「父子家庭」で7割以上と高い。

(イ)「母子家庭」では、「近所に習い事や体験をさせる場所がない」が30.0%となっている。

(ウ)「父子家庭」では、「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」以外でも、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」も理由に挙げている割合が高い。

(エ)「夫婦と子ども」の世帯では、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」が45.4%となっている。また、「子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない」は13.9%と他の家族構成と比べると高い。

図表3-127 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【家族構成別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
母子家庭	170	77.6	38.2	25.9	25.3	20.0	2.9	6.5	30.0	1.2	4.1	1.2	3.5
父子家庭	40	72.5	52.5	30.0	35.0	17.5	0.0	2.5	20.0	2.5	2.5	2.5	2.5
夫婦と子ども	1411	57.3	45.4	24.1	28.1	19.2	1.7	4.6	24.9	13.9	4.3	3.3	0.8
三世代同居	153	62.7	43.8	23.5	27.5	24.8	0.0	6.5	25.5	7.2	5.9	3.3	2.0
その他	19	73.7	36.8	10.5	21.1	10.5	0.0	15.8	47.4	10.5	0.0	5.3	0.0
無回答	5	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0

オ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由【世帯年収別】

(ア)「子どもの習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」は、年収「～399万円以下」の世帯では82.5%と高く、年収が上がるにつれて割合が低くなり、「1,200万円以上」の世帯では28.3%となっている。

(イ)「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」は、年収「1,200万円以上」の世帯で43.3%と高く、年収が低くなるにつれて割合も低くなり、「～399万円以下」の世帯では18.3%となっている。

図表3-128 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯年収別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
～399万円以下	252	82.5	45.2	27.4	18.3	18.7	1.6	7.5	25.0	8.3	2.8	2.0	2.8
400～599万円	330	75.5	42.7	21.8	23.0	18.5	1.2	4.8	23.9	11.8	3.3	3.3	1.8
600～799万円	355	65.6	47.3	25.6	27.6	17.5	2.0	3.1	23.7	12.1	4.2	3.7	0.0
800～1,199万円	468	51.1	45.7	25.2	27.8	20.1	1.5	3.4	26.3	14.1	6.0	3.6	0.9
1,200万円以上	240	28.3	47.9	21.7	43.3	21.3	1.3	5.8	31.7	11.7	4.2	2.5	1.7
収入はない	6	100.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
答えたくない	124	53.2	35.5	23.4	26.6	25.0	2.4	10.5	24.2	9.7	5.6	3.2	0.0
無回答	23	69.6	30.4	8.7	43.5	17.4	0.0	4.3	26.1	13.0	0.0	0.0	0.0

カ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由【世帯の就労状況別】

(ア)「母のみ就労」の世帯では、「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」が73.3%と最も高い理由となっている。「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」(46.6%)、「近所に習い事や体験をさせる場所がない」(32.4%) も高い。

(イ)「共働き」の世帯では、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」が49.5%と、約半数が理由として挙げている。

図表3-129 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯の就労状況別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
父のみ就労	406	62.6	34.2	26.6	28.8	21.4	3.2	5.4	24.6	13.1	4.2	3.7	1.0
母のみ就労	176	73.3	46.6	24.4	26.7	18.2	1.1	7.4	32.4	5.1	4.0	1.1	2.3
共働き	1029	56.5	49.5	23.9	28.4	18.1	1.2	3.8	24.8	13.5	4.8	3.0	0.7
その他	154	62.3	42.9	22.1	21.4	24.7	0.0	10.4	26.6	5.2	3.2	4.5	3.9
誰も働いていない	17	88.2	23.5	17.6	11.8	41.2	11.8	0.0	35.3	11.8	0.0	0.0	0.0
無回答	16	62.5	25.0	6.3	50.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	6.3	0.0

キ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【一番下の子どもの通園・通学状況別】

(ア)「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」は、「一番下の子どもが小学校4～6年生」の世帯では40.5%、「一番下の子どもが中学校」の世帯では38.0%となっている。

(イ) 全体の上位3項目以外では、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)」世帯では、「子どもが習い事や体験をできる年齢にまで達していない」が47.5%と最も高い理由となっている。

(ウ)「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」と「一番下の子どもが小学校1～3年生」の世帯では、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」(63.0%、56.5%)が高い。

図表3-130 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【一番下の子どもの通園・通学状況別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
一番下が通園していない(6歳以下)	236	47.9	37.3	19.5	11.4	6.8	1.3	3.8	21.6	47.5	5.9	5.9	0.8
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園	419	58.5	63.0	32.9	18.6	11.9	1.0	4.3	26.0	20.8	4.8	1.9	0.7
一番下が小学校1～3年生	216	61.1	56.5	33.3	28.7	25.0	2.8	6.5	31.5	3.2	2.3	0.9	0.5
一番下が小学校4～6年生	232	59.1	53.4	25.0	40.5	25.9	1.3	4.3	31.0	1.3	4.7	1.3	0.4
一番下が中学校	213	70.4	36.2	21.1	38.0	22.1	1.4	6.1	23.5	0.9	3.8	2.8	1.4
一番下が高校	228	64.0	28.5	17.5	35.1	28.1	2.6	3.9	27.6	0.4	3.5	2.6	1.3
一番下が専門学校/短期大学	27	74.1	25.9	7.4	29.6	18.5	0.0	3.7	29.6	0.0	3.7	3.7	0.0
一番下が大学・大学院	161	59.0	23.0	12.4	34.2	23.0	1.2	5.6	17.4	0.0	5.0	8.7	5.0
一番下が通学していない	58	67.2	31.0	22.4	20.7	31.0	3.4	10.3	22.4	0.0	5.2	3.4	0.0
無回答	8	100.0	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0

ク 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【家族構成/子どもの人数別】

(ア)「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、子どもの人数が増えるにつれて、理由に挙げる世帯が増加する傾向にある。

(イ)「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」は、「夫婦と子ども2人」「夫婦と子ども3人以上」などの世帯で半数を超えている。

(ウ)「子ども本人が習い事や体験に費やす時間的な余裕がない」が「母子家庭/子ども2人」「夫婦と子ども2人」などの世帯で3割を超えている。

図表3-131 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【家族構成/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
母子家庭/子ども1人	92	71.7	37.0	26.1	20.7	16.3	3.3	7.6	34.8	2.2	5.4	2.2	4.3
母子家庭/子ども2人	60	85.0	33.3	25.0	33.3	25.0	3.3	5.0	26.7	0.0	1.7	0.0	3.3
母子家庭/子ども3人以上	18	83.3	61.1	27.8	22.2	22.2	0.0	5.6	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0
父子家庭/子ども1人	19	63.2	36.8	21.1	42.1	21.1	0.0	0.0	21.1	5.3	5.3	5.3	5.3
父子家庭/子ども2人	15	80.0	73.3	33.3	33.3	13.3	0.0	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
父子家庭/子ども3人以上	6	83.3	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と子ども1人	622	50.6	37.3	21.2	26.2	15.3	1.1	4.5	25.4	23.3	5.1	5.0	0.6
夫婦と子ども2人	599	60.1	51.4	26.0	31.7	21.4	2.2	4.5	25.0	8.0	3.5	2.0	1.0
夫婦と子ども3人以上	188	71.3	53.2	27.1	22.9	25.5	2.1	5.3	22.9	1.6	4.3	2.1	0.0
三世代同居/子ども1人	67	61.2	40.3	22.4	23.9	26.9	0.0	6.0	22.4	10.4	6.0	4.5	1.5
三世代同居/子ども2人	61	65.6	39.3	24.6	31.1	24.6	0.0	8.2	24.6	4.9	4.9	3.3	1.6
三世代同居/子ども3人以上	25	60.0	64.0	24.0	28.0	20.0	0.0	4.0	36.0	4.0	8.0	0.0	4.0
その他/子ども1人	13	76.9	30.8	0.0	15.4	7.7	0.0	23.1	38.5	15.4	0.0	7.7	0.0
その他/子ども2人	5	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他/子ども3人以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7	71.4	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3

ケ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯年収/子どもの人数別】

(ア)「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、年収「400～599万円」以下の世帯では7～9割が理由に挙げており、特に「400～599万円/子ども3人以上」の世帯では91.4%と高い。

(イ)「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、同じ年収帯の中でも、「子ども1人」の世帯より「子ども2人」の世帯で、また、年収「400～599万円」「800～1,199万円」「1,200万円以上」の世帯では、「子ども2人」の世帯より「子ども3人以上」の世帯で高くなっている。

(ウ)「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」も、同じ年収帯の中でも子どもの人数が増えるほど理由に挙げる割合が高い。

(エ) 年収「～399万円以下」と「400～599万円/子ども3人以上」、「600～799万円/子ども3人以上」の世帯では、「子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない」よりも、「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」を理由に挙げる割合が高い。

図表3－132 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯年収/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
～399万円以下/子ども1人	146	80.1	39.7	26.0	17.8	15.8	2.1	8.2	27.4	11.6	2.7	3.4	4.1
～399万円以下/子ども2人	79	87.3	49.4	26.6	22.8	24.1	0.0	7.6	22.8	5.1	2.5	0.0	0.0
～399万円以下/子ども3人以上	27	81.5	63.0	37.0	7.4	18.5	3.7	3.7	18.5	0.0	3.7	0.0	3.7
400～599万円/子ども1人	163	73.0	41.1	19.0	23.9	14.1	0.6	3.1	29.4	17.2	4.9	4.3	1.2
400～599万円/子ども2人	131	74.8	44.3	24.4	26.0	20.6	1.5	7.6	17.6	8.4	1.5	2.3	2.3
400～599万円/子ども3人以上	35	91.4	45.7	25.7	8.6	31.4	2.9	2.9	22.9	0.0	2.9	2.9	0.0
600～799万円/子ども1人	153	51.0	36.6	22.9	31.4	16.3	0.7	3.3	24.8	22.9	4.6	5.2	0.0
600～799万円/子ども2人	151	76.8	53.0	27.8	29.8	17.9	3.3	2.6	24.5	5.3	3.3	3.3	0.0
600～799万円/子ども3人以上	51	76.5	62.7	27.5	9.8	19.6	2.0	3.9	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0
800～1,199万円/子ども1人	198	39.9	38.4	22.7	25.3	18.7	0.5	4.0	24.2	24.2	7.1	5.1	0.0
800～1,199万円/子ども2人	204	53.9	50.0	26.5	29.4	21.1	2.5	2.9	29.4	8.8	5.4	2.5	2.0
800～1,199万円/子ども3人以上	66	75.8	54.5	28.8	30.3	21.2	1.5	3.0	22.7	0.0	4.5	3.0	0.0
1,200万円以上/子ども1人	89	18.0	36.0	16.9	27.0	15.7	1.1	7.9	30.3	22.5	4.5	5.6	2.2
1,200万円以上/子ども2人	118	33.1	51.7	24.6	53.4	24.6	1.7	5.1	30.5	5.1	3.4	0.8	1.7
1,200万円以上/子ども3人以上	32	40.6	65.6	21.9	53.1	25.0	0.0	3.1	37.5	6.3	6.3	0.0	0.0
収入はない/子ども1人	6	100.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども2人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収入はない/子ども3人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない/子ども1人	52	51.9	21.2	17.3	28.8	15.4	3.8	9.6	23.1	15.4	9.6	5.8	0.0
答えたくない/子ども2人	47	59.6	53.2	29.8	19.1	27.7	2.1	8.5	21.3	6.4	2.1	0.0	0.0
答えたくない/子ども3人以上	25	44.0	32.0	24.0	36.0	40.0	0.0	16.0	32.0	4.0	4.0	4.0	0.0
無回答	25	64.0	32.0	12.0	40.0	16.0	0.0	4.0	28.0	12.0	0.0	0.0	4.0

コ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯の就労状況/子どもの人数別】

(ア)「子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない」は、「母のみ就労」で「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯で8割以上、「共働き/子ども3人以上」の世帯でも7割以上が理由に挙げている。

(イ)「保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない」は、「母のみ就労」「共働き」で「子ども2人」「子ども3人以上」の世帯で5割以上と高い。

(ウ)「保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない」は、子どもが増えるにつれて理由に挙げており、「母のみ就労/子ども3人以上」の世帯では37.5%と高い。

図表3-133 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【世帯の就労状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
父のみ就労/子ども1人	192	59.4	27.1	25.0	26.0	15.6	3.1	6.3	25.0	19.8	5.2	5.7	0.5
父のみ就労/子ども2人	168	66.1	41.1	27.4	32.1	25.0	3.6	4.8	26.2	7.1	3.0	1.8	1.8
父のみ就労/子ども3人以上	46	63.0	39.1	30.4	28.3	32.6	2.2	4.3	17.4	6.5	4.3	2.2	0.0
母のみ就労/子ども1人	106	66.0	42.5	21.7	26.4	15.1	0.9	7.5	34.0	6.6	4.7	1.9	3.8
母のみ就労/子ども2人	54	83.3	50.0	25.9	27.8	24.1	1.9	7.4	31.5	3.7	1.9	0.0	0.0
母のみ就労/子ども3人以上	16	87.5	62.5	37.5	25.0	18.8	0.0	6.3	25.0	0.0	6.3	0.0	0.0
共働き/子ども1人	420	47.6	41.4	20.0	26.4	15.7	0.5	3.3	25.7	24.5	6.0	4.3	0.7
共働き/子ども2人	462	60.0	54.1	26.4	31.6	19.5	1.5	3.9	24.0	7.6	3.7	2.2	0.6
共働き/子ども3人以上	145	71.7	57.9	26.9	24.1	20.7	2.1	4.8	24.1	0.7	4.8	2.1	0.0
その他/子ども1人	76	60.5	36.8	22.4	19.7	21.1	0.0	10.5	23.7	9.2	2.6	7.9	2.6
その他/子ども2人	48	60.4	43.8	22.9	29.2	27.1	0.0	12.5	27.1	2.1	4.2	2.1	6.3
その他/子ども3人以上	30	70.0	56.7	20.0	13.3	30.0	0.0	6.7	33.3	0.0	3.3	0.0	3.3
誰も働いていない/子ども1人	14	92.9	21.4	21.4	7.1	28.6	7.1	0.0	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども2人	2	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
誰も働いていない/子ども3人以上	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	18	55.6	27.8	11.1	44.4	11.1	0.0	0.0	27.8	11.1	0.0	5.6	5.6

サ 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別】

(ア) 全体の上位3項目以外では、「一番下の子どもが通園していない(6歳以下)」と「一番下の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園」で「子ども1人」の世帯では、「子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない」がそれぞれ66.4%、36.5%と高い。

(イ) 「子ども3人以上」の世帯のうち、「一番下の子どもが小学校1～3年生」と「一番下の子どもが小学校4～6年生」の世帯では、「近所に習い事や体験をさせる場所がない」がそれぞれ48.6%、31.6%と高い。

図表3-134 習い事や体験をさせてみたいが、させられていない理由

【一番下の子どもの通園・通学状況/子どもの人数別：クロス集計】

	n=	子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない	保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない	子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない	子ども本人が習い事や体験をしたがらない	子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない	子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある	近所に習い事や体験をさせる場所がない	子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない	その他	理由は特にない	無回答
TOTAL	1798	60.3	44.7	24.2	27.8	19.6	1.6	5.0	25.8	11.8	4.3	3.1	1.2
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども1人	125	40.8	18.4	13.6	6.4	2.4	0.0	3.2	18.4	66.4	5.6	9.6	0.8
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども2人	82	48.8	58.5	29.3	18.3	9.8	2.4	3.7	28.0	34.1	6.1	2.4	0.0
一番下が通園していない(6歳以下)/子ども3人以上	29	75.9	58.6	17.2	13.8	17.2	3.4	6.9	17.2	3.4	6.9	0.0	3.4
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども1人	181	49.7	55.8	26.5	13.3	3.9	0.6	5.0	31.5	36.5	6.1	3.3	0.6
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども2人	171	62.6	69.0	37.4	24.6	16.4	1.8	3.5	22.2	11.7	3.5	0.6	0.6
一番下が保育園・幼稚園・認定こども園/子ども3人以上	65	73.8	67.7	38.5	18.5	23.1	0.0	4.6	20.0	1.5	4.6	1.5	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども1人	83	60.2	57.8	32.5	28.9	25.3	2.4	3.6	30.1	6.0	3.6	1.2	0.0
一番下が小学校1～3年生/子ども2人	96	59.4	60.4	35.4	30.2	22.9	2.1	8.3	26.0	1.0	1.0	1.0	1.0
一番下が小学校1～3年生/子ども3人以上	37	67.6	43.2	29.7	24.3	29.7	5.4	8.1	48.6	2.7	2.7	0.0	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども1人	85	55.3	51.8	27.1	45.9	22.4	0.0	7.1	32.9	3.5	5.9	3.5	0.0
一番下が小学校4～6年生/子ども2人	109	63.3	50.5	22.9	39.4	27.5	1.8	2.8	29.4	0.0	3.7	0.0	0.9
一番下が小学校4～6年生/子ども3人以上	38	55.3	65.8	26.3	31.6	28.9	2.6	2.6	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0
一番下が中学校/子ども1人	79	60.8	34.2	25.3	41.8	19.0	2.5	5.1	27.8	1.3	1.3	3.8	2.5
一番下が中学校/子ども2人	102	77.5	34.3	19.6	35.3	23.5	1.0	6.9	22.5	0.0	4.9	2.0	1.0
一番下が中学校/子ども3人以上	32	71.9	46.9	15.6	37.5	25.0	0.0	6.3	15.6	3.1	6.3	3.1	0.0
一番下が高校/子ども1人	90	60.0	24.4	18.9	31.1	27.8	2.2	3.3	27.8	0.0	5.6	3.3	2.2
一番下が高校/子ども2人	112	62.5	29.5	15.2	42.9	29.5	3.6	5.4	30.4	0.9	1.8	1.8	0.9
一番下が高校/子ども3人以上	26	84.6	38.5	23.1	15.4	23.1	0.0	0.0	15.4	0.0	3.8	3.8	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども1人	20	70.0	25.0	5.0	40.0	15.0	0.0	5.0	30.0	0.0	5.0	5.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども2人	6	83.3	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が専門学校/短期大学/子ども3人以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が大学・大学院/子ども1人	114	59.6	21.9	13.2	33.3	24.6	0.9	6.1	18.4	0.0	6.1	7.0	3.5
一番下が大学・大学院/子ども2人	43	53.5	25.6	9.3	34.9	18.6	2.3	4.7	16.3	0.0	2.3	14.0	9.3
一番下が大学・大学院/子ども3人以上	4	100.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども1人	36	61.1	27.8	22.2	13.9	33.3	5.6	11.1	22.2	0.0	5.6	2.8	0.0
一番下が通学していない/子ども2人	16	87.5	37.5	18.8	37.5	31.3	0.0	6.3	31.3	0.0	6.3	0.0	0.0
一番下が通学していない/子ども3人以上	6	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
無回答	10	80.0	30.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0

11 子育て支援に関するご意見（自由記述）

Q19 子育て支援に関するご意見等があれば自由にご記入ください。（自由記述）

（1）子育て支援に関するご意見

子育て支援に関するご意見を次の10項目に大きく分類した。

- ※ 一つの自由記述の内容が複数にあたる場合は、複数回答としてあてはまる項目に分類を行った。
- ※ 回答内容については、原則、原文のまま掲載する。

図表 3－135 子育て支援に関するご意見

妊娠・出産に関すること	23
保育園・学校教育のサービス	95
学費無償化・補助などの支援	103
子育て支援・サービス	68
学校以外の教育支援	62
生活支援	100
労働環境に関すること	37
医療に関すること	27
行政、施策に関すること	229
その他	225
合 計	969

※ 分類のもととなった項目

- ・妊娠・出産に関すること＝出産費用の補助/妊婦健診費用の補助など
- ・保育園・学校教育のサービス＝保育料の無償化/一時保育/学童の待機児童/障がい児支援/学区域制など
- ・学費無償化・補助などの支援＝授業料の無償化/給食費の補助/進学費用の補助/通学費の補助など
- ・子育て支援・サービス＝児童扶養手当/おむつ代の補助など
- ・学校以外の教育支援＝外国語学習の支援など
- ・生活支援＝食費の補助/家賃の補助/乗車運賃の無料化など
- ・労働環境に関すること＝働く保護者への支援/育児休業支援など
- ・医療に関すること＝医療費の補助/休日診療など
- ・行政、施策に関すること＝子育て支援の充実/所得制限の撤廃など
- ・その他

■自由記述抜粋■（原則、原文のまま掲載）

【妊娠・出産に関すること】

- ① 出産に係る費用補助については充実しており、大変助かりました。産後のケアや、子育てに関しては精神的・体力的にも余裕がなく、この辺をフォローできるようなサービスや人的サポートがあれば良いのと思いました。（子ども1人/通園していない（6歳以下））
- ② 自分が子育てをした経験としては、子どもが保育園に入る前に1人で子育てをしていた時期が特に大変だったので、乳児期を支えられる仕組みがあればよいと感じた。産後ケアセンターなどが区内にあれば利用したかった。（子ども1人/小学校1～3年生）
- ③ 出産費用の助成金はとても助かりました。産休で収入がないなか出産費用で30万ほど出ていき、さらに住民税の支払いなど大きい出費もあり、ギリギリのところでした。商品券などの金券では住民税の支払いはできないので、お金での支援は1番助かります。ありがとうございました。（子ども1人/通園していない（6歳以下））
- ④ 妊娠出産の際にいただけるこども券は大変ありがたいのですが、使える店舗が限られています（家の近くの大手チェーンの子ども用品店は使えない）。現金給付か、また別の形で配布いただけると嬉しいです。赤ちゃんファースト事業のポイント交換品は、お店で販売されている値段より割高にポイント数が設定されているのが気になります。16万ポイントとうたっていますが、ポイントいっぱいを本来の物販の値段で得られるかということ、そうではないのです。こちらでもまた違う形で配布して欲しいです。（子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園）
- ⑤ 妊婦健診をもっと安く受けられるようにしてほしい。補助券があっても毎回いくらかお金がかかるのか不安。出産も高すぎる。子ども好きだけど何人も産もうと思わない。子育てに必要な不可欠なものは軽減税率か補助をください。（子ども1人/通園していない（6歳以下））

【保育園・学校教育のサービス】

- ① 小学校・幼稚園と給食費や月謝が無料になったり、インフルエンザの補助金があったりと、本当に子どもを育てるにはいい環境だと思います。感謝しかありません。幼稚園には、4人兄妹や7人兄妹という子もいます。足立区だから沢山の子どもを育てることができるのだと思います。0人から1人、1人から2人も大切だと思いますが、3人以上を出産・育てているママやパパに優しい区だといいなと思います。今はいろいろなことに難しい時代だとは思いますが、妊娠・出産・子育てに関していろいろと言える、言ってもらえる環境になればいいなと思います。（子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生）
- ② 赤ちゃんファーストの登録後の期限が短い（6ヶ月からもっと延ばしてほしい）。（子ども1人/通園していない（6歳以下））
- ③ 不登校に関する行政の相談窓口の充実。（子ども1人/大学・大学院）
- ④ 小台・宮城の地域の学童は1つしか無く、3年生以降は通わせるのが難しい状況です。働かないと収入が安定しない為、学童は増やしてほしいと思います。（子ども

2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生)

- ⑤ 支援を必要とする子への療育場所をもっと充実させて欲しい。支援学級への専門的知識をもつ職員の配置。(子ども1人/小学校4～6年生)
- ⑥ 発達障がいの子の支援についてもう少し考えていただけるとありがたいです。本人の今後の為、通院や放課後デイへの送迎などでもお金もかかります。小学生ですがオムツも必要な為、購入しています。医療ケア児だけではなく、発達障がい児にももう少し支援していただけるとうれしいです。(子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校)
- ⑦ 学校で四季のミュージカル観賞を皆でできた事はとても良かったです。これからも続けて欲しいです。(子ども1人/小学校4～6年生)
- ⑧ 放課後等デイサービスは、共稼ぎが可能なレベルの質・量・時間・サービスであってほしい。特に長期休みの開所時間が短く、母親がフルタイム勤務、キャリアを諦めざるを得ない。障がい児でも通える習い事の施設がほしい。数も種類も。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑨ 放課後デイサービスの増加、特別支援学校の増加。(子ども1人/小学校4～6年生)
- ⑩ 未就学児の補助については拡充してきており、保育料の無償化など、とても助かっています。その反面、小学1年生の壁という言葉がある通り、小学低学年の支援が手薄いように感じます。そのせいで一年生になるタイミングで仕事を辞めたり、パートに切り替えたりという人も多いです。働き盛りで環境が整っていればまだまだ働ける人もいます。学童保育の拡充や、育児短時間勤務の拡充など小学生に目を向けた援助も検討して欲しいです。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生)
- ⑪ 働いている親にとって夏休みなど長期休暇は悩みの種です。学童に通っていない子どももみんな楽しく過ごせる場所があれば良かったと思います。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)

【学費無償化・補助などの支援】

- ① 大学まで、学費等の無償化との話があるが、すでに支払っている家庭にも生活が苦しい世帯には、支援してもらいたい。子育て(教育費)に、お金がかかりすぎる。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ② 大学進学にかかる資金援助があると良いと思います。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ③ 所得制限などなしにした高等教育の無償化を望んでいます。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ④ 都立・私立高校の授業料無償化の際、申請し、前もっての払い込みなく無償化にしてもらえたら、高校選択の幅も広がると思います。大学の授業料についても一人目、二人目についても検討していただきたいと思います。中学・高校生の習い事の時の電車賃が大人料金で、ものすごい負担となっています。(子ども2人/小学校1～3年生, 中学校)
- ⑤ 一人親世帯への支援がもっと手厚かったら大学進学などへのハードルが高くない

と思います。18才以上への支援が必要だと思います。(子ども1人/専門学校)

- ⑥ 進学するにあたっての費用補助がもっとあれば、不安や悩みが少なくなり、保護者の心に余裕ができると思います。また収入に応じて受けられる補助はできればやめたほうがいいと思います。(子ども3人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校4～6年生, 中学校)
- ⑦ 中学給食費助成。公立中だけでなく区外の私立、都立、国立もお願いしたい。(子ども3人/保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園, 中学校)
- ⑧ 塾代が高くて、本当はもっと受講科目を増やしたいが、金銭的にムリです。「私立の学校に入れたら～」という費用のサイトを見かけるが、ゾッとします。授業料の助成金が始まって大変助かりますが、もっと入学金とか制服代とかもお願いしたいです。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ⑨ 現在、子どもは高校生と大学生になりましたが、長男が大学に上がる時(高3の時)から現在も一番お金がかかります。奨学金という考えもありますが、就職した後もお金を返し続ける負担を考えると、奨学金を借りようというふうにはなりません。大学の学費の高さを考えるとそれを理由に進学をあきらめるという選択をする人もいるのかなと感じます。もう少し18歳～22歳の子を持つ家庭にも目を向けて、行政には子育て支援をお願いできたらうれしいです。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑩ 大学卒業までが子育てと考えています。小さい子どもへの支援ばかりで、大きなお金がかかる高校、大学世代への支援もお願いしたい。(子ども2人/高校, 高校)
- ⑪ 第一子を産んだ時から比べると子育て支援はよくなっていると思う。子どもが小さい頃の支援も大切だが、中学生や高校生など、小さいときとは比べ物にならないくらい子育てにお金がかかってくるので、その教育費用に支援があると助かる。(子ども4人/中学校, 中学校, 高校, 大学・大学院)
- ⑫ 足立区(東京都)では今も充分子育て支援をやってくださっていると思います。食費(物価)、学費がもう少し安ければ、将来の不安もなくなり、3人目を考えることも出来るのと思います。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)

【子育て支援・サービス】

- ① おむつについて何かしら補助があるとうれしいです。高齢者用おむつについては何かしらの事業があると知り、乳幼児にも補助があればと思っています。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ② 保育園から呼びだしがあった時、急に病院に行く時など2人子どもがいる場合、どちらか1人を家で見てくれるような実家のような環境があれば、もっと子を産みたいと思う。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ③ ミルク・オムツ代が補助されると相当負担が減るので助かります。ベビーシッター補助もありますが、やるまでにいろいろ申請が大変そうでなかなか手が出せずにいます。子育てサロンが足立区はたくさんあるので、親もリフレッシュできてよいで

す。(子ども2人/通園していない(6歳以下),通園していない(6歳以下))

- ④ 民間の家事代行サービスの利用に対し補助を出してほしい。シッターサービスの補助を利用しているが、それだけでは足りない。一歳児の「オムツ、離乳食費」が負担である。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園,保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑤ 子育ての悩みを気軽に相談できる仕組みがあったらいいと思います。今もあるかもしれませんが、身近に感じていないため。(子ども1人/小学校1～3年生)
- ⑥ ミルクやおむつなどの消耗品はチケットなどを支給して、値上がりしても気にせず使用できるようにしてほしいです。(子ども2人/通園していない(6歳以下),保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑦ 非課税世帯ばかりでなく、課税世帯にも厳しい人はたくさんいるから、そこをもっとしっかりしてほしいです。子どものミルク、オムツが負担である。(子ども2人/通園していない(6歳以下),通園していない(6歳以下))
- ⑧ 子どもが一歳になるまで、オムツやミルクを無料で定期的にくれるサービスなどあれば良いと思う。(子ども2人/通園していない(6歳以下),保育園・幼稚園・認定こども園)

【学校以外の教育支援】

- ① 高齢者と子どもが同じ場所でふれあえる場所を増やして高齢者による子どもへの学習事、習い事など体験させるなど。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園,小学校4～6年生)
- ② クラブ活動の少ない中学校に来年入学予定ですが、外でのクラブに入るなど考えていますが、金銭的余裕がなく、何もさせられず悩んでいます。(子ども2人/小学校1～3年生,小学校4～6年生)
- ③ 習い事まで回せる金銭的余裕がないので、区内で金額決めて補助金があると嬉しいです。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園,小学校4～6年生)
- ④ 高3の塾代・模試代・受験料・大学授業料が高すぎて払うのがきびしい。子どもが大きくなってからのほうがお金がかかる。(子ども2人/中学校,高校)
- ⑤ 足立区は子どもが楽しく過ごせるイベントがたくさんあって楽しく過ごしています。小学校のあとに教室などを利用して書道、サイエンス教室などや何か習い事ができるようになったらいいなと思います。土日は子どもとの時間を過ごしたいので、平日を有効活用しつつ、子どもがなるべく家に1人にならないような支援があったらいいなと思います。学校内にある学童の情報をもう少し開示してほしいです。見学や、長期休みの時はどうやって過ごすのかとか。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園,保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑥ 小学生から部活のような活動があればいいなと思います。区の講座もありますが、定員や時間が限られているので、なかなか行けていません。放課後に気楽に参加させていろいろな経験をさせたいです。(子ども3人/小学校1～3年生,小学校1～3年生,中学校)
- ⑦ 不登校支援、フリースクール支援を手厚くしてほしいです。子どもにとっての1年

は貴重なので急速に支援して頂きたい。ホームステイや短期留学に興味があり、体験させてあげたいのですが金銭的に厳しいです。ホームステイや留学制度の支援があると大変ありがたいです。(子ども1人/小学校4～6年生)

- ⑧ 3歳以下の子どもが参加できるワークショップや異文化交流、クラシックコンサートなどの日常ではなかなか体験できないような文化、社会、芸術に触れられる機会の創出。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑨ 塾にかかる費用の助成金を受けられる条件を世帯年収で決めてほしくない。(子ども1人/中学校)
- ⑩ 夏休みにもっと子どもを対象にした講座を増やして欲しい。(子ども2人/小学校1～3年生, 小学校1～3年生)
- ⑪ 保育園で、サッカーや英語等の習い事をできるように制度を変えてほしい(低額であれば、自己負担でもよい)。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)

【生活支援】

- ① 昔に比べると子ども達が学びやすい環境が整備されていると思う。学費だけでなく、副教材費や制服の補助、住居の補助があると子どもを育てるのに楽になってくと思う。(子ども1人/高校)
- ② 母子家庭や多子世帯には支援がきちんとされているので、金銭的に余裕は無いがなんとか生活ができていたが、子どもが大きくなるにつれて1回に支払う額が多くなり(学費、教材費)、生活費にも大きく影響されているが支援の方は少なくなっているような気がする。子どもの年齢に合わせて支給額も調整してほしい。少ないのではなく、足りない。小学生までは支援金は少なくとも大丈夫だが、中学～高校は逆に増やしてほしい。(子ども3人/高校, 専門学校, 専門学校)
- ③ 全ての給付金において、所得関係なしで子どものいる家庭全てに配布してほしい。住宅ローンや購入にあたり補助金を出して欲しい。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ④ 大学まで学費無料。制服の廃止。住宅手当や日々掛かるお金の補助金。副教材費も無料が良い。仕事をする時間を増やしたいが、放課後子どもが1人で安全に過ごせる場所がない。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ⑤ 018サポートや児童手当給付金はとてもありがたいです。また、幼稚園の入園補助金やその他の補助も助かっています。ただ、それでも食費や衣類など日々の負担が大きいのが現実です。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑥ ミュージカルや遊園地など、扶養する子どもの人数分の割引や無料招待などがあると、これから子どもを産み育てる人には嬉しいと思います。(子ども4人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校4～6年生, 中学校, 高校)

【労働環境に関すること】

- ① 子ども達が子どもも持ち共働きであるので、安心して預けられる場所、子どもが熱などを出してしまった時の仕事場の対応の改善、オムツ・ミルク代等の支援。(子ども1人/無回答)

- ② 職場での有給が取りにくいいため、0～20才くらいまでの子どもをもつ親への理解。物価高のため、子育てパスポートなどの配布。仕事就業のための時短正社員。(子ども3人/中学校, 中学校, 高校)
- ③ 私の世代では、母親が育児をするものだという考えが社会全体に根強く残っており、配偶者及び勤務先もそれが当然のことにように支援の手を差し伸べてもらえなかった。配偶者と同等の労働時間・収入がありながら、ワンオペ状態で子育てをしなければならなかった時期は、肉体的・精神的に限界を超えていた。若い世代の方々の意識改革をより一層進め、子育ては共同で行うものだという常識を浸透して欲しい。(子ども1人/高校)
- ④ 子ども2人とも未就学児ですが、これからくる、いわゆる「小1の壁」が不安でたまりません。就労を続けられるよう引き続き支援いただけると大変助かります。おむつ代、おしりふき代が負担。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑤ 産休や育休、時短勤務、テレワーク等を大手企業だけでなく中小企業に対してもっと拡充してほしい。育休後に復職をしても、自分の居場所がなくなる恐れから2人目を作ることに躊躇してしまう。育休中にも多少なりとも仕事をして続けていける環境を作してほしい。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑥ 在宅勤務を推進してほしいです。子どもがいるのに、片道1時間かけて出社しないといけないのが負担です。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑦ こういったアンケート等、取り組みをしてくれていて大変ありがたく感じます。私自身はたくさん子どもが欲しいと考えていますが、仕事との両立・金銭面などから難しいと感じています。子育てしやすい世の中になれば嬉しいです。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑧ 子育て中の世帯を見ていて、男性の育児参加が全く進んでいない家庭が多いと感じます。(子ども2人/保育園・幼稚園・認定こども園, 保育園・幼稚園・認定こども園)

【医療に関すること】

- ① 子どもが病気になる時に仕事を休まず、スポットで預っていただける支援があると助かります。(子ども3人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生, 中学校)
- ② 22歳まで医療費と児童手当を延長して欲しいです。加えて、高校を卒業し、進学した母子世帯に対して、卒業まで母子手当を延長してほしいです。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ③ 医療費の補助が高校まで出るのは助かります。上の子の時は、高校生になってから部活でけがをしたり、眼科に受診することが増えた。(子ども3人/中学校, 通学していない, 無回答)
- ④ 休日に開いている小児科病院を増やしてほしい。子どもは休日に熱が出やすい。(子ども2人/高校, 通学していない)
- ⑤ 病児保育なども、もっと気軽に近所で利用出来るようにしてほしい。子どもの洋服が負担である。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)

【行政、施策に関すること】

- ① いつでも誰でも利用できる安全な施設を作ってほしい（子育てママや子ども達が居れる）。（子ども2人/小学校4～6年生, 通学していない）
- ② 足立区は子育てにとっても協力してくださっていて、大変助かっています。ただ、困った事があった時、どこに相談してよいかわからない時があり、それがもう少し簡単に探せると良いなあと思います（他の自治体に住んでいる方に「望みすぎだ」と怒られてしまいそうですが）。（子ども2人/小学校4～6年生, 中学校）
- ③ 所得制限がある支援策ばかりであるが、中途半端に所得制限がかかってしまう層が、一番不満を持っています。（子ども4人/小学校4～6年生, 小学校4～6年生, 中学校, 高校）
- ④ 一人親や低収入者のみへの支援でなく、子育てしている全世帯への支援をしてもらいたい。（子ども2人/小学校4～6年生, 中学校）
- ⑤ 子育て支援に関する取組に日々感謝致します。育てている子どもが、世界のこと、日本のこと、町のこと、自分のことに、大きな好奇心を持ちつづけられる環境を目指して、取組を加速いただけるとありがたいです。（子ども3人/保育園・幼稚園・認定こども園, 小学校1～3年生, 中学校）
- ⑥ 全ての手当てに所得制限を撤廃して欲しい。中間層の重税感が強い。所得がある程度多くても、それ以上に支出が多く、特に税金に不公平を感じる。（子ども2人/専門学校, 通学していない）
- ⑦ お金がかからなければ、やらせてあげたいことはたくさんある。自治体主催でキャンプやハイキングなど、親と一緒になくても、子どもだけで参加できるものがたくさんあったらうれしかった。（子ども2人/高校, 高校）
- ⑧ 区の体験学習については、いろんなジャンルで実施しているが、平日の時間帯が親の仕事中の時間なので付き添うことができず、参加していない。平日は夜しか時間がないため、できれば遅くに実施してほしい。（子ども1人/小学校4～6年生）
- ⑨ 千住地域の子育て支援の場所、イベント・施設が少なすぎて、子どもだけで参加することが不可能です。長期休暇中の子どもの居場所に、毎回、困っています。体育館等、子どもだけで行けるようなバス等があると助かります。（子ども2人/小学校4～6年生, 小学校4～6年生）
- ⑩ 大学生まで無償で教育費がまかなえる制度をつくってほしい。できるだけ、どの世帯のどんな条件で育つ子どもにも。安心安全な生活を送れる支援を望んでいます。（子ども2人/小学校4～6年生, 中学校）
- ⑪ 育児に関する費用補助について、全て所得制限を付けないでほしいです。一般的な収入があっても、3人の子を育てるには余裕がないと感じます。子育ては本当に楽しく幸せな時間なので、金銭的な余裕があれば何人でも産みたいです。（子ども3人/通園していない（6歳以下）, 小学校4～6年生, 中学校）
- ⑫ 相談ごとにより全て窓口が異なるのが不親切。無駄に時間がかかります。住宅から保障や支援まで相談できる総合的な窓口があると良いと思います。（子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校）

- ⑬ 才能もやる気もあるが、家庭環境等で十分な教育機会を得られない子どもが減り、彼らが才能を伸ばして社会で活躍してくれることを後押しするような、そんな子育て支援を期待します。(子ども2人/大学・大学院, 大学・大学院)
- ⑭ 子どもが体験できる行事や月で開催しているものは、定員が少なかったりするので申し込みにくいです。(子ども3人/小学校1～3年生, 小学校4～6年生, 中学校)
- ⑮ 区内の図書館を増やしてほしい。図書館内の学習できるスペースを増やしてほしい。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑯ 元渚江公園や、舎人公園など身体が動かして自然に触れ合える施設がたくさんあり、さまざまなイベントも企画していただき、とても助かっています。(子ども2人/小学校1～3年生, 小学校1～3年生)
- ⑰ 0歳代は様々な講座やイベントがあったが、1歳を過ぎるとそういったものがなく、情報を得られにくい。1歳を過ぎても、そういうものがあると良いと思います。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑱ 役所にありがちだが、こちらから情報を求めに行かないと何も教えてもらえない。区のホームページも分かりにくく、必要な情報が得づらい。(子ども1人/高校)

【その他】

- ① 物価は上がるが、収入は上がらず、金銭的に余裕が持てない。持てないというより収支のバランスが取れない、補助金も収入でしか見ておらず、支払い額を見ていないため、補助金が受けられない現状である。もっと、収支のバランスを見て欲しい。学びたくても進学できない、あきらめないといけない国を作らないで欲しい。(子ども3人/大学・大学院, 専門学校, 通学していない)
- ② 子育て世帯への支援はありがたく必要ですが、親の年収や、その他子どもが自ら選べない理由で、支援を受けられないような不公平はなくしていくべきだと思います。多くの子どもが学校や仕事を、自分で決め、選択肢を多く持てるようになってほしいです。(子ども1人/保育園・幼稚園・認定こども園)
- ③ 現在、第3子がいる世帯が得する内容が多く、2人の子どもがいる世帯にも同じような対策をしてほしい。3人も2人も同じように家計は苦しい。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ④ 子どもを持つ家庭にもう少し金銭的支援があればと思います。普段の買い物をするにも何を購入しても高くなっているの、なかなか貯金に回すお金が多く貯まりません。(子ども1人/通園していない(6歳以下))
- ⑤ 小学校では、できる子よりもできない子への支援はたくさんあり、内容も充実している気がしていました。できる子を伸ばす制度も作って欲しかったです。結局、塾へ行くしか伸ばすことはできず、もっといろいろな体験をさせる時間が作れたと思う。(子ども1人/高校)
- ⑥ 生まれた家によって子どもたちの格差が広がっています。区外のお友達と比べるとその差の大きさにとても残念な気持ちになります。特に教育に関しての格差をなくしてほしいです。(子ども2人/小学校4～6年生, 中学校)
- ⑦ いろいろな方面でのこんなことをさせてみて良かった体験談の紹介などをしてほ

しい。(子ども2人/高校, 大学・大学院)

- ⑧ 一人の収入で子二人を養育し、高校、大学に行きたい気持ちを後押しできる支援が出生から続いてくれることを望みます。(子ども2人/中学校, 中学校)
- ⑨ 子どもが将来返さないといけない奨学金を減らしてあげて欲しい。(子ども1人/大学・大学院)
- ⑩ 夫婦2人で子育てするのは非常に大変です。家事、育児、金銭面のあらゆる側面からのサポートが必要と感じます。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑪ 将来的な不安(特に金銭面)がなければ、子どもはもう1人欲しかったです。(子ども2人/通園していない(6歳以下), 保育園・幼稚園・認定こども園)
- ⑫ 子育て支援について、子育てをする前の世代(中高校生や大学生)にも周知をするようにすると、結婚や出産後のイメージも湧きやすく、支援についても理解が深まると思います。きょうだい児がいない子が増えているため、中学生の職場体験だけでなく、高校生なども保育園ボランティアなどで乳幼児と触れ合う機会を持つことも自分の子育てのイメージに繋がるきっかけになるかと思います。(子ども2人/高校, 大学・大学院)
- ⑬ 低所得者以外でも苦しい家庭はたくさんあると思う。(子ども2人/中学校, 高校)
- ⑭ こどもの教育については親の収入と関係なく平等に機会が与えられるべき。(子ども2人/小学校1～3年生, 中学校)